大学入試センター年報

昭和55年度

昭和56年11月

大学入試センター

大学入試センター年報

昭和55年度

昭和55年度大学入試センター年報目次

Ⅰ　総　　説

1　事業の概要……1

2　定員及び予算……2

3　機構……3

4　規程等……4

5　会議……5

(1)　評議員会……5

(2)　運営協議員会……7

(3)　専門委員会等……10

ア　教科専門委員会……10

イ　試験問題特別委員会……10

ウ　試験問題特別専門委員会……10

エ　実施方法専門委員会……11

オ　試験教科目等調査研究委員会……11

(4)　共通第１次学力試験等連絡協議会……11

6　広報活動……12

(1)　広報資料の刊行……12

(2)　諸資料の公表等……14

Ⅱ　昭和56年度共通第１次学力試験の実施状況

1　実施の概要……17

2　実施要項の決定等……18

(1)　実施要項及び受験案内の決定・公表……18

(2)　実施日程……19

(3)　説明・協議会の開催……20

(4)　実施担当者会議等の開催……20

(5) 受験案内の交付……20
3 出願の受理及び受験票の発行……21
(1) 志願状況……21
(2) 確認はがきの発送及び不備な出願書類の修正……23
(3) 試験場の設定……24
(4) 受験票の発行及び「試験実施大学」欄の訂正……24
(5) 検定料の収納……25
4 試験実施……25
(1) 実施体制等……25
(2) 試験時間……26
(3) 試験開始時刻の繰下げ措置……26
(4) 受験状況……27
(5) 身体に障害のある者に対する措置……27
(6) 試験実施の際の特別措置……28
(7) 追試験の実施……29
(8) 正解の公表……29
5 実施結果……30
(1) 答案の読取り及び採点……30
(2) 答案のマークもれ等の状況……30
(3) 平均点等の公表……31
(4) 成績の提供……31
6 試験問題……31
(1) 試験問題の作成……31
(2) 科目間の平均点の差……32
(3) 試験問題に対する意見……33

III 昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方に関する調査研究
1 経緯……35
2 調査研究の概要……36
3 今後の調査研究計画……37

IV 研　　究
1 研究組織及び研究課題……37
2 研究事項、成果等……38
3 共同研究……39

V 次年度の課題
1 昭和57年度共通第１次学力試験の実施……41
2 昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方に関する調査研究……42
3 研究の推進……43

VI 資　　料
1 昭和55年度業務日誌……45
2 昭和55年度大学入試センター役職員……52
3 規程……53
(1) 大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する規程……53
(2) 大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程……55
(3) 大学入試センター専門委員の会議に関する規程……56
4 実施要項等……61
(1) 昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験実施要項……61
(2) 昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験受験案内（抄）……67
(3) 昭和56年度共通第１次学力試験志願票……89
(4) 昭和56年度共通第１次学力試験受験票……90
(5) 昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験受験者心得……92
(6) 昭和56年度共通第１次学力試験の試験場設定について……96
(7) 昭和56年度共通第１次学力試験における各地区の追試験実施大学の指定について……98
(8) 昭和56年度共通第１次学力試験志願者の試験場別割当てについて……100
(9) 昭和56年度共通第１次学力試験試験場一覧……101

(10) 大学入学者選抜共通第１次学力試験実施提要の送付について……117
(11) その他の参考資料……119
ア 大学入学者選抜実施要項の一部改正について（文部省）……119
イ 共通第１次学力試験における社会に属する科目の選択方法について（文部省）……120
ウ 共通第１次学力試験に関する申合せ（国立大学協会）……121
エ 入試責任者の臨時交代措置に関する申合せ（国立大学協会）……121
オ 大学入試センターよりの要望事項についての総会了承（国立大学協会）……121
5 統計資料……123
(1) 昭和56年度国公立大学の入学者選抜実施状況……123
(2) 昭和56年度共通第１次学力試験都道府県別志願者数・受験者数・試験場数……125
(3) 昭和56年度共通第１次学力試験国立・公立大学別志望状況（昭和55年12月９日発表）……126
(4) 昭和56年度共通第１次学力試験実施結果（昭和56年２月３日発表）……143
ア 昭和56年度共通第１次学力試験受験状況等……143
イ 昭和56年度共通第１次学力試験本試験平均点等一覧……144
ウ 昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布概略図（全教科）……145
エ 昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布（全教科）……146
オ 共通第１次学力試験受験者数及び平均点の推移（本試験）……147

Ⅰ 総　　説

1　事業の概要

大学入試センターは、「国立大学の入学者の選抜に関し、共通第１次学力試験の問題の作成及び採点その他一括して処理することが適当な業務を行うとともに、大学の入学者の選抜方法の改善に関する調査研究を行うこと。」を目的として、昭和52年５月に発足してから、本年度で４年目を迎え、共通第１次学力試験は、３回目の実施を終了した。

(1)　昭和56年度の共通第１次学力試験は、当センターと各国公立大学の協力のもとに、昭和56年１月10日、11日の両日、全国273試験会場で一斉に行われ、一部の試験場で試験開始時刻を繰り下げたほかは、当初の計画どおり実施され、１週間後には４試験場で追試験が実施された。受験者は、本試験及び追試験をあわせて340,757人であった。実施に当たっては、前年度までの経験を踏まえ、より適切な問題の作成及び実施方法の改善に努めた結果、今後とも改善を図るべき事項はなおいくつか残されているものの、共通第１次学力試験の制度そのものは、定着してきたとみることができよう。

(2)　昭和57年度からの高等学校学習指導要領の改訂に伴う昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方については、国立大学協会における委員会との連携のもとに、前年度に引き続き、専門的な立場から検討を継続し、当センターとして、一応の具体案をとりまとめる段階にいたった。

国立大学協会は、昭和55年11月の総会において、昭和60年度以降も共通第１次学力試験と第２次試験を組み合わせた現行制度の趣旨を継続する旨の基本的方針を決定し、現行制度の定着化を再確認している。

(3)　大学の入学者の選抜方法の改善に関する調査研究の推進については、当センターの研究部門の充実を図ったほか、当センター及び各国立大学の入学者選抜研究委員会との連携のもとに、研究の交流と情報の交換を目的とした国立大学入学者選抜研究連絡協議会が発足した。当センターの研究部においても具体的な研究を進めたが、特に共通第１次学力試験の実施データによる分析研究を行い、試験問題の作成に資することとした。

なお、調査研究の成果として、大学入試センター研究紀要第１号を刊行した。

2　定員及び予算

(1)　定　　員

研究部の充実を図るため、評価部門及び試験制度部門の定員増の措置を行うとともに、事業実施部門の整備を図るため必要な定員措置を行った。この結果、昭和55年度の大学入試センター定員は、前年度に比べ４人増（教員２、事務官２）の82人となった。

昭和55年４月１日

所　長	管理部・事業部	研　　究　　部				合　計
	事務官・技官等	教　授	助教授	助　手	小　計	
1	71	5	4	1	11	82

(2)　予　　算

共通第１次学力試験を遺漏なく円滑に実施するとともに大学の入学者選抜の改善に関する調査研究を推進するため、大学入試センターの管理運営に必要な経費（各種委員会経費、電子計算機等経費、人件費、試験に要する経費、研究経費等）及び施設整備費を計上した。また、各大学における共通第１次学力試験経費についても、この中に一括計上され、各大学に対しては志願者数等に応じて配分された。

昭和55年度の当初予算額は、前年度比68,654千円増の3,681,810千円であり、内訳は、次のとおりである。

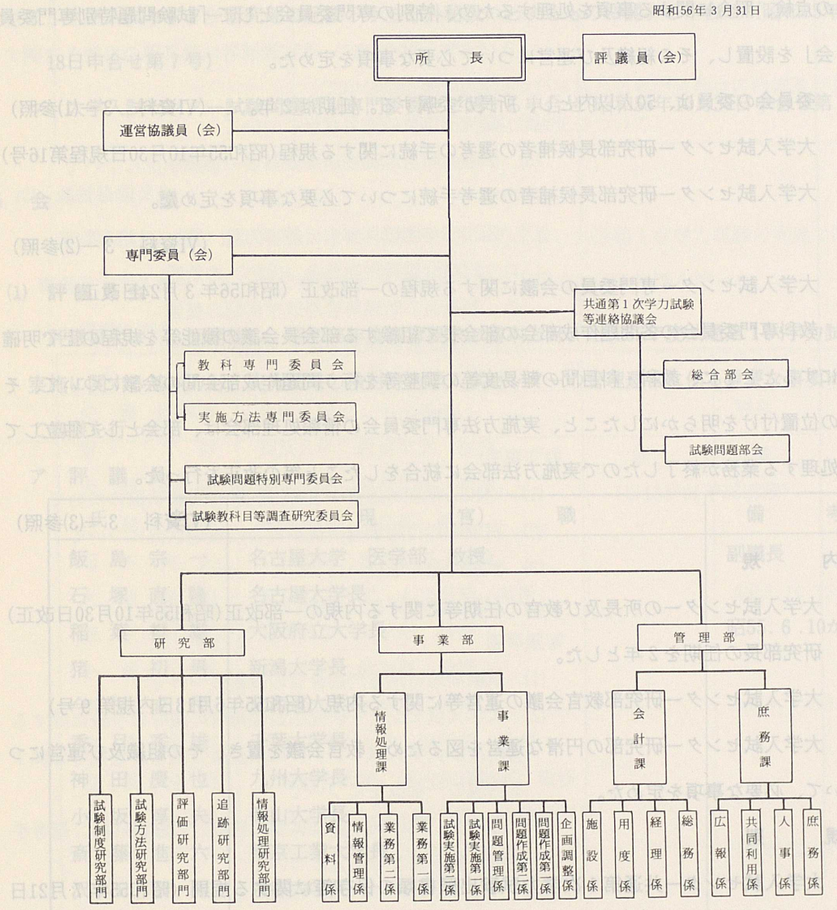
人　件　費	213,404千円
管理運営費	669,286千円
共通第１次学力試験の実施に必要な経費	2,797,348千円（うち各大学配分分　964,110千円）
施設整備費	1,772千円
計	3,681,810千円

3　機　　構

教科専門委員会の作成した試験問題について、その構成、内容、解答等の点検、照合に関する事項を処理することを目的とする「試験問題特別専門委員会」を設置したほか、教科専門委員会の部会長会議の設置、教科・科目間の難易度等の調整等を行う問題作成部会間の会議の設置など機構の整備を図った。

（機構図）

昭和56年３月31日



4 規　程　等

大学入試センターの事業の運営及び機構の整備充実に関し、必要な諸規程の制定（改廃）を行ったが、その主なものは、次のとおりである。

(1) 規　　程

ア　大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する規程（昭和55年10月30日規程第15号）

教科専門委員会が作成した試験問題について、各教科・科目ごとにその構成、内容、解答等の点検、照合に関する事項を処理するため、特別の専門委員会として「試験問題特別専門委員会」を設置し、その組織及び運営について必要な事項を定めた。

委員会の委員は、50人以内とし、所長が委嘱する。任期は２年。　（VI資料　３－(1)参照）

イ　大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程（昭和55年10月30日規程第16号）

大学入試センター研究部長候補者の選考手続について必要な事項を定めた。

（VI資料　３－(2)参照）

ウ　大学入試センター専門委員の会議に関する規程の一部改正（昭和56年３月24日改正）

教科専門委員会の各問題作成部会の部会長で組織する部会長会議の機能等を規程の上で明確にするとともに、教科・科目間の難易度等の調整等を行う問題作成部会間の会議について、その位置付けを明らかにしたこと、実施方法専門委員会の情報処理部会は、部会として独立して処理する業務が終了したので実施方法部会に統合をしたこと等の改正を行った。

（VI資料　３－(3)参照）

(2) 内　　規

ア　大学入試センターの所長及び教官の任期等に関する内規の一部改正（昭和55年10月30日改正）

研究部長の任期を２年とした。

イ　大学入試センター研究部教官会議の運営等に関する内規（昭和55年6月13日内規第９号）

大学入試センター研究部の円滑な運営を図るため、教官会議を置き、その組織及び運営について、必要な事項を定めた。

(3) 規　　則

ア　大学入試センター共通第１次学力試験出願書類の保存等に関する規則（昭和55年７月21日所長裁定第７号）

大学入試センターが受理した共通第１次学力試験の出願書類の保存、管理、廃棄等について必要な事項を定めた。

イ　大学入試センター共通第１次学力試験の答案等のマイクロフイルム撮影等に関する規則（昭和55年８月29日所長裁定第８号）

大学入試センターにおいて採点を終了した共通第１次学力試験の答案等のマイクロフイルムへの撮影、撮影したマイクロフイルムの保管等について、必要な事項を定めた。

(4) 申　合　せ

ア　大学入試センター研究部の紀要に関する申合せ（昭和55年９月18日申合せ第６号）

イ　大学入試センター研究部の紀要のうち部外秘扱いとするものに関する申合せ（昭和55年９月18日申合せ第７号）

ウ　大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する申合せ（昭和55年10月30日申合せ第８号）

5 会　　議

(1) 評議員会

評議員会は、３回開催し、昭和56年度概算要求の基本方針、昭和56年度共通第１次学力試験の実施に関する基本方針、実施結果の検討等大学入試センターの管理運営に係る重要な事項について審議を行った。

ア　評　議　員

氏　　名	現　　（官）　　職	備　　考
飯　島　宗　一	名古屋大学　医学部　教授	副議長
石　塚　直　隆	名古屋大学長	
稲　葉　哲　雄	大阪府立大学長	昭55．６．10から
猪　　初　男	新潟大学長	
今　村　成　和	北海道大学長	
香　月　秀　雄	千葉大学長	
神　田　慶　也	九州大学長	
小　坂　淳　夫	岡山大学長	
斎　藤　進　六	東京工業大学長	
沢　田　敏　男	京都大学長	
須　田　　勇	神戸大学長	昭56．３．15まで

高　木　健太郎	名古屋市立大学長	昭55．6．9まで
竹　山　晴　夫	広島大学長	
畑　　敏　雄	群馬大学長	
林　　健太郎	国際交流基金理事長	
向　坊　　隆	東京大学長	議長
山　村　雄　一	大阪大学長	昭56．3．16から

イ　審議の概要

回　（開催期日）	議　　事
第　11　回 （昭和55年６月11日）	報告事項 (1)　大学入試センターの所長及び教官の任期等に関する内規及び大学入試センター教官候補者の選考等の手続きに関する細則の改正について (2)　研究部定員の充足状況について (3)　試験教科目等調査研究委員会の審議状況について 審議事項 (1)　昭和56年度概算要求の基本方針（案）について ○　試験問題特別委員会（仮称）の新設 ○　副所長の新設等管理運営体制の整備 (2)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施について ○　「実施要項」 ○　「受験案内」
第　12　回 （昭和55年10月31日）	報告事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の出願状況について (2)　試験教科目等調査研究委員会の審議状況について (3)　試験問題の取扱いについて (4)　正解、配点等の公表について 審議事項 (1)　試験問題特別専門委員会の設置について (2)　大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程及び大学入試センターの所長及び教官の任期等に関する内規の一部改正について (3)　副所長（昭和56年度概算要求事項）の職務内容、選考手続等の原則的な考え方について

	その他 ○　試験場の区割りについての各地区連絡協議会における協議について
第　13　回 （昭和56年３月18日）	報告事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施状況について (2)　試験教科目等調査研究委員会の審議状況について (3)　昭和56年度大学入試センター関係予算について (4)　研究部評価部門の専任教授候補者の選考等研究部教官人事について 審議事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施結果に基づく検討事項について (2)　教科専門委員会及び実施方法専門委員会の組織及び運営方法に関する規程の改正について

(2)　運営協議員会

運営協議員会は、９回開催し、大学入試センターの予算、共通第１次学力試験の実施に関する事項等大学入試センターの管理運営に関する具体的な事項について協議を行った。

ア　運営協議員

氏　　名	現　　（官）　　職	備　　考
加　藤　陸奥雄	大学入試センター所長	議長
東　　洋	東京大学　教育学部　教授	
天　野　郁　夫	東京大学　教育学部　教授	
猪　瀬　　理	愛媛大学　農学部　教授	
梅　本　堯　夫	京都大学　教育学部　教授	
大　蔵　隆　雄	東京都立大学　人文学部　教授	昭55.10.15から
河　原　一　男	長崎大学　薬学部　教授	
小　林　一　郎	東北大学　教養部　教授	
相　良　　亨	東京大学　文学部　教授	昭55．4．18から
佐　藤　重　房	名古屋市立大学　医学部　教授	
佐　藤　親　雄	上越教育大学　学校教育学部　教授	
清　水　留三郎	大学入試センター研究部　助教授（併）	
竹　屋　芳　夫	大阪市立大学　工学部　教授	昭55.10.15まで
中　山　和　彦	筑波大学　電子情報工学系　教授	
新　野　幸次郎	神戸大学　経済学部　教授	

野　村　祐次郎	東京大学　教養学部　教授	
肥田野　　直	大学入試センター研究部　教授	
丸　井　文　男	名古屋大学　教育学部　教授	
湊　　秀　雄	兵庫教育大学　学校教育学部　教授	
矢　吹　萬　壽	大阪府立大学　農学部　教授	昭55.10.15から
若　林　　博	大学入試センター研究部　教授	

イ　会議の概要

回　（開催期日）	議　　事
第　24　回 （昭和55年４月18日）	報告事項 (1)　試験制度研究部門教授の発令等研究部の充実について (2)　日本教職員組合からの要望について (3)　試験教科目等調査研究委員会の検討状況について 審議事項 (1)　研究部教官候補者の選考について ○　評価研究部門及び試験制度研究部門の助手候補者の選考 (2)　広報資料の作成について ○　「国公立大学ガイドブック」 ○　「新しい大学入試」 (3)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施について
第　25　回 （昭和55年５月16日）	報告事項 (1)　研究部教官人事について ○　評価研究部門及び試験制度研究部門の助手の発令 (2)　専門委員会における審議状況について ○　実施方法専門委員会実施方法部会 ○　試験教科目等調査研究委員会 (3)　国立大学入学者選抜研究連絡協議会（仮称）の設立総会について 審議事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験実施要項及び同受験案内について (2)　昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会について

第　26　回 （昭和55年６月13日）	審議事項 (1)　大学入試センター研究部教官会議の運営等に関する内規について (2)　昭和56年度概算要求基本方針（案）について (3)　電子計算機の更新について (4)　共通第１次学力試験関係のデータの取扱いについて (5)　共通第１次学力試験の成績提供について
第　27　回 （昭和55年９月19日）	報告事項 ○　共通第１次学力試験における社会科の選択方法について 審議事項 (1)　試験問題特別専門委員会（仮称）の設置について (2)　試験問題等の利用のあり方について (3)　正解、配点等の公表について
第　28　回 （昭和55年10月30日）	報告事項 ○　昭和56年度共通第１次学力試験の出願状況について 審議事項 (1)　試験問題特別専門委員会に関する規程（案）について (2)　大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程（案）について (3)　大学入試センターの所長及び教官の任期等に関する内規の一部改正（案）について
第　29　回 （昭和55年11月25日）	報告事項 (1)　大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する申合せについて (2)　昭和56年度共通第１次学力試験志願者数について 審議事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施について (2)　正解の公表について (3)　統計資料の刊行について
第　30　回 （昭和55年12月19日）	報告事項 (1)　共通第１次学力試験の試験場について (2)　電子計算機新機種選定会議の審議状況について (3)　統計資料の公表について (4)　受験票の一部訂正について (5)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施について

	審議事項 ○　教官選考特別委員会の設置について
第　31　回 （昭和56年２月６日）	報告事項 (1)　試験教科目等調査研究委員会の審議状況について (2)　昭和56年度大学入試センター関係予算案の概要について 審議事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施結果及び今後の検討課題について (2)　教科専門委員会の運営について (3)　研究部教官候補者の選考について (4)　研究部長選考委員会及び試験方法研究部門教授の教官選考特別委員会について
第　32　回 （昭和56年３月24日）	審議事項 (1)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施結果に基づく検討事項について (2)　研究部教官候補者の選考について (3)　統計資料の刊行について

(3)　専門委員会等

ア　教科専門委員会

共通第１次学力試験の問題作成の基本方針の策定及び問題の作成等に関する専門的事項を処理することを任務とする。広く全国の国立大学教員の中から委嘱した約200人の委員が15の科目別の問題作成部会及び点字問題作成特別部会に分属し、各部会とも、年間12回36日以上にわたって会議を開催した。

イ　試験問題特別委員会（運営協議員会）

共通第１次学力試験の試験問題の文章表現、問題の構成、出題方法、解答方法等の一般的原則に関し、点検・照合を行うことを任務とする。大学入試センター運営協議員並びに用字・用語の専門家及び学力測定に関する学識経験者等計10人の委員が、年間13回にわたって会議を開催した。

ウ　試験問題特別専門委員会

共通第１次学力試験の各試験問題の作成に関し、その構成、内容、解答等について総合的に点検・調整を行い、問題の正確・適正を確保することを主たる任務とする。問題作成部会経験

者から委嘱した委員45人が15の科目別の部会に分属し、各部会とも年間３回９日にわたって会議を開催した。

エ　実施方法専門委員会

共通第１次学力試験の実施方法の検討、情報処理システムの策定等を行うことを任務とする。国立大学教員から委嘱した20人の委員が実施方法部会及び情報処理部会に分属し、年間10回にわたって会議を開催した。

オ　試験教科目等調査研究委員会

昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方に関する調査研究を行うことを任務とする。国立大学教員の中から委嘱した委員及び公立大学教員の中から委嘱した臨時委員26人が、年間13回にわたって会議を開催した。（「Ⅲ昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方の調査研究」参照）

(4)　共通第１次学力試験等連絡協議会

共通第１次学力試験の実施方法、試験問題等について、高等学校側と連絡協議し、その結果を今後の試験に反映させることを目的とする。総合部会と試験問題部会からなる。

ア　総合部会

共通第１次学力試験に関する一般的、包括的な事項について連絡協議を行う。

全国高等学校長協会代表者、都道府県教育長協議会代表者、大学入試センターの代表者18人が年間３回にわたって会議を開催し、次の事項等について協議を行った。

(ア)　昭和56年度の共通第１次学力試験について

○実施期日、受験案内等実施方法について

○科目選択の状況及び科目間の得点の調整に関する検討について

(イ)　昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方について

国立大学協会、大学入試センターにおける専門委員会の審議の状況及び全国高等学校長協会、教育長協議会その他教育関係団体の試案、協議の状況等について

(ウ)　昭和56年度共通第１次学力試験の実施結果及び今後検討すべき事項等について

イ　試験問題部会

共通第１次学力試験に出題された試験問題の内容、程度、出題方法等について協議検討を行う。各都道府県教育委員会から推薦された45人（１科目につき３人、15科目合計45人）の高等学校教員と、大学入試センター内の各試験問題作成責任者15人が各科目ごとの分科会に分かれ

て協議を行い、高等学校教員の委員は、試験問題の評価について報告をとりまとめた。

昭和56年度共通第１次学力試験問題に関して、試験問題部会から報告された意見・評価は、「年報別冊」として刊行する。

6 広 報 活 動

共通第１次学力試験の円滑な実施を期するためには、関係者はもとより広く一般に正確な情報を適切に提供するとともに、入学者選抜方法等の制度の趣旨、実施方法の概要等について周知を図ることが重要である。このため、昭和56年度共通第１次学力試験について、志願者数、大学・学部の志望状況、試験当日の実施状況、平均点、標準偏差などを、その都度、報道機関を通じて公表した。また、前年度に引き続き、広報資料として、「新しい大学入試」及び「大学入試センター年報」を刊行したほか、国立大学協会及び公立大学協会と共同編集により「国公立大学ガイドブック」を刊行した。

(1) 広報資料の刊行

ア 新しい大学入試（昭和56年度版）

大学入学志願者及びその父兄、高等学校進路指導担当教員などを対象とし、共通第１次学力試験の趣旨、実施方法等を解説した。10万部作成し、昭和55年６月末から関係各方面へ配布した。

主な掲載内容及び配布先は、次のとおりである。

（掲載内容）

(ｱ) 対談―大学入試の改善―

柳瀬丈子（主婦・レポーター）と大学入試センター所長加藤陸奥雄の大学入試に関する諸問題についての対談

(ｲ) 昭和56年度国立大学入学者選抜のあらまし

(ｳ) 共通第１次学力試験に関する一問一答

(ｴ) 昭和55年度共通第１次学力試験の概要

(ｵ) 資料

昭和55年度共通第１次学力試験問題の一部、マークシートのサンプル、大学入学者選抜制度改革の歩みなど

（主な配布先）

各高等学校、各国公私立大学（短期大学を含む。）、各都道府県教育委員会・同知事部局、各報道関係機関、国立大学協会、公立大学協会、各教育関係団体など

イ 大学入試センター年報（昭和54年度版）

昭和54年度における大学入試センターの事業を総括してとりまとめ昭和55年11月作成し、公表した。

主な掲載内容及び配布先は、次のとおりである。

（掲載内容）

(ｱ) 昭和54年度事業の概要

(ｲ) 昭和55年度共通第１次学力試験の実施状況

(ｳ) 昭和55年度共通第１次学力試験の試験問題に関する意見・評価

(ｴ) 資料

大学入学者選抜実施要項、受験案内（抄）、各種統計資料など

（主な配布先）

各高等学校、各国公私立大学（短期大学を含む。）、各都道府県教育委員会・同知事部局、各報道関係機関、国立大学協会、公立大学協会、各教育関係団体など

ウ 国公立大学ガイドブック（昭和56年度版）

入学志願者が自己の能力、適性、目的意識等にのっとり志望する大学・学部の選択を行うための参考として、各大学の特色や沿革、あるいは学部・学科の内容など志望の大学・学部の決定に必要な情報を提供した。前年度に引き続き、国立大学協会、公立大学協会との共同編集により作成した。

掲載内容は、次のとおりである。

(ｱ) 大学別大学・学部の内容等

(ｲ) 昭和56年度国公立大学入学者選抜のあらまし

(ｳ) 昭和56年度国公立大学入学者選抜第２次試験の概況

(ｴ) 昭和56年度国公立大学入学志願状況

(ｵ) 国公立大学学部・学科系統別名称一覧

(ｶ) 免許・資格を必要とする主な職業

なお、国公立大学ガイドブックは、昭和55年９月17日から全国書店で一斉に発売された。

(2) 諸資料の公表等

共通第１次学力試験を中心に、当センターが公表した事項は、次のとおりである。

発表等期日	発表事項等
昭和55年	
4月24日(木)	「大学入試センター年報（昭和53年度)」の刊行について
6月13日(金)	「昭和56年度実施要項」及び「同受験案内」について
6月24日(火)	「新しい大学入試（昭和56年度版)」の刊行について
9月12日(金)	昭和56年度共通第１次学力試験受験票について
9月16日(火)	「国公立大学ガイドブック（昭和56年度版)」の刊行について
9月29日(月)	昭和56年度共通第１次学力試験の出願受付等について
10月 1日(水)	昭和56年度共通第１次学力試験の出願受付状況について ● 当日の出願状況、出願受付状況等
10月 3日(金)	「国公立大学ガイドブック（昭和56年度版)」掲載内容の一部訂正について
10月 9日(木)	昭和56年度共通第１次学力試験の出願状況について（中間発表）
10月15日(水)	昭和56年度共通第１次学力試験出願状況（締切日）について
11月11日(火)	昭和56年度共通第１次学力試験の志願者数について（確定）
11月27日(木)	昭和56年度共通第１次学力試験受験票の記載項目の一部訂正について
12月 9日(火)	昭和56年度国立・公立大学別志望状況等について ● 国立・公立大学別志望状況 ● 昭和56年度共通第１次学力試験試験場一覧 ● 国立・公立大学別年度別志望倍率
	「大学入試センター年報（昭和54年度)」刊行について
12月23日(火)	昭和56年度共通第１次学力試験の概要について
昭和56年	
1月 6日(火)	昭和56年度共通第１次学力試験の準備状況について
1月 9日(金)	● 実施本部・電話ファクス ● 気象状況一覧
1月10日(土)	試験実施状況（第１日目）について ● 天候状況、追試験申請状況等 ● 各試験場試験開始の状況 ● 国語、理科試験問題及び正解 ● 国語、理科受験者数、欠席者数

1月11日(日)	試験実施状況（第２日目）について ● 天候状況、各試験場試験開始の状況（試験開始時刻の繰下げ措置等の状況） ● 理科及び社会の設明補足及び問題訂正の配付もれ ● 社会、数学、外国語試験問題及び正解 ● 社会、数学、外国語受験者数・欠席者数
1月14日(水)	昭和56年度共通第１次学力試験の追試験志願者数について
1月17日(土)～18日(日)	昭和56年度共通第１次学力試験追試験の実施について
2月 3日(火)	昭和56年度共通第１次学力試験本試験の平均点等について ● 昭和56年度共通第１次学力試験受験状況等 ● 昭和56年度共通第１次学力試験本試験平均点等一覧 ● 本試験受験者数・平均点の推移（昭和54～56年度） ● 昭和56年度共通第１次学力試験本試験得点分布概略図及び得点分布概表

Ⅱ　昭和56年度共通第１次学力試験の実施状況

1 実施の概要

昭和56年4月に国公立大学に入学を志望する者を対象とした第3回目の共通第1次学力試験（昭和56年度入学者選抜共通第1次学力試験）は、国立大学92校、公立大学34校が参加し、前回より約8千人増加した357,633人の志願者について行われた。

今回は本試験に当たり雪害による支障が強く懸念され、一部地域については、再試験をも想定せざるを得ないような事態もあったが、各大学の努力と高等学校をはじめ父兄、関係機関等のいわば地域を挙げての協力支援により、試験第2日目に、一部の試験場で試験開始時刻繰下げの措置がとられたほかは、計画のとおり実施することができた。

実施時期を1月中旬に設定したことについては、当初から積雪による支障が憂慮されていたが、第3回目にしてこれに直面したことになる。本年度の気象状況をふりかえると、この時期では、1月10日・11日以外の期日での実施は困難ではなかったかと推定される。雪害の危険は1月中旬から2月中旬までが最も大きいため、実施時期を12月下旬までか、2月下旬以降とすることが最も望ましいが、そのためには、共通第1次学力試験の実施方法の基本や国公私立大学全体の入試日程とのかかわりで、検討すべき重要な課題が多い。

今回の試験では、一部の受験票の発行に際し大学入試センターが、また、試験室での問題訂正用紙等の配付に際しいくつかの大学が誤りをしたが、これらの事務手続の面での確認・照合の方法については、万全を期すため今後ともあらゆる角度から検討を続ける必要があると痛感している。

今回の実施結果では、総得点の平均点607点が示すとおり、一応当初目標とした範囲内には納まり、また、社会及び理科の科目間の平均点の差も前回よりは縮小したが、試験問題の水準のあり方や科目間の平均点のバラツキの改善には、なお一層の調査研究が必要であると考えている。

実施の概況は、次のとおりである。

(1) 志願者　357,633人（前年度349,566人）

(2) 受験者　340,757人（前年度333,212人）

本試験　340,614人（前年度333,026人）　273試験場

追試験　143人（前年度　186人）　4試験場

欠席者　16,876人（欠席率4.72%）（前年度16,354人　4.68%）

(3) 平均点　607.12点（前年度617.36点）

標準偏差　　138.32点（前年度128.11点）

最高点　　981点（前年度　965点）

最低点　　0点（前年度　0点）

(4)　日　程

昭和55年10月１日～15日　共通第１次学力試験の出願受付

12月９日　国公立大学別の志望状況を公表

昭和56年１月10日・11日　共通第１次学力試験の本試験を実施。正解を公表

１月17日・18日　追試験を実施

２月３日　本試験の総得点及び科目別の平均点等を公表

2　実施要項の決定等

(1)　実施要項及び受験案内の決定・公表

大学入試センターでは、昭和55年度の試験終了後、各国公立大学、高等学校等から寄せられた要望、意見等を参考とし、また過去２回の経験を踏まえ、国立大学協会と協議を重ねつつ、昭和56年度の実施方法について検討を行ってきたが、技術的な面で若干の改善を加えることとしたほかは、ほぼ前年度と同様の方法で行うこととし、これらをとりまとめ、６月13日、「昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験実施要項」として決定し、公表するとともに、これに基づき、志願票等を折り込み、出願・受験に際しての案内や注意事項を記載した「昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験受験案内」を作成し、各国公立大学、各高等学校等へ通知した。

実施要項及び受験案内の主な改正点は、次のとおりである。

ア　本試験の実施日程は、二通りの案（１月10日・11日及び１月17日・18日）が考えられたが、試験後の採点等に要する時間を考慮して１月10日・11日としたこと。

イ　追試験場を７地区７会場から４地区４会場としたこと。

ウ　上越教育大学及び群馬県立女子大学が参加することになったこと。

エ　身体に障害のある者のうち、出願前に志望大学との協議を要する者は、学校教育法施行令第22条の２（盲者等の心身の故障の程度）の規定に該当する障害のある者に限定したこと。

オ　その他志願票総括表が「卒業見込み者であることを証明する書類」でもある旨を明確にしたこと。

(2)　実施日程

昭和56年度国公立大学の入学者選抜は、次の日程で行われた。

昭和55年	
７月上旬から	共通第１次学力試験受験案内を各国公立大学で交付
７月末日まで	各国公立大学が第２次試験の実施要項を公表
10月１日(水)～15日(水)	共通第１次学力試験の出願受付、志望する大学・学部等を申請
11月17日(月)～28日(金)	共通第１次学力試験志願者に受験票等を送付
12月９日(火)	各国公立大学・学部等志望状況を公表
12月25日(木)まで	各国公立大学が第２次試験の細目を公表、出願書類等の交付開始
昭和56年	
１月10日(土)～11日(日)	共通第１次学力試験を実施 共通第１次学力試験問題の正解を公表
１月17日(土)～18日(日)	追試験（病気等による受験不能者対象）を実施
２月３日(火)	共通第１次学力試験の科目別平均点等を公表
２月８日(日)まで	推薦入学（共通第１次学力試験を課さない場合）の結果発表
２月９日(月)～16日(月)	各国立大学の出願受付（各公立大学もほぼ同じ時期）
２月26日(木)まで	一部の国公立大学で実施する２段階選抜と推薦入学（共通第１次学力試験を課す場合）の結果発表
３月４日(水)から	各国立大学と大部分の公立大学が第２次試験を実施
３月５日(木)以降	一部の公立大学が第２次試験を実施
３月20日(金)まで	各国立大学が合格者を発表（各公立大学もこれに準ずる）
３月21日(土)以降	一部の国公立大学が第２次募集を実施

(3) 説明・協議会の開催

国公立大学その他の関係機関に対する実施要項等の通知とともに、高等学校、教育委員会、ＰＴＡ等の関係者を対象として共通第１次学力試験の説明・協議会を全国７地区で開催し、試験の実施方法の周知を図るとともに、これらに関し連絡協議を行った。

地　区	開　催　月　日	会　　場	参加人数
北　海　道	昭和55年７月14日	札幌共済ホール	約　250人
東　　北	７月12日	斎藤報恩会館	約　350人
関東甲信越	６月26日	日比谷公会堂	約 1,200人
東海・北陸	６月30日	名古屋大学豊田講堂	約　600人
近　　畿	７月１日	大阪大学講堂	約　800人
中国・四国	７月３日	広島市公会堂	約　400人
九州・沖縄	７月５日	九州大学記念講堂	約　450人

また、志願者やその父兄、高等学校関係者等を主な対象者とし、この試験の趣旨、実施方法等を解説した広報資料「新しい大学入試―昭和56年度版―」を作成し、関係方面へ配布した。（Ⅰ－６「広報活動」の項参照）

(4) 実施担当者会議等の開催

大学入試センターは、各国公立大学の実施担当者を対象とした実施担当者会議を７月と11月の２回にわたり開催し、昭和56年度の試験の実施及び各種の事故対策等の細部にわたる説明協議を行い、実施に万全を期した。また、９月には、情報処理事務担当者を対象にこの試験の成績の請求、提供等の方法について打ち合わせを行う情報処理事務連絡会を全国７地区で開催した。

(5) 受験案内の交付

大学入試センターは、受験案内を70万部作成し、各国公立大学へ送付し、各大学においては、７月１日から志願者に交付した。

また、各高等学校、各都道府県教育委員会・同知事部局、各教育関係者にも配布した。

3　出願の受理及び受験票の発行

(1) 志願状況

出願受付は、昭和55年10月１日から10月15日までの間、高等学校卒業見込み者は在学する高等学校を経由し、それ以外の者については直接大学入試センターへ郵送することにより行われた。出願状況は、次表のとおりであった。

志願者総数は、前年度より8,067人増加し、357,633人となり、初めて35万人を超えた。これは、主として高等学校卒業見込者の増加に伴うものと考えられたが、既卒者である志願者も前年度よりかなり増加した。

また、出願の際志願者が申請していた大学・学部別の志望状況は12月９日にとりまとめ公表したが、昭和55年度の国公立大学の入学定員94,936人に対し、3.8倍となり前年をやや上回った。

（Ⅵ－５統計資料参照）

なお、昭和56年３月高等学校卒業見込者数に占める志願者の割合（現役志願率）は、前年度の16.0％から16.1％と、やや増加した。

共通第１次学力試験志願者数

区　分	入学定員	志願者数	倍　率	第１志望		第２志望	
				国　立	公　立	国　立	公　立
	人 (94,936)	人	倍 (3.8)	人	人	人	人
56年度	95,426	357,633	3.7	315,847	41,786	239,210	54,999
55年度	94,506	349,566	3.7	308,011	41,555	240,923	56,831
54年度	92,824	341,875	3.7	294,962	46,912	241,306	68,172

(注)　入学定員は、各年度４月１日のもの。（　）は55年12月９日のもの

（内　訳）

ア　出願資格別

区　　分	昭和56年度		昭和55年度		昭和54年度	
	人	%	人	%	人	%
高等学校卒業見込み者	229,825	(64.2)	224,314	(64.2)	228,987	(67.0)
高等学校卒業者	126,473	(35.4)	123,896	(35.4)	111,526	(32.6)
大学入学資格検定合格者	848	(0.4)	820	(0.4)	774	(0.4)
高等専門学校第3学年修了者	397		453		510	
外国の学校（12年の課程修了者）	60		55		63	
在外教育施設修了者	12		5		2	
国際バカロレア資格取得者	5		8		—	
文部大臣の指定した者	13		15		13	

イ　男女別

区　　分	昭和56年度		昭和55年度		昭和54年度	
	人	%	人	%	人	%
男	271,213	(75.8)	266,896	(76.4)	259,925	(76.0)
女	86,420	(24.2)	82,670	(23.6)	81,950	(24.0)

ウ　高校出身者の学科別

区　　分	昭和56年度		昭和55年度		昭和54年度	
	人	%	人	%	人	%
普通科	344,516	(96.7)	336,281	(96.6)	328,001	(96.3)
農業科	561	(0.1)	573	(0.1)	557	(0.2)
工業科	2,664	(0.7)	3,026	(0.9)	3,455	(1.0)
商業科	923	(0.3)	1,018	(0.3)	1,138	(0.3)
その他	7,634	(2.2)	7,312	(2.1)	7,362	(2.2)

エ　届出選択科目（数学一般、基礎理科、英語A）の受験希望者

区　　分	昭和56年度	昭和55年度	昭和54年度
	人	人	人
数学一般	25	37	119
基礎理科	132	127	195
英語A	3,700	3,998	4,623

(2)　**確認はがきの発送及び不備な出願書類の修正**

志願票に記載された事項はコンピュータに入力し管理するものとしているが、この入力に当たって、正確を期し、また、後日の受験票発行を確実に行うため、志願票を受理した日からおおよそ3週間後に、コンピュータに入力した事項をそのままはがきに打ち出して志願者に返送し、受理したことを通知するとともに、記載事項の確認を行った。

出願書類の不備件数は、全体で4,294件（不備率1.2%）で、前年の7,075件（2.0%）に比較し、大幅に減少した。これは、前年度は電話連絡先の未記入を算入していたためであったが、これを除けば不備件数は前年度とほぼ同数となった。

不備の内容は、高校を経由して出願した者については、出願資格欄の未記入・誤記入480件，志望大学・学部コードの未記入・誤記入290件、生年月日の未記入・誤記入256件など、1,346件（不備率0.6%）であった。また、個人で直接出願した者の不備は、卒業証明書・単位修得証明書等の未添付769件、志望大学・学部コードの未記入・誤記入等593件、出願資格欄の未記入・誤記入403件など2,948件（不備率2.3%）であった。

これらの不備については、電話・文書による照会で修正を行ったうえ、受理手続を完了させたが、そのうち志望大学・学部コードの誤記入等コンピュータによるチェックで修正を要する事項が検出されたものについては、修正はがき（935件）を発送し、修正を求めた。

これらの修正のための整理に出願締切後約3週間を要した。

修正はがきによる主な修正項目

送付区分 ＼ 修正区分	高校あて（卒見者）	個人あて		計
		既卒者	既卒者以外	
	人	人	人	人
志望大学・学部の記入誤り	253	446	5	704
コードの記入もれ	11	58	0	69
受験希望県の記入誤り	0	157	3	160
その他（性別等記入もれ）	2	0	0	2
計	266	661	8	935

(3) 試験場の設定

志願票の受理を行った後、志願者数を都道府県別に算出し、これを該当の各国立大学に割り当て、各国立大学は公立大学と協力して志願者数に応じ試験場を設定した。大学内試験場だけでは収容数に不足を生じる大学は、高等学校等を借用したが、本試験の会場は、合計273か所に及んだ。

本試験場	273	一般試験場	269	大学内試験場　202 国立大学　169 公立大学　33 高校借用試験場　62 （大学附属高校６、公立高校54、私立高校２） その他の試験場　5（予備校）
		点字試験場	4	大学内試験場　3 盲学校試験場　1
追試験場	4	全国４地区に各１か所の国立大学試験場		

(4) 受験票の発行及び「試験実施大学」欄の訂正

確認はがき、修正はがき等により出願書類を修正確認したのち、共通第１次学力試験の受験票、写真票及び成績請求票を発行し、各志願者あて11月17日から28日までの間に郵送した。受験票等が12月10日までに志願者に送付されなかったときは、その旨を大学入試センターへ届け出ることとしていたが、この未着届は424通提出され、その後に送達されたものを除き371件について再発行を行った。

その他紛失、破損による再発行が試験日までに288件、受験票記載事項の変更による再発行が48件あった。

受験票の発行発送中、11月27日に至り、志願者あてに発送済みの受験票のうち、公立大学を試験場として指定した受験票36,877通（29公立大学分）の「試験実施大学」欄の大学名の記載に誤りがあることが発見された。共通第１次学力試験の実施に当たっては、公立大学と国立大学の関係から、公立大学を試験場とする受験票についても、「試験実施大学」欄には関係の国立大学の名称が記載されるべきものであったが、同欄の印字の打ち出しを指令する出力プログラムに錯誤が

あったため、誤って試験場である公立大学の名称を記入してしまったものである。（試験実施大学は、試験前日までの受験生の試験場についての照会、病気による追試験の申請等を受け付ける役割を果たすものである。）

大学入試センターは、直ちに上記に該当する各受験者に対し、この欄の訂正を通知した。

(5) 検定料の収納

共通第１次学力試験の検定料は、円滑かつ確実な納入を図るために、志願者が日本銀行、その代理店及び郵便局の窓口で納付し、その納付済の領収証書を志願票にはり付けて出願する方法をとっている。大学入試センターは、この領収証書と銀行等から送付される領収済通知書を照合し、本人名儀によるものか、二重に納入されていないかなどの確認を行った。納付件数は、357,943件であったが、納付後に出願を取りやめたもの、重複して納付したもの計287件については、所定の手続を経て本人に検定料相当額を還付した。

4 試　験　実　施

(1) 実施体制等

ア　大学入試センター

試験の実施に当たり、所長、運営協議員、実施方法専門委員会委員及び教科専門委員会問題作成部会（科目別）委員約10人で構成する試験実施本部を設け、電話ファクス等により各国立大学との密接な連携を図るとともに試験実施全般の調整に当たった。

なお、試験の実施に先だち、試験問題の作成、印刷及び各大学への輸送は、計画のとおり行われた。

イ　国公立大学

各国立大学では、公立大学の協力の下に試験実施委員会（学長を委員長とし、10人程度の委員で構成）を置き、当該大学が設定した試験場における試験の実施に当たった。各試験場では、原則として受験者50人に２人の監督者を置いたが、これに従事した教職員は延42,000人以上にのぼった。

なお、一部の大学では、受験者数に対して当該大学の教職員が少ないため、他地区の大学からの応援（延128人）を求めたほか、公立大学、公立高等学校の教員（延310人）に監督補助を

依頼する等の措置がとられた。

ウ　雪害対策等

今回は、年末から、北陸地方を中心として積雪による交通機関の麻痺等の事態が懸念されたため、大学入試センターは、１月６日、これら地域の大学あて、受験生に遅刻しないようあらかじめ留意を促すことなどの対策を講じるよう呼びかけを行うとともに、１月９日、実施本部会議を開催し、雪害対策について協議し、その結果、関係大学あて雪害の影響があった場合にはまず試験開始時刻の繰下げで対応すること及び再試験となった場合の具体的措置等を通知した。

(2)　試験時間

共通第１次学力試験の本試験は、昭和56年１月10日・11日に全国273会場で下記の時間により、全国一斉に行われた。

なお、降雪による交通機関の遅延等による試験時間の繰下げ措置については、次項に記載のとおりである。

期　　日	教　科	試験時間　　（点字受験者）
１月10日（土）	国　語	12：00～13：40（12：00～14：30）
	理　科	14：30～16：30（15：00～18：00）
１月11日（日）	社　会	9：00～11：00（9：00～12：00）
	数　学	12：20～14：00（13：00～15：30）
	外国語	14：50～16：30（16：00～18：30）

(3)　試験開始時刻の繰下げ措置

試験の前日には、福井県、山形県（鶴岡地区）、岐阜県（高山地区）等積雪のため交通機関が途絶した地域もあったが、これら地域の大学では高等学校側に協力を求めた結果、該当の受験者は試験前日までに試験地に到着し、予定どおり試験を開始することは可能とみられた。大学入試センターでは、これらの情報を総合し、当初の計画のとおり行うこととし、第１日目は全国273会場で一斉に開始された。

しかし、第２日目に至り、降雪の影響等のため次の６大学で試験開始時刻の繰下げ措置がとられたが、これらの措置のほかは、無事に終えることができた。

新潟大学	高田分校	社会を10分繰下げ	受験生約　650人	
	長岡分校	全教科を35分繰下げ	13人	降雪による交通機関の遅延
		全教科を１時間20分繰下げ	21人	

福井大学	社会を30分繰下げ	約 2,300人	降雪による交通機関の遅延
金沢大学	社会を30分繰下げ	約 3,700人	
徳島大学	全教科を１時間20分繰下げ	約 2,700人	
島根大学	社会を１時間15分繰下げ	１人	
和歌山大学	社会を30分繰下げ	約 2,800人	事故による交通機関の遅延

(4)　受験状況

受験者数は、本試験と追試験を合わせ340,757人、欠席者は計16,876人（欠席率4.72％）で、欠席率は昨年より若干増加した。

			前年度
ア　志願者数	357,633人		（349,566人）
イ　受験者数	340,757人	（所定の全教科目を受験した者）	（333,212人）
本試験	340,614人	（点字問題受験者を含む。）	（333,026人）
追試験	143人		（　186人）
ウ　欠席者数	16,876人	欠席率4.72％	（16,354人　4.68％）
全教科欠席者	15,772人	（追試験欠席者を含む。）	（15,359人）
一部教科欠席者	1,104人	（　〃　）	（　995人）

(5)　身体に障害のある者に対する措置

身体に障害のある者については、共通第１次学力試験の受験に当たり、志願者の申請に基づき特別の措置を行うこととしており、昭和56年度は、申請のあった166人について次表のとおりその障害の種類、程度に応じ必要な措置を講じた。

また、点字の試験問題は、通常の試験問題を基本として説明文を補足し、点訳に適しない問題については代替問題を出題した。試験時間は通常の者の1.5倍とした。

受験の際の特別の措置

区分＼年度	56年度 志願者数	56年度 受験者数
	人	人
男	125	119
女	41	38
計	166	157

内訳1	障害の種類				
		視覚障害		43	42
		聴覚障害		55	53
		肢体不自由・病弱等		68	62
内訳2	受験の際の措置（延数）	視覚障害	点字問題を点字で解答	12	12
			一般問題を文字で解答	10	9
			拡大鏡等の持参使用	22	21
			照明器具の準備	3	7
			窓側の明るい席を設定	14	12
		聴覚障害	手話通訳者の付与	4	4
			前列に座席を設定	33	31
			補聴器の持参使用	45	41
		肢体不自由・病弱等	別室を設定	16	16
			特製机の使用	5	5
			車椅子等の使用	20	19
			一般問題を文字で解答	24	23
			介助者の付与	13	12
			試験室を一階に設定	34	31
		その他		42	41

(注) 内訳2には、重複措置もあり、延数を示す。

(6) 試験実施の際の特別措置

ア　受験票の「試験実施大学」欄の訂正に伴う措置

公立大学を試験場として指定した受験者のうち、受験票の「試験実施大学」欄の大学名を誤って記載したために該当の受験者36,877人に対し訂正を通知したことは3(4)に記載のとおりであるが、この訂正を「試験場」欄の訂正と感違いし、公立大学の試験場で受験すべきところを試験実施大学（国立大学）に出頭する者があることも予想されたので、このような場合には試験開始前に所定の試験場に到達することが困難と思われる者に限り、第1日目の試験は試験実施大学で受験させるよう通知した。試験当日、これに該当した受験者は、13公立大学分125人であった。

イ　説明補足及び問題訂正の配布もれ並びにその措置

今回使用した試験問題には、問題冊子とは別に、理科について説明補足、基礎理科及び社会について問題訂正が、それぞれ1枚添付されていた。大学入試センターでは、このことについて、試験当日、試験開始時刻前に電話ファクスにより各大学あて留意を促していたが、第1日

目の理科の説明補足の配付もれが3大学3試験室計125人、第2日目の社会の問題訂正の配付もれが2大学2試験室計135人について生じ、特に一部の大学では試験終了後相当の日時を経過してから受験者の指摘により気がつく状況であった。

大学入試センターでは、これらの連絡に応じ、「結果を検討し、受験者の不利にならないような措置をとること」を決定し、関係大学はこのことを該当の受験者に伝えた。

ウ　試験当日、受験票を持参せず、仮受験票の発行を受けた者は、79大学882人であった。

(7) 追試験の実施

追試験は、本試験の1週間後の1月17日、18日に4試験場で実施した。本年度の追試験の対象者は162人で昨年の203人を更に下回った。

なお、162人のうち4人は試験当日の交通機関の事故等によるものであったが、残りの大部分は風邪、腹痛等を原因とするものであった。

欠席者も19人（欠席率11.7%）で多かった。

地区	追試験場名	追試験受験許可者数	性別		事由		卒業見込者		既卒者		受験者	備考
			男	女	疾病負傷等	事故等	男	女	男	女		
北海道	北海道大学	11	10	1	11	0	5	1	5	0	10	
東北関東甲信越	東京農工大学農学部	62	48	14	61	1	11	8	37	6	54	2日目のみ1人
東海・北陸近畿	京都大学本部構内	51	41	10	50	1	18	6	23	4	46	1日目のみ1人
中国・四国九州・沖縄	九州大学文科系学部	38	32	6	36	2	13	5	19	1	33	2日目のみ2人
計		162	131	31	158	4	47	20	84	11	143	

(8) 正解の公表

本試験の正解は、大学入試センターにおいて試験日ごとに、各日の全試験終了後に報道機関を通じて公表し、後日追試験の問題冊子・正解とともに各高等学校等に通知した。

また、追試験の正解は、1月19日の正午に、試験を行った国立大学で公表するとともに、追試験の正解の郵送を希望した70人の受験者に対しても、後日送付した。

5 実 施 経 果

(1) 答案の読取り及び採点

試験終了後各試験実施大学で取りまとめられ、大学入試センターへ返送されてきた受験者の答案約171万枚は、まず試験場別、教科別に枚数を確認し、1月12日から約2週間のうちに光学式マーク読取装置で同一答案について3回の読取りを行い、各回の読取り結果を照合し、誤りがないことを確認した上でコンピュータで採点した。

なお、理科（生物）の説明補足及び社会（日本史、世界史、地理A）の問題訂正の配付もれに対する措置は、該当する試験室の受験者の当該科目の解答の具体的内容を、同一試験場の他の試験室の受験者の成績と比較するなどして検討した結果、地理Aを選択解答した該当者16人に対しては、全員に得点2点を与えることとしたが、それ以外の科目については有意の差が認められなかったため、特別の措置はとらないこととした。

(2) 答案のマークもれ等の状況

本試験における受験番号及び選択科目欄のマークもれ等の件数は、1,034件（延受験者数に対する発生率0.04％）で昨年度（1,203件0.05％）より若干少なくなった。

その内容は、次のとおりである。

ア	受験番号欄のマークもれ	191件（発生率0.008％）
イ	受験番号欄のマーク誤り	473件（〃 0.02 ％）
ウ	選択科目欄のマークもれ等及び同一科目をマーク	250件（〃 0.01 ％）
エ	選択を認められた科目以外を選択解答等	120件（〃 0.005％）

これらのマークもれ等の答案は、採点せずその科目は0点とすることとしており、このことは受験案内や受験者心得、問題冊子等に記載するとともに、試験開始前や終了時に試験監督者が口頭で注意点検を行うよう指示していたものであった。

また、教科別の受験番号及び選択科目欄のマークもれ等は、第1日目の国語が108件、理科が177件、第2日目の社会が98件、数学が279件、外国語が372件となっており、1日目より2日目、1教科目よりも2教科目、3教科目の方が発生率が高くなっており、この傾向は、これまでと同じであった。

(3) 平均点等の公表

答案の読取り及び採点に引き続き本試験の全教科・科目を受験した340,614人についての総得点及び科目別の平均点、標準偏差、最高点、最低点を算出し、これらを2月3日に報道機関を通じて公表した。

(4) 成績の提供

共通第1次学力試験を課さない推薦入学者を除き、各国公立大学の第2次試験の志願者に対する共通第1次学力試験の成績の提供に関する業務は、各大学の請求に基づき2月9日から3月5日までに磁気テープ、パンチカード等を媒体として行った。

本年度からは、個人別成績のほかに出願資格、性別及び住所等も併せて提供した。延成績提供件数は306,001件（前年度314,151件）で、このうち第2次募集に係るものは、6,239件（前年度9,313件）であった。

6 試 験 問 題

(1) 試験問題の作成

共通第1次学力試験の試験問題は、高等学校学習指導要領に準拠し、主として高等学校においてすべての生徒が履修する教科・科目から出題することとしている。試験問題の作成に当たっては、大学入学者の選抜の資料としての有効性を確保するため、高等学校においてまじめに学習に努めている受験者の平均得点率が60％程度の正解になることを目標とし、現在使用されている教科書の内容についても十分調査研究を行うとともに、教育課程に即した実際の学習の進度にも留意することを基本としているが、本年度の問題作成に当たってもこの方針を踏襲することとした。

試験問題の作成に当たっては、衆知を集めて適切なものを作るという観点と、この試験が各国立大学の入学者選抜の第一段階のものであるということから、広く全国の国立大学の教員約200人を教科専門委員として委嘱している。これらの委員が15科目別の問題作成部会及び点字問題作成の特別部会に分属し、部会や部会間で試験問題の内容に重複や相互推測の可能性が生じないよう協議・検討を重ねて問題の作成を行ったことは、前年度と同様である。

試験問題の作成過程においては、従前から上記の問題作成部会とは別に、特別の委員会を設け、主として問題の形式、用字用語の統一等全体の調整を図ってきた。本年度は、この特別の委員会

とは別に、過去２回の実施において試験開始後の問題訂正等がしばしばあったことを反省し、試験問題の内容、正解等について照合を行う特別の専門委員会を設けた。これは過去に試験問題作成にたずさわった経験を持つ者で構成される委員会であり、照合・確認の結果は、試験問題作成部会へ還元されるものである。今回の試験ではこのように点検を重ねたため、試験実施中での訂正等の事態はなかったが、この方式は今後とも活用していきたいと考えている。

(2) 科目間の平均点の差

前年度の試験の結果では、社会と理科において科目ごとの平均点に相当のバラツキがあり、科目選択の仕方で有利又は不利となるとの指摘があり、その解消が強く要請された。

今回の結果についてみると、平均点のバラツキが最も大きいのは、理科で地学（63.55）と物理（51.20）との間の12.35、社会で倫理・社会（71.88）と政治・経済（60.64）との間の11.24であり、社会では前回より半減したものとなった。これは、問題作成の過程で、問題自体についての改善に努めるとともに科目間の調整を行った結果であるが、そのほか、過去２回の試験の設問ごとの正答率等実施のデータについて詳細に研究し、それを問題作成に取り入れるとともに、配点方法にも工夫をこらしたためであったと考えている。

科目間の平均点のバラツキは、試験問題それ自体の難易度の差によるほか、その科目を選択した受験者集団の学力レベルの相違など複雑な要因があり、これを全くなくすることはきわめて難しく、プラス・マイナス５点程度の差が生じることはやむを得ないのではないかと考えられる。しかし、これまでのこの試験の経過を見ると、平均点が高い、得点の取り易い科目を選択する者が著しく増加するという傾向が目立ち、特に倫理・社会、政治・経済、地学の増加、世界史、日本史、物理の減少が著しい。このことはまた、高等学校の日常の授業の履修にも影響を与えることになるので十分に留意すべきことである。このような観点から、昭和57年度から倫理・社会及び政治・経済の２科目を同時に選択することができなくなる措置がとられたが、今回の試験の結果についても更に調査・分析を行い、その結果を問題作成に反映させ、できるだけ難易度の差のない均質の問題を作るよう全力を尽したいと考えている。

なお、各大学が共通第１次学力試験の成績のほか、第２次試験の成績や高等学校からの調査書の内容などを総合する場合、種々の角度から受験生の学力を測定することが可能となるよう、各大学に共通第１次学力試験の成績を提供する際には、受験者各人の得点のほかに、全受験者の総得点や各科目の得点について詳細な資料を併せて提供したのは、前年度と同様であった。

(3) 試験問題に対する意見

試験問題に対する意見として、総得点（1,000点満点）の平均点（607.12点）が前年度と比べ、10.24点低くなったことが第１に指摘されているが、高等学校においてまじめに学習に努めていれば60％程度の解答が得られるという目標の内に一応納まったものと考えている。

平均点が昨年度のものより約10点下ったのは数学の平均点が約11点下回ったことが反映したものとみられるが、数学については過去２回の結果に関し平易過ぎる、競争試験で必要な識別性が必ずしも十分でないという意見があったため、問題作成段階でこのことを意識したものであったが、今回の得点が適切なものであったかどうか、十分に分析・研究したいと考えている。

今回の試験は、識別性という点では妥当なものという評価があった。しかし、反面、平均点が毎年下ってきているということは必ずしも望ましいことではなく、各科目とも少くとも60点を下回らない水準が適当であろう。このことは今後の問題作成に当たって十分留意していきたいと考えている。

試験終了後、各方面から寄せられた試験問題についての批判や意見は、大勢として、これまでの結果を踏まえて工夫された適切な問題であるというものが多く、とくに社会は改善の方向に向ったという意見があった。しかし、一方、一部には細かい知識を問うにとどまる適当でないものもあり、一層の工夫改善を要するという批判も寄せられた。とくに物理、英語は難かし過ぎるという意見が多かった。

共通第１次学力試験の実施後寄せられた意見等は、全て今後の試験問題の作成に反映させるため試験問題作成部会で検討しているが、大学入試センターとしても組織的に高等学校側の意見をきくため共通第１次学力試験等連絡協議会試験問題部会（Ⅰ—５(4)共通第１次学力試験連絡協議会の項参照）を設置し、意見交換を行い、その結果をとりまとめ公表している。また、全国的な教科・科目別の17教育団体にも意見・評価を求めているところであり、それらは「年報別冊」として刊行する。

Ⅲ　昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方に関する調査研究

1　経　　緯

昭和53年 8 月30日、学校教育法施行規則の一部改正（昭和53年文部省令第31号）が行われるとともに、同日付けで、新しい高等学校学習指導要領（文部省告示第163号）が公示され、これらによる新しい教育課程が、昭和57年 4 月に高等学校に入学する生徒から、学年進行で適用されることとなった。

この改訂に伴い、昭和60年度以降の大学の入学者選抜は、この新しい教育課程に基づいて実施されることとなり、特に共通第 1 次学力試験については、これをどのように実施するかが、大きな課題となっている。

国立大学協会では、昭和54年11月の総会において、第 2 常置委員会に入試教科目改訂専門委員会を設置し、昭和57年11月の総会までに最終結論を出すことを目途に、この改訂に伴う諸問題の検討を開始した。

大学入試センターでは、国立大学協会からの要請を受け、昭和55年 1 月、昭和60年度以降の共通第 1 次学力試験のあり方について、専門的立場から検討を行うため、試験教科目等調査研究委員会を設置し、国立大学協会の入試教科目改訂専門委員会との連携の下に調査研究を開始し、昭和54年度においては、主として、新しい教育課程の特色の理解とそれに基づく共通第 1 次学力試験の問題点の整理等を行った。

2　調査研究の概要

試験教科目等調査研究委員会は、国立大学協会の検討日程等を考慮しながら、次のとおり調査研究を実施した。

(1)　昭和55年11月（国立大学協会総会）まで

昭和54年度に行った新しい教育課程の特色と共通第 1 次学力試験の問題点の整理等の結果を踏まえ、今後の共通第 1 次学力試験の①基本問題、②出題教科・科目及び③出題形式について具体的な検討を行い、現行方式と対比した改訂諸案の問題点をまとめ、新しい教育課程に関する資料を付して国立大学協会に提出した。

国立大学協会では、大学入試センターから提出した検討資料に基づき、入試教科目改訂専門委員会で検討の結果、昭和60年度以降の大学入学者の選抜の具体的な検討に入る前提として、基本的考え方を確立する必要があるとし、昭和55年11月の総会において、次のような基本方針を決定した。

「昭和57年度からの新高等学校学習指導要領実施に
伴う昭和60年度以降の大学入学者選抜の基本的方針」

国（公）立大学は昭和60年度以降も現行制度と同様の大学入学者選抜試験を行う。すなわち、各国（公）立大学は、共通第１次学力試験と大学ごとに行う第２次試験の結果とを総合してそれぞれの大学の入学者を決定する。

共通第１次学力試験の出題教科は、国語、社会、数学、理科、外国語（英、仏、独）の５教科とする。

国語、社会、数学、理科の４教科については原則として、高等学校教育課程における必修科目のほかに選択科目を加えて出題する方向で検討する。

外国語は上記４教科に準ずる。

(2) 昭和56年３月まで

現行の方式の趣旨を今後とも踏襲することとした国立大学協会の基本的方針にのっとり、高等学校における基礎的学力を見ようとする現行の共通第１次学力試験の趣旨を引き続き継承して、その具体的な出題教科・科目及び出題形式について詳細な検討を行った。

この結果、一応の具体案（数案）がまとまったので、そのとりまとめ作業に着手した。

3　今後の調査研究計画

国立大学協会では、昭和56年６月総会で検討案を提起し、各大学にアンケートを行った上、同年11月総会で中間報告し、翌昭和57年11月総会で最終決定することとしており、大学入試センターとしては、当面、昭和56年６月の国立大学協会総会に向けて、検討案のとりまとめを進める必要がある。

Ⅳ　研　　究

研究部は、昭和52年５月に、情報処理、追跡、評価の３研究部門で発足し、その後、試験方法と試験制度の２研究部門が増設され、現在に至っている。

研究部では、その設立の趣旨に沿い、大学入試の改善に関する調査研究を集中的に行っているが、研究活動の報告としては、今回が最初のものである。

1　研究組織及び研究課題

(1)　研究組織

研究部長（併任）		加　藤　陸奥雄
情報処理研究部門	助教授（併任）	清　水　留三郎
	助教授	岩　坪　秀　一
追跡研究部門	教　授	若　林　　博
	助　手	荒　井　克　弘
評価研究部門	教　授（併任）	池　田　　央
	助教授	塗　師　　斌
	助　手	渡　部　　洋
試験方法研究部門		
試験制度研究部門	教　授	中　島　直　忠
	助　手	池　田　輝　政

(2)　研究課題

情報処理研究部門

○　大学入試、とくに共通第１次学力試験の情報処理システムに関する研究

○　情報処理に関する他研究部門への協力

追跡研究部門

○　大学入試の追跡研究に必要な研究方法の改善及び開発に関する研究

○　各大学における入試改善の動向に関する研究

○　大学入試における受験者の行動、教育環境及び社会環境に関する研究

○　教育システムにおける共通第１次学力試験の役割に関する研究

評価研究部門

○　共通第１次学力試験問題の内容の評価に関する研究

○　学力試験の標準化に関する研究

○　客観テストの回答形式に関する研究

試験方法研究部門

○　共通第１次学力試験を中心とした試験方法に関する研究

○　諸外国の大学入試の方法の比較研究

試験制度研究部門

○　大学入学者選抜制度に関する研究

○　諸外国の大学入試制度の比較研究

なお、共通の研究課題としては、次のものがある。

○　大学入試、とくに共通第１次学力試験における教科・科目間の成績の相関分析に関する研究

○　客観テストの信頼性及び妥当性に関する研究

○　大学入試と高等学校教育及び大学教育との関係に関する研究

2　研究事項、成果等

研究部では、上記の研究課題をふまえ、調査研究を行ったが、本年度における具体的な研究事項は、次のとおりである。

情報処理研究部門

○　選択科目の難易度と受験者群の学力平均の推定に関する研究

○　地域別受験者群の学力平均の推定に関する研究

○　通信回線上を伝送される情報の保護に関する研究

○　モニター調査(注2)結果の集計及び分析

○　教育制度史及び大学史の調査

追跡研究部門

○　わが国と英独仏の現行の大学等入学者選抜制度の比較研究(注1)

（注１）　これは、昭和55年度文部省短期在外研究員として、若林教授が、「ヨーロッパ主要国における大学入学者選抜の現状に関する調査研究」のため、昭和56年１月に、パリ・ボン・ロンドン等を歴訪し、これによって得られた資料をもとに行ったものである。

○　国立大学における合否判定の評価と共通第１次学力試験の成績との関連に関する研究

○　共通第１次学力試験に関する基礎的研究資料の作成

評価研究部門

○　昭和55年度共通第１次学力試験の項目分析

○　テスト理論における得点分布と共通第１次学力試験への適用

○　共通第１次学力試験の学力の相関分析

○　テスト得点の等化（equating）の方法

○　構造的テスト得点のベイズ流条件付解釈

○　モニター調査(注2)の実施及び分析

（注２）　試験問題の評価研究の一環として、54年度に引き続き行われた、本試験と追試験の試験問題を比較すること等を目的とした調査に基づくものである。

試験制度研究部門

○　大学入試方式の高校教育に及ぼす影響に関する調査研究

○　大学入試方式と大学教育の関係に関する調査研究

○　一般入学者及び推薦入学者の高校教育学習達成度に関する調査研究

○　College Admissionの改革をめぐる制度的要因及び社会的背景の基礎的研究

これらの研究成果は、研究紀要（第１号）の発行、13回にわたる研究セミナーの開催及び第１回国立大学入学者選抜研究連絡協議会における発表等により、発表するとともに、共通第１次学力試験の実施に反映させている。

なお、研究紀要については、研究内容が入学者の選抜に関するものであるため、扱っている資料又は内容によっては、公表するものと公表しないものとがある。

3　共　同　研　究

(1)　国立大学入学者選抜研究連絡協議会の発足

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流及び協力を行い、もって入学者選抜方法の改善に寄与することを目的として、各国立大学の入学者選抜に関する研究委員会と当センター研究

部で組織する国立大学入学者選抜研究連絡協議会が、昭和55年６月27日発足した。(国立大学入学者選抜研究連絡協議会研究報告書　第１号参照)

(2)　外部との共同研究

次の二つの研究を行った。

○　文部省科学研究費補助金総合研究Ａ

大衆化時代における高等教育の政策と制度――日米両国に関する政策科学的及び比較教育学的研究――

研究代表者：中島直忠　参加者：16人

○　文部省特定研究経費

教育制度における大学入学試験の位置づけに関する調査研究

(1)国内調査研究及び米英に関する調査研究

(2)理工系大学における入学者選抜試験のあり方に関する調査研究

(3)職業高校生についての大学入試の位置づけに関する調査研究

(4)フランス・西ドイツとわが国における大学入学者選抜制度の比較研究

研究代表者：中島直忠　参加者：４機関、16人。

Ⅴ　次年度の課題

昭和55年度における大学入試センターの事業は、ⅠからⅣまでに記載のとおり概ね計画どおり遂行された。共通第１次学力試験と第２次試験の組み合わせによる入学者選抜制度は、各国公立大学の努力と高等学校を始め関係各方面の協力を得て、定着の方向をたどっていると見ることができるが、さらにより適正な実施を目指して、改善が図られなければならない。大学入試センターが次年度の課題としている事項は、次のとおりである。

1　昭和57年度共通第１次学力試験の実施

(1)　社会の科目の選択方法の変更に伴う措置

「倫理・社会」及び「政治・経済」の２科目を選択する者が著しく増加し、高等学校の社会の履修に影響が生じていることは、昭和54年度年報においても報告したとおりであるが、文部省大学局長通知（昭和55年９月５日付け文大大第201号）により、これら２科目の同時選択を認めないこととすることが決定されている。これに伴う実施面の措置を行うこと。

(2)　科目間平均点の差の解消

理科及び社会において、科目間の平均点に結果として、プラス・マイナス５点程度の差が生じることは，ある程度やむを得ないことであるが、その差が大きくなると、科目選択による公平さに問題が生じるので、過去３回のデータの分析研究等を行い、問題の難易度にできる限り差がなく、かつ、その科目を選択した受験生集団の学力の差がでるような、適切な問題の出題に努めること。

なお、試験実施後に行う調整の方法については、実施方法の基本にもからむ問題であるので、今後とも研究を継続すること。

(3)　受験の地域割の変更に伴う措置

受験生が特定の府県に集中する等の事態により、監督員の配置、試験場の設置等に困難が生じている府県について、国立大学協会において、府県を超えた受験の「地域割り」の実施が検討されている。これに伴う実施面の措置を行うこと。

(4)　追試験の試験場の変更

追試験の受験者数が、次第に減少しているので、その試験場を減少することについて国立大学協会と協議し、これに伴う実施面の措置を行うこと。

(5) 追試験及び再試験の区分の明確化

昭和56年度共通第１次学力試験では、一部の試験場で、雪害による影響を受けたが、試験開始時刻の繰下げ措置により、本試験を実施することができた。しかし、今後とも予想されるこの種の事態を考慮すると、追試験及び再試験の区分をより明確にしておく必要があるので、それぞれの実施要領の再検討を行うこと。

(6) 私立大学の参加に伴う措置

特定の私立大学が共通第１次学力試験を利用することについて、国立大学協会において検討が進められており、これに伴う実施面の措置を行うこと。

2 昭和60年度以降の共通第１次学力試験のあり方に関する調査研究

(1) 検討案のまとめ

昭和56年６月の国立大学協会総会に向けて、昭和55年度に行った出題教科・科目及び出題形式についての調査研究の結果を整理し、とりまとめること。

(2) 職業高等学校に対する代替措置の検討等

現行の共通第１次学力試験においては、出題が必修科目に限定されているため、職業高等学校の専門科目を対象とした代替措置等について特別の配慮はなされていない。昭和60年度以降は、選択科目を加えるという基本方針がとられることから、職業高等学校の専門科目を出題科目に加えることについて検討を行うこと。

また、過年度の高等学校卒業者に対する移行措置についても検討すること。

(3) 新しい教育課程による出題の試行

昭和56年11月の国立大学協会の中間報告後において、国立大学の教員で構成する委員会を設け、問題作成の試行を行うこと。

3 研究の推進

過去３回にわたる共通第１次学力試験のデータの分析研究等を積極的に行い、その結果を今後の改善に活用するとともに、入学者選抜方法の改善に関する研究を推進し、各国立大学との研究交流に努めること。

Ⅵ 資　　料

1 昭和55年度業務日誌

昭和55年

4月1日　教科専門委員会新委員を任命

4月7日　実施方法専門委員会情報処理部会（テストグループ）

○昭和55年度共通第1次学力試験の成績について協議

4月9日　日本教職員組合と懇談

4月9日～11日　教科専門委員会

全体会議　（9日）

○試験問題の作成に関する諸問題について審議

各科目別問題作成部会　（10・11日）

○試験問題の作成計画及び日程等について協議

4月11日　教科専門委員会問題作成部会長会議

○教科専門委員会正副委員長を選出

4月15日　試験教科目等調査研究委員会（第4回）

国立大学入学者選抜研究協議会（仮称）準備会

4月18日　運営協議員会（第24回）

(1) 研究部教官候補者の選考について審議

(2) 「国公立大学ガイドブック（昭和56年度版）」及び「新しい大学入試（昭和56年度版）」の作成について審議

(3) 昭和56年度共通第1次学力試験の実施について審議

4月22日　実施方法専門委員会実施方法部会（第17回）

○「昭和56年度共通第1次学力試験実施要項」（案）及び「同受験案内」（案）について審議

4月24日　大学入試センター年報（昭和53年度）を公表

5月7日　（国立大学協会第2常置委員会）

5月8日　（全国高等学校長協会特殊学校部会）

○身体に障害のある者に対する共通第1次学力試験実施の際の措置について協議

5月14日　試験教科目等調査研究委員会（第5回）

5月15日　実施方法専門委員会実施方法部会（第18回）

(1) 「昭和56年度共通第1次学力試験実施要項」（案）及び「同受験案内」（案）について審議

(2) 昭和55年度共通第１次学力試験実施の概要について審議

5月16日　運営協議員会（第25回）

○「昭和56年度共通第１次学力試験実施要項」等について審議

5月17日　「国公立大学ガイドブック」原稿依頼

5月21日　（国立大学協会理事会）

5月23日　（文部省入試改善会議）

6月３日　共通第１次学力試験等連絡協議会総合部会（第10回）

○昭和56年度共通第１次学力試験の実施等について協議

6月11日　評議員会（第11回）

(1) 昭和56年度概算要求の基本方針（案）について審議

(2) 昭和56年度共通第１次学力試験の実施について審議

6月12日　実施方法専門委員会（合同会議）

○共通第１次学力試験実施提要の改正について審議

6月13日　運営協議員会（第26回）

(1) 大学入試センター研究部教官会議の運営等に関する内規（案）について審議

(2) 昭和56年度概算要求の基本方針（案）について審議

(3) 電子計算機の更新について審議

(4) 共通第１次学力試験関係のデータの取扱いについて審議

昭和56年度共通第１次学力試験実施要項を各大学あて通知

昭和56年度実施要項及び同受験案内を公表

6月13日～23日　昭和56年度共通第１次学力試験受験案内を各大学あて送付

6月17日　（国立大学協会理事会）

6月18日　（国立大学協会第２常置委員会）

6月17日～18日　（国立大学協会総会）

6月24日　昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会（関東甲信越地区）

「新しい大学入試（昭和56年度版）」を公表

6月25日　試験教科目等調査研究委員会（第６回）

6月27日　国立大学入学者選抜研究連絡協議会設立総会

6月30日　昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会（東海・北陸地区）

7月１日　各大学が受験案内の交付を開始

昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会（近畿地区）

7月３日　各大学へ試験場設定を依頼

昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会（中国・四国地区）

7月５日　〃　（九州・沖縄地区）

7月９日　日本教職員組合と懇談

7月12日　昭和56年度共通第１次学力試験説明・協議会（東北地区）

7月14日　〃　（北海道地区）

7月17日　共通第１次学力試験実施担当者会議（第１回）

7月24日　試験教科目等調査研究委員会（第７回）

7月25日　実施方法専門委員会（合同会議）

○昭和56年度共通第１次学力試験受験票、確認はがき等について審議

8月７日～21日　試験教科目等調査研究委員会小委員会

9月２日　実施方法専門委員会情報処理部会（テストグループ）

9月４日～12日　情報処理事務連絡会（全国７地区）

9月12日　文部記者会と懇談

9月16日　「国公立大学ガイドブック（昭和56年度版）」の刊行を公表

9月17日　電子計算機新機種選定小委員会（第１回）

9月18日　試験教科目等調査研究委員会（第８回）

日本教職員組合と懇談

9月19日　運営協議員会（第27回）

(1) 試験問題特別専門委員会（仮称）の組織運営について審議

(2) 試験問題等の利用のあり方について審議

(3) 正解、配点等の公表について審議

9月22日　（国立大学協会第２常置委員会）

9月25日　実施方法専門委員会実施方法部会（第19回）

○昭和56年度監督要領等について審議

9月29日　昭和56年度共通第1次学力試験の出願受付準備状況等について公表

10月1日～15日　昭和56年度共通第1次学力試験の出願受付

10月1日　昭和56年度共通第1次学力試験出願受付状況の公表

（当日の出願状況、出願受付状況等）

10月8日～11月1日　確認はがきを入学志願者あて発送

10月9日　昭和56年度共通第1次学力試験出願受付状況（中間）を公表

10月15日　昭和56年度共通第1次学力試験出願受付状況（締切日）を公表

10月17日　試験教科目等調査研究委員会（第9回）

10月28日　（国立大学協会理事会）

10月30日　運営協議員会（第28回）

(1) 試験問題特別専門委員会に関する規程について審議

(2) 大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程について審議

(3) 大学入試センターの所長及び教官の任期等に関する内規の一部改正について審議

10月31日　評議員会（第12回）

○試験問題特別専門委員会の設置について審議

11月11日　昭和56年度共通第1次学力試験志願者数（確定）の公表

（国立大学協会理事会）

（国立大学協会第2常置委員会）

11月11日～12日　（国立大学協会総会）

11月12日　日本教職員組合と懇談

11月13日　各国立大学へ受験者数を通知

○各国公立大学別試験場別に受験者数等を通知

11月17日～29日　受験票等を志願者あて発送

11月18日　試験問題特別専門委員会（部会長会議）

昭和56年度共通第1次学力試験における臨時電話ファクス及び臨時電話の設置について各国立大学へ通知

11月19日　試験教科目等調査研究委員会（第10回）

11月19日～20日　共通第1次学力試験実施担当者会議（第2回）

11月25日　運営協議員会（第29回）

○昭和56年度共通第1次学力試験の実施について審議

11月27日　共通第1次学力試験受験票の記載事項の一部訂正について公表

11月28日　各国立大学へ試験関係資料を送付（第1回）

12月4日　電子計算機新機種選定小委員会（第2回）

12月8日　各国立大学へ試験関係資料を送付（第2回）

12月9日　昭和56年度国立・公立大学別志望状況を公表

12月11日　実施方法専門委員会統計資料刊行委員会

12月11日　実施方法専門委員会（合同会議）

○統計資料の刊行について審議

○共通第1次学力試験実施当日の体制について審議

12月17日　日本高等学校教職員組合と懇談

12月18日　試験教科目等調査研究委員会（第11回）

12月19日　運営協議員会（第30回）

(1) 昭和56年度共通第1次学力試験の実施について審議

(2) 教官選考特別委員会の設置について審議

12月23日　昭和56年度共通第1次学力試験の概要を公表

共通第1次学力試験等連絡協議会総合部会（第11回）

○昭和56年度共通第1次学力試験の実施について協議

昭和56年

1月6日　各大学と電話ファクス及び専用電話の交信テスト

1月7日　昭和56年度共通第1次学力試験実施本部

○雪害に伴う措置等について審議

1月9日　追試験受験申請の受付・許可

1月10日～11日　昭和56年度共通第1次学力試験（本試験）を実施

試験問題及び解答用紙を公表

1月11日　正解を公表

1月13日～14日　追試験受験者名簿を作成し、追試験実施大学長あて送付

1月14日　昭和56年度共通第1次学力試験追試験志願者数を公表

1月17日～18日　昭和56年度共通第1次学力試験（追試験）を実施

1月17日～18日　追試験問題及び解答用紙を公表

1月18日　追試験正解を公表

1月19日　試験教科目等調査研究委員会小委員会

1月27日　昭和56年度共通第1次学力試験実施本部

○昭和56年度共通第1次学力試験実施結果等について審議

1月28日　日本教職員組合と懇談

電子計算機新機種選定小委員会（第3回）

1月29日　試験教科目等調査研究委員会（第12回）

1月30日　教科専門委員会部会長会議

2月3日　昭和56年度共通第1次学力試験本試験平均点等を公表

（国立大学協会第2常置委員会）

2月6日　運営協議員会（第31回）

(1) 昭和56年度共通第1次学力試験の実施結果及び今後検討すべき事項について審議

(2) 教科専門委員会の運営について審議

(3) 研究部教官候補者の選考について審議

2月9日～3月5日　各国公立大学から成績の請求及びその提供

2月12日　共通第1次学力試験等連絡協議会試験問題部会（全体会議）

2月18日　（国立大学協会理事会）

2月19日　共通第1次学力試験等連絡協議会総合部会（第12回）

○昭和56年度共通第1次学力試験の実施結果及び今後検討すべき事項について協議

2月24日　実施方法専門委員会実施方法部会（第20回）

○専門委員会の運営について協議

2月24日　試験教科目等調査研究委員会（第13回）

3月17日　実施方法専門委員会実施方法部会（第21回）

○昭和56年度共通第1次学力試験実施結果に基づく検討事項について審議

3月18日　評議員会（第13回）

○昭和56年度共通第1次学力試験実施結果等について審議

3月19日　試験教科目等調査研究委員会（第14回）

○審議のとりまとめ

日本教職員組合と懇談

3月24日　運営協議員会（第32回）

(1) 昭和56年度共通第1次学力試験の実施結果に基づく検討事項について審議

(2) 大学入試センター専門委員の会議に関する規程の一部改正（案）について審議

(3) 研究部教官候補者の選考について審議

(4) 統計資料の刊行について審議

3月25日　教科専門委員会部会長会議

2　昭和55年度大学入試センター役職員

所長		加藤陸奥雄
管理部		
	管理部長	中村桂樹
	庶務課	
	庶務課長	藤澤惠
	庶務係長	川上拓美
	人事係長	田辺尚征
	共同利用係長	吉田純子
	広報係長(併任)	川上拓美
	会計課	
	会計課長	河野秀夫
	総務係長	永田榮一
	経理係長	小松良美
	用度係長	廣田豊
	施設係長	小松武志
事業部		
	事業部長	明石富治
	事業課	
	事業課長	堀津省二 (55. 10. 1まで)
		賀数惠二郎 (55. 10. 1から)
	課長補佐	早川晃
	企画調整係長	佐藤稔
	問題作成第1係長	武田一夫
	問題作成第2係長	伊良波正之 (55. 6. 16まで)
		霜田浩二 (55. 6. 16から)
	問題管理係長	片山隆二
	試験実施第1係長	宮川幸悦
	試験実施第2係長	柿沼信行
	情報処理課	
	情報処理課長	三浦猛夫
	業務第1係長	鈴木規夫
	業務第2係長	小貫浩
	情報管理係長	渕上光明
	資料係長	小松俊夫
研究部		
	研究部長(事務取扱)	加藤陸奥雄

3　規　　程

(1)　大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する規程
（昭和55年10月30日　規程第15号）

(2)　大学入試センター研究部長候補者の選考手続に関する規程
（昭和55年10月30日　規程第16号）

(3)　大学入試センター専門委員の会議に関する規程
（昭和52年6月16日　規程第3号
昭和56年3月24日　一部改正）

(1)　大学入試センター試験問題特別専門委員会に関する規程

（昭和55年10月30日
規　程　第　15　号）

（趣旨）

第１条　大学入試センター（以下「センター」という。）に、大学入試センター専門委員の会議に関する規程（昭和52年規程第３号。以下「専門委員会規程」という。）第３条に規定する特別の専門委員会として、試験問題特別専門委員会（以下「委員会」という。）を置く。

２　委員会の組織及び運営については、専門委員会規程第１条の規定にかかわらず、この規程の定めるところによる。

（目的）

第２条　委員会は、教科専門委員会が作成した試験問題について、その構成、内容、解答等の点検、照合に関する事項を処理する。

（部会）

第３条　委員会に、専門委員会規程第11条に掲げる部会（特別問題作成部会を除く。以下「部会」という。）を置く。

（委員）

第４条　委員会の委員は、50人以内とし、センターの所長が任命する。

２　委員は、センターの所長の指名により、いずれか１の部会に所属するものとする。

第５条　委員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

（委員長等）

第６条　委員会に委員長を置く。委員長は、委員のうちから、センターの所長が委嘱する。

２　各部会に部会長を置く。部会長は、部会の構成員が互選する。

（会議）

第７条　委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

２　部会は、構成員の３分の２以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

（庶務）

第８条　委員会の庶務は、事業課において処理する。

附　則

1　この規程は、昭和55年10月30日から施行する。

2　第５条の規定にかかわらず、昭和55年度に任命される委員の任期は、昭和57年３月31日（ただし、所長が指名する委員にあっては、昭和56年３月31日）までとする。

(2)　大学入試センター研究部長候補者の選考の手続に関する規程

（昭和55年10月30日
規程第16号）

（趣旨）

第１条　大学入試センター（以下「センター」という。）における研究部長候補者の選考の手続については、この規程に定めるところによる。

（候補者の選考）

第２条　研究部長候補者は、センターの所長が、研究部の専任教授のうちから選考する。

2　センターの所長が前項の手続を行うに当たっては、運営協議員の会議の議を経なければならない。この場合、所長は、あらかじめ研究部の意見を聴取するものとする。

（諮問の手続）

第３条　運営協議員の会議における前条第２項の議事は投票によるものとし、大学入試センター運営協議員の会議に関する規程（昭和52年規程第２号）第４条の規定にかかわらず、運営協議員の過半数をもって議決する。

（文部大臣への推薦）

第４条　センターの所長は、前条の手続を経た者を研究部長候補者として、文部大臣に推薦するものとする。

（雑則）

第５条　この規程に定めるもののほか、研究部長候補者の選考に関して必要な事項は、運営協議員の会議の議を経て、別に定める。

第６条　この規程の改正は、運営協議員の会議の議を経て、センターの所長が行う。

附　則

この規程は、昭和55年10月30日から施行する。

(3) 大学入試センター専門委員の会議に関する規程

（昭和52年６月16日
規定第３号）

第１章　総則

（目的）

第１条　この規程は、大学入試センター組織運営規則（昭和52年文部省令第20号。以下「規則」という。）第７条第２項及び第５項の規定に基づき、大学入試センター（以下「センター」という。）の専門委員（以下「委員」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（専門委員会）

第２条　委員は、規則第７条第２項に定める職務を行うに当たっては、会議を開いて協議を行うものとする。

２　前項の会議は、専門委員会（以下「委員会」という。）とし、その種類及びこれらを構成する委員の数は、次のとおりとする。

(1)　教科専門委員会　　200人以内

(2)　実施方法専門委員会　　20人以内

第３条　前条第２項に規定する委員会のほか、同項第１号及び第２号の委員会の相互に関連する専門的事項を処理し、又は臨時的に特定の専門的事項を審議するため、特別の専門委員会を構成することができる。

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、２年とし、原則として１年ごとに委員の半数を改選する。

２　委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、残任期間が１年に満たない場合は、１年を経過した日の属する年度の末日までとすることができる。

３　第２条第２項第１号に掲げる委員会の委員は、引き続き再任することができない。

（委員長等）

第５条　委員会に委員長を置き、委員のうちからセンターの所長が委嘱する。

２　前項に規定するもののほか、委員会に副委員長を置くことができる。

（会議）

第６条　委員会の会議は、センターの所長が必要と認めたときに、委員長と協議し、委員長がこれを

招集する。

２　委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

（議決）

第７条　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（臨時委員）

第８条　委員会に、委員のほか、特別な事項について調査審議するため、臨時委員を置くことができる。

２　臨時委員に関する事項は、別に定める。

第２章　教科専門委員会

第９条　削除

（所掌事項）

第10条　教科専門委員会は、センターの所長の委嘱により、共通第１次学力試験（以下「試験」という。）に関して、次の事項を処理する。

(1)　試験の問題作成の基本方針の策定及び問題の作成に関すること。

(2)　試験の問題作成に関し、教科・科目間の調整に関すること。

（部会）

第11条　教科専門委員会に、科目別等の試験問題を作成するため、次表のとおり部会を置く。

部会の名称	分担事項
国語問題作成部会	「現代国語」及び「古典Ⅰ甲」の試験問題の作成
倫・社問題作成部会	「倫理・社会」の試験問題の作成
政・経問題作成部会	「政治・経済」の試験問題の作成
日本史問題作成部会	「日本史」の試験問題の作成
世界史問題作成部会	「世界史」の試験問題の作成
地理問題作成部会	「地理Ａ」及び「地理Ｂ」の試験問題の作成
数学問題作成部会	「数学一般」及び「数学Ⅰ」の試験問題の作成
基礎理科問題作成部会	「基礎理科」の試験問題の作成
物理問題作成部会	「物理Ⅰ」の試験問題の作成
化学問題作成部会	「化学Ⅰ」の試験問題の作成
生物問題作成部会	「生物Ⅰ」の試験問題の作成

地学問題作成部会	「地学Ⅰ」の試験問題の作成
英語問題作成部会	「英語A」及び「英語B」の試験問題の作成
ドイツ語問題作成部会	「ドイツ語」の試験問題の作成
フランス語問題作成部会	「フランス語」の試験問題の作成
特別問題作成部会	身体に障害のある者のための試験問題の作成

2　教科専門委員会の委員は、センターの所長の指名により、いずれかの部会に属するものとする。

3　各部会ごとの委員の数は、別に定める。

4　各部会は、番号によって呼称するものとし、その番号は、別に定める。

（部会長）

第12条　部会に部会長及び副部会長を置く。

2　部会長及び副部会長は、各部会の構成員が互選する。

3　部会長は、各部会の会務を掌理する。

4　副部会長は、部会長の職務を助ける。

（会議）

第13条　部会の会議は、部会長が招集する。

2　部会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

（部会長会議）

第14条　教科専門委員会に、試験問題作成の基本方針その他試験問題に関する重要事項を審議するため、部会長会議を置く。

2　部会長会議は、各部会長（部会長に事故があるときは、副部会長又は部会長があらかじめ指定する委員）で構成する。

3　実施方法専門委員会の委員長は、部会長会議の構成員になるものとする。

第15条　部会長会議の議決は、教科専門委員会の議決とすることができる。

第16条　第6条第2項及び第7条の規定は、部会長会議に準用する。

（調整のための会議の開催）

第17条　部会は、試験の問題作成に関し、他の部会と合同して調整のための会議を開くものとする。

第3章　実施方法専門委員会

第18条　削除

（所掌事項）

第19条　実施方法専門委員会は、センターの所長の委嘱により、試験に関して、次の事項を処理する。

(1)　試験の実施方法の基本方針の策定及び実施方法に関すること。

(2)　試験に関する情報処理の基本方針の策定及び情報処理に関すること。

（教科専門委員会委員長の参加）

第20条　教科専門委員会の委員長は、実施方法専門委員会の構成員になるものとする。

第4章　雑則

（庶務）

第21条　委員会の庶務は、事業部事業課において処理する。

（会議の細目）

第22条　この規定に定めるもののほか、委員会の会議の細目については、別に定める。

（規程の改廃）

第23条　この規程の改廃は、運営協議員の会議の議を経て、所長が行う。

附　則

この規程は、昭和52年6月16日から施行し、昭和52年5月24日から適用する。

附　則（昭和52年8月2日）

この規程は、昭和52年8月2日から施行し、昭和52年7月28日から適用する。

附　則（昭和53年3月14日）

この規程は、昭和53年3月14日から施行する。

附　則（昭和53年4月1日）

この規程は、昭和53年4月1日から施行する。

附　則（昭和53年9月22日）

この規定は、昭和53年9月22日から施行する。

附　則（昭和54年6月20日）

1　この規程は、昭和54年6月20日から施行する。

2　第4条第3項の規定にかかわらず、第11条第1項に掲げる特別問題作成部会にあっては、当分の間、委員を引き続き再任することができる。

附　則（昭和54年10月18日）

この規程は、昭和54年10月18日から施行する。

附　則（昭和56年3月24日）（抄）

1　この規程は、昭和56年３月24日から施行する。

4　実施要項等

(1)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験実施要項
(2)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験受験案内（抄）
(3)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験志願票
(4)　昭和56年度共通第１次学力試験受験票
(5)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験受験者心得
(6)　昭和56年度共通第１次学力試験の試験場設定について
(7)　昭和56年度共通第１次学力試験における各地区の追試験実施大学の指定について
(8)　昭和56年度共通第１次学力試験志願者の試験場別割当てについて
(9)　昭和56年度共通第１次学力試験試験場一覧
(10)　大学入学者選抜共通第１次学力試験実施提要の送付について
(11)　その他の参考資料
ア　大学入学者選抜実施要項の一部改正について（文部省）
イ　共通第１次学力試験における社会に属する科目の選択方法について（文部省）
ウ　共通第１次学力試験に関する申合せ（国立大学協会）
エ　入試責任者の臨時交代措置に関する申合せ（国立大学協会）
オ　大学入試センターよりの要望事項についての総会了承(国立大学協会)

(1) 昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験

実　施　要　項

（昭和55年６月13日入試セ事第65号
大学入試センター所長通知）

Ⅰ　国立大学の共通第１次学力試験の実施

大学入学者選抜実施要項（昭和52年６月30日付け文大大第247号文部省大学局長通知）の第10に定める国立大学の共通第１次学力試験（以下「共通第１次学力試験」という。）の実施については、次に定めるところによるものとする。

１　目的とその実施

(1)　共通第１次学力試験は、国立大学に入学を志願する者について、主として、高等学校の段階における一般的かつ基礎的な学習の達成の程度を判定することを目的とする。

(2)　共通第１次学力試験は、各国立大学が大学入試センターと協力して、同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施する。

２　実施に当たっての業務分担

共通第１次学力試験の実施に当たっての業務は、大学入試センターと各国立大学が、次のとおり分担する。

(1)　大学入試センターは、共通第１次学力試験の実施に当たり、試験問題等の作成・印刷及び輸送、受験案内等の作成、出願の受け付け、受験票の交付、監督要領等の作成、答案の採点・集計、試験成績その他資料の各大学あての提供、その他これらに関連する業務

(2)　各国立大学は、共通第１次学力試験の実施に当たり、試験場の設定、試験監督者等の選出、受験案内等の交付、試験の実施、答案の整理・発送、その他これらに関連する業務

３　対　　象

共通第１次学力試験の対象は、次に掲げるいずれかに該当し、かつ国立大学に入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）とする。

(1)　高等学校を卒業した者及び昭和56年３月卒業見込みの者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和56年３月修了見込み

の者

(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和56年３月31日までにこれに該当する見込みの者

4 出題教科・科目等

(1) 共通第１次学力試験の出題は、高等学校学習指導要領に準拠し、主として高等学校においてすべての生徒が履修する科目から行う。

(2) 共通第１次学力試験の出題教科・科目等は、次のとおりとする。

国　語　国語は、現代国語及び古典Ⅰ甲を出題する。

社　会　社会は、倫理・社会、政治・経済、日本史、世界史、地理Ａ及び地理Ｂを出題し、２科目を選択解答させる。ただし、地理Ａ及び地理Ｂの２科目を選択することはできない。

数　学　数学は、数学一般及び数学Ⅰを出題し、１科目を選択解答させる。ただし、数学一般を選択解答できる者は、高等学校において数学Ⅰの科目を履修せず、数学一般の科目を履修した者に限る。

理　科　理科は、基礎理科、物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ及び地学Ⅰを出題し、基礎理科１科目又は基礎理科を除く科目から２科目を選択解答させる。ただし、基礎理科を選択解答できる者は、高等学校において物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、地学Ⅰの科目を履修せず、基礎理科の科目を履修した者に限る。

外国語　外国語は、英語Ａ、英語Ｂ、ドイツ語及びフランス語を出題し、１科目を選択解答させる。ただし、英語Ａを選択解答できる者は、高等学校において英語Ｂの科目を履修せず、英語Ａの科目を履修した者に限る。

(3) 出題範囲については、共通第１次学力試験の実施期日の時点における高等学校の履修の状況に配慮する。

(4) 共通第１次学力試験は、主として多肢選択による客観式の検査方式により出題し、解答はマーク方式による。

5 受験案内等の交付

(1) 共通第１次学力試験の受験案内及び出願に必要な書類等は、大学入試センターが作成し、昭和55年７月上旬から各国立大学において交付する。

(2) 受験案内及び出願に必要な書類等の交付を受けようとする者は、直接又は出身高等学校を経由して、居住地又は出身高等学校の最寄りの国立大学に請求する。

6 出　願

共通第１次学力試験の出願は、次によるものとする。

(1) 出願の期間は、昭和55年10月１日（水）から10月15日（水）までとする。

(2) 出願の方法は、次のとおりとする。

ア．高等学校（盲学校、聾学校及び養護学校の高等部を含む。以下同じ。）を昭和56年３月卒業見込みの者は、出願に必要な書類を取りそろえ、検定料（7,000円）を受験案内に定める手続きにより納付し、その領収証書を添えて、出身高等学校長を経由して大学入試センターに郵送により提出する。

なお、これに関する高等学校での取り扱い等については、大学入試センターが別に定める。

イ．高等学校を昭和56年３月卒業見込みの者以外の者（高等学校を卒業した者、大学入学資格検定合格者等）は、出願に必要な書類（出願資格を証明する書類を含む。）を取りそろえ、検定料（7,000円）を受験案内に定める手続きにより納付し、その領収証書を添えて、直接大学入試センターに郵送により提出する。

(3) 入学志願者は、出願に際し、志望する大学・学部等を申請するものとする。この場合、第２志望まで申請することができ、その際公立大学を含めることができる。

7 受験票等の交付

(1) 大学入試センターは、出願を受理した入学志願者に対し、受験番号、試験場等を記載した受験票、志願大学に提出するための共通第１次学力試験成績請求票等を昭和55年12月下旬までに原則として直接郵送により交付する。

(2) 受験票等の再発行に関する手続き等については、大学入試センターが別に定める。

8 試験場の指定等

(1) 大学入試センターは、入学志願者に対し、次により試験場を指定する。

ア．高等学校を昭和56年３月卒業見込みの者（通信制の課程によるものを除く。）については、原則として出身高等学校が所在する都道府県内（北海道，長崎

県及び沖縄県にあっては、受験案内で定める地区とする。以下同じ。）の国立大学が設定する試験場

イ．高等学校を卒業した者及び通信制の課程による卒業見込みの者については、入学志願者の希望を考慮し、出身高等学校が所在する都道府県内の国立大学が設定する試験場又は居住する都道府県内の国立大学が設定する試験場

ウ．大学入学資格検定合格者等については、居住する都道府県内の国立大学が設定する試験場

(2) 大学入試センターは、各国立大学に対し、当該大学が所在する都道府県内の入学志願者の数を割り当て、各国立大学は、その割り当てに応じた試験場を設定する。

9 実施期日等

(1) 共通第１次学力試験は、昭和56年１月10日（土）、11日（日）の２日間で実施する。

(2) 実施する各教科の試験時間は、国語、数学及び外国語については各100分とし、社会及び理科については各120分とする。

10 追試験の実施

(1) 共通第１次学力試験の追試験は、疾病・負傷及び交通機関の事故その他のやむを得ない事由により、共通第１次学力試験を受験できない入学志願者を対象として、昭和56年１月17日（土）、18日（日）の２日間において、大学入試センターが指定する国立大学が設定する試験場で実施する。

(2) 各国立大学は、追試験の出願を受け付け、大学入試センターが定める基準により審査のうえ、受験の可否を決定するものとする。

(3) 追試験の実施に関する必要な事項は、大学入試センターが別に定める。

11 再試験の実施

雪・地震等による災害その他の事情により、所定の期日に共通第１次学力試験を実施できなかった場合には、その再試験を実施することとする。

12 資料の公表

大学入試センターは、共通第１次学力試験に係る資料を次のとおり公表する。

(1) 入学志願者の志望大学・学部等の申請の状況について、昭和55年12月中を目途として公表する。

(2) 共通第１次学力試験の問題及びその正解について、試験実施後速やかに公表する。

(3) 共通第１次学力試験の科目別全国平均点等について、昭和56年２月８日（日）までに公表する。

13 成績の請求及び提供

(1) 各国立大学は、当該大学の入学志願者についての共通第１次学力試験の成績を、入学志願者から提出された共通第１次学力試験成績請求票に基づき、大学入試センターが定める方法により大学入試センターに請求するものとする。

(2) 大学入試センターは、各国立大学の請求に基づき、共通第１次学力試験の成績を各大学に対し速やかに提供するものとする。提供する成績は、入学志願者の個人別の科目別得点及び総得点とする。

(3) 共通第１次学力試験の個人別成績は、発表しないものとする。

14 身体に障害のある者に対する試験実施上の配慮

(1) 共通第１次学力試験の実施に当たっては、身体に障害のある入学志願者に対し、障害の種類・程度に応じ、特別の配慮を行う。

この場合、盲者の入学志願者に対しては、点字による出題、試験時間の延長、特定試験場の設定等の措置をとることとし、その他の身体に障害のある入学志願者に対しても、必要に応じ特定試験場の設定、介助者の付与等の措置をとることとする。

(2) 身体に障害があり、志望の大学・学部等における修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、あらかじめ当該大学と協議（協議中を含む。）のうえ出願するものとする。協議を受けた当該大学は、協議の結果又は協議中である旨の文書を入学志願者に交付するものとする。

Ⅱ 公立大学における共通第１次学力試験の利用

大学入学者選抜実施要項の第11に定める公立大学における共通第１次学力試験の利用に関しては、次に定めるところによるものとする。

1 利用の手続き等

(1) 各公立大学は、共通第１次学力試験の利用に関し、大学入試センターとの間で所要の取り決めを行うものとする。

(2) 各公立大学は、共通第１次学力試験の実施に関し、試験場の設定、試験監督者等の選出、受験案内等の交付、試験の実施、答案の整理等について、最寄り

の国立大学に協力するものとする。

(3) 各公立大学は、公立大学に入学を志願する者に対し、共通第１次学力試験を当該大学の第１次の学力検査として利用する旨を周知するものとする。

2　公立大学に入学を志願する者の受験申込

(1) 公立大学に入学を志願する者は、前記Ⅰの６に定めるところに準じ、共通第１次学力試験の受験申し込みを行うものとする。

(2) 志望大学・学部等の申請については、Ⅰの６の(3)に準ずるものとし、第２志望まで申請するときは、国立大学を含めることができる。

3　成績の請求及び提供

(1) 公立大学に係る成績の請求及び提供は、前記Ⅰの13に準じて実施するものとする。

(2) 大学入試センターは、公立大学に成績を提供するときは入学志願者１人につき150円の成績提供手数料を当該大学から徴収するものとする。

4　そ　の　他

その他については、前記Ⅰに準ずるものとする。

(2)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験

受　験　案　内（抄）

昭和56年１月10日(土)午後、11日(日)

大学入試センター

昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験
受　験　案　内

目　次

まえがき
Ⅰ　出願資格
Ⅱ　試験の期日及び試験時間
Ⅲ　試験教科・科目等
Ⅳ　出願
　1　検定料の納付　　2　出願期間及び出願書類提出先
　3　出願書類及びその提出方法
Ⅴ　志望する大学・学部等の申請
Ⅵ　試験場の指定及び受験希望県の申請
Ⅶ　出願に当たっての注意
Ⅷ　志願票記入事項の確認
Ⅸ　受験票等の送付
Ⅹ　受験票等の再発行
Ⅺ　資料の公表
Ⅻ　身体に障害のある者に対する試験実施上の取り扱い
ⅩⅢ　追試験
ⅩⅣ　再試験
（以下　略）

〔注〕検定料の納付書、身体障害者受験措置申請書、受領書（高等学校用）、封筒（出願書類提出用）は折り込んである。

まえがき

大学の入学者選抜は、大学教育を受けるにふさわしい能力と適性をもった者を、公正にしかも妥当な方法で行う必要があり、また、高等学校の教育を乱すようなことがあってはならないという理念に基づいて行わなければなりません。

国公立大学は、この趣旨に添い、従来の大学入学者選抜方法を改善して、昭和54年度から共通第１次学力試験を取り入れた選抜を実施しています。

すなわち、すべての国公立大学は、まず共通第１次学力試験を大学入試センターと協力して一斉に実施し、これによって入学志願者の、高等学校における一般的・基礎的な学習の達成の程度を判定します。つづいて各大学は、それぞれの大学・学部等の特性等に応じて第２次試験（第２次の学力検査、実技検査、面接、小論文等を必要に応じて実施する。）を実施します。各大学は、これらの１次と２次の試験の成績や、高等学校長から提出される調査書の内容などを総合して合否の判定を行うこととしています。

したがって国公立大学に入学を希望する者（共通第１次学力試験を課さない推薦入学の希望者は除く。）は、共通第１次学力試験を受験しなければなりません。

共通第１次学力試験に出願する者は、この受験案内に従って所定の手続をとってください。

昭和56年度国公立大学入学者選抜実施日程

55年7月上旬から　**共通第1次学力試験受験案内を各国公立大学で交付**

↓

7月末日まで　各国公立大学が第2次試験の実施要項を公表

↓

10月1日(水)～15日(水)　**共通第1次学力試験の出願受付、志望する大学・学部等を申請**

↓

12月上旬まで　共通第1次学力試験志願者に受験票等を送付

↓

12月25日(木)まで　各国公立大学が第2次試験の細目を公表、出願書類等の交付開始

↓

12月中　各国公立大学の大学・学部等志望状況を公表

↓

56年1月10日(土)、11日(日)　**共通第1次学力試験を実施**

↓

1月11日(日)　共通第1次学力試験問題の正解を公表

↓

1月17日(土)、18日(日)　**追試験（病気等による受験不能者対象）を実施**
〔再試験（雪害等による受験不能者対象）を実施〕

↓

2月8日(日)まで　推薦入学（共通第1次学力試験を課さない場合）の結果発表

↓

2月8日(日)まで　共通第1次学力試験の科目別平均点等を公表

↓

2月9日(月)～16日(月)　**各国立大学の出願受付**（各公立大学もほぼ同じ時期）

↓

2月26日(木)まで　一部の国公立大学で実施する2段階選抜と推薦入学（共通第1次学力試験を課す場合）の結果発表

↓

3月4日(水)から　**各国立大学と大部分の公立大学が第2次試験を実施**

↓

3月5日(木)以降　**一部の公立大学が第2次試験を実施**

↓

3月20日(金)まで　**各国立大学が合格者を発表**（各公立大学もこれに準ずる）

↓

3月21日(土)以降　一部の国公立大学が第2次募集を実施

Ⅰ　出　願　資　格

共通第1次学力試験に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ国立大学・公立大学に入学を志願する者とする。

1　高等学校を卒業した者、及び昭和56年3月卒業見込みの者

2　通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び昭和56年3月修了見込みの者

3　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び昭和56年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は次のとおりである。

(1)　外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び昭和56年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの

(2)　文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び昭和56年3月31日までに修了見込みの者

(3)　文部大臣の指定した者

(4)　大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者、及び昭和56年3月31日までに合格見込みの者

(5)　その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

II　試験の期日及び試験時間

期　日	教科	試験時間
1月10日(土)	国　語	12：00－13：40
	理　科	14：30－16：30
1月11日(日)	社　会	9：00－11：00
	数　学	12：20－14：00
	外国語	14：50－16：30

III　試験教科・科目等

1　次の全教科をすべて受験すること。

1教科でも受験しなかった場合には、共通第1次学力試験を受験したことにはならない。したがって、各国公立大学の第2次試験（共通第1次学力試験を課さない推薦入学は除く。）に出願することができない。

国　語……「現代国語」と「古典Ⅰ甲」をあわせて1科目解答
社　会……2科目解答
数　学……1科目解答
理　科……2科目解答　ただし「基礎理科」を選択する場合は、1科目解答
外国語……1科目解答

2　共通第1次学力試験は、高等学校学習指導要領に準拠し、主として高等学校において、すべての生徒が履修する次の科目から出題する。

教科	試験時間	配点	出題科目	受　験　科　目
国　語	100分	200点	現代国語と古典Ⅰ甲	「現代国語」と「古典Ⅰ甲」をあわせて解答
社　会	120	200	倫理・社会 政治・経済 日　本　史 世　界　史 地　理　A 地　理　B	2科目を試験室で選択解答 （「地理A」及び「地理B」を2科目として選択することはできない。）

教科	試験時間	配点	出題科目	受　験　科　目
数　学	100分	200点	数　学　Ⅰ 数学一般	1科目を解答 （「数学一般」を解答できる者は、高等学校において「数学Ⅰ」の科目を履修せず、「数学一般」の科目を履修した者で、その選択をあらかじめ志願票で届け出て、受験票で認められた者に限る。大学入学資格検定合格者についても同じ。）
理　科	120	200	物　理　Ⅰ 化　学　Ⅰ 生　物　Ⅰ 地　学　Ⅰ 基礎理科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」の4科目から2科目を試験室で選択解答、又は「基礎理科」1科目を解答 （「基礎理科」を解答できる者は、高等学校において「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」の科目を履修せず、「基礎理科」の科目を履修した者で、その選択をあらかじめ志願票で届け出て、受験票で認められた者に限る。大学入学資格検定合格者は「基礎理科」を選択した者に限る。）
外国語	100	200	英　語　B ドイツ語 フランス語 英　語　A	1科目を試験室で選択解答 （「英語A」を解答できる者は、高等学校において「英語B」の科目を履修せず、「英語A」の科目を履修した者で、その選択をあらかじめ志願票で届け出て、受験票で認められた者に限る。大学入学資格検定合格者については「英語A」「英語B」のいずれの科目を選択してもよい。ただし「英語A」を選択する場合は、あらかじめ志願票で届け出ること。）

3　「数学一般」、「基礎理科」、「英語A」の選択をあらかじめ志願票で届け出て、受験票で認められた者は、試験室で他の科目に変更して解答することはできない。

4　『社会』の教科のうち「日本史」については、高等学校学習指導要領の『社会』「日本史」の内容中「(7)現代の世界と日本」（第二次世界大戦終結以降の事象）は出題範囲から除外する。ただし、中学校における履修程度の出題を行うことがある。

5　共通第1次学力試験は、主として多肢選択による客観式の検査方式により出題し、解答はマーク方式による。

Ⅳ　出　　願

1　検定料の納付

(1)　検定料の額

共通第１次学力試験の検定料は7,000円とする。

なお、第２次試験の検定料は、各大学へ出願する際に納付するものとし、国立大学においては8,000円（夜間に授業を行う学部にあっては5,000円）、公立大学においては、各公立大学が募集要項等で定めるところによる。

(2)　検定料の納付期限

昭和55年10月15日㈬（指定金融機関の窓口締切時刻まで）

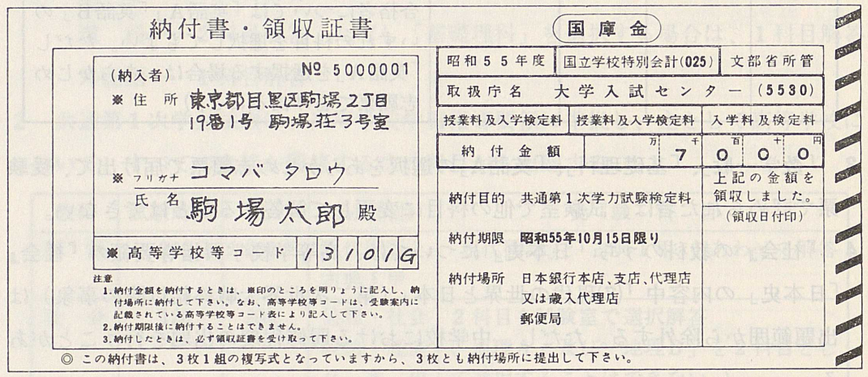
納付期限を厳守すること。

(3)　納付方法

①　検定料の納付書は、納付書・領収証書、領収控、領収済通知書の３枚１組であること、及び納入者欄の番号が３枚とも同一であることを確認すること。検定料の納付書は、この受験案内に折り込んである。

②　納付書に入学志願者の住所、氏名(フリガナ)、高等学校等コード（37～58ページ参照）を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。

〔納付書・領収証書記入例〕



納付書・領収証書　　国庫金

（納入者）　№ 5000001

※住所　東京都目黒区駒場２丁目19番1号 駒場荘３号室

※フリガナ　コマバ タロウ

氏名　駒場太郎　殿

※高等学校等コード　1 3 1 0 1 6

注意
1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。
2. 納付期日後に納付することはできません。
3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

昭和５５年度	国立学校特別会計(025)	文部省所管
取扱庁名	大学入試センター（5530）	
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	万 千 7	百 十 0 0 0 円
納付目的	共通第１次学力試験検定料	上記の金額を領収しました。（領収日付印）
納付期限	昭和55年10月15日限り	
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店又は歳入代理店 郵便局	

◎ この納付書は、３枚１組の複写式となっていますから、３枚とも納付場所に提出して下さい。

③　最寄りの日本銀行の本店、支店、代理店、歳入代理店又は郵便局で納付すること。

日本銀行歳入代理店は、銀行、信用金庫等の本店、支店で「日本銀行歳入代理店」の表示のあるもの。

④　納付した際は、必ず領収証書を受け取ること。

⑤　領収証書は、検定料納付の証明として志願票の裏の所定欄にはり付けること。

万一、領収証書を紛失した場合は、氏名、高等学校等コード、納付した金融機関名、納付年月日を速やかに大学入試センター事業課（電話 03－465－8600）に連絡すること。

2　出願期間及び出願書類提出先

(1)　出願期間

昭和55年10月１日㈬から10月15日㈬まで（10月15日消印有効）

出願期間を厳守すること。

(2)　出願書類提出先

〒100　東京都千代田区丸の内２丁目７番２号

東京中央郵便局留置

大学入試センター事業部

3　出願書類及びその提出方法

(1)　高等学校（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。以下同じ。）を昭和56年３月卒業見込みの者

出願書類

①　志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

②　検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

提出方法

①　入学志願者は、出願書類を取りそろえ、在学する高等学校長へ提出すること。

②　高等学校長は出願書類を取りまとめ、大学入試センターへ書留扱いで郵送すること。

(2)　高等学校を卒業した者

出願書類

①　志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 卒業証明書（出身高等学校長が発行するもの。様式を問わない。）
高等学校からの封筒から取り出して添付すること。

④ 単位修得証明書（出身高等学校長が発行するもの。様式を問わない。）
この単位修得証明書は、「数学一般」、「基礎理科」、「英語A」を選択し解答することを届け出る者のみ提出すること。
高等学校からの封筒を開封しないで、そのまま添付すること。

〔注〕 卒業証明書及び単位修得証明書は出願期間以前に、はやめに出身高等学校へ請求し入手しておくこと。

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

(3) 高等専門学校第3学年を修了した者、及び昭和56年3月修了見込みの者

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 高等専門学校第3学年を修了したことを証明する書類、又は修了見込みの証明書（出身高等専門学校長が発行するもの。様式を問わない。）
高等専門学校からの封筒から取り出して添付すること。

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

(4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び昭和56年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの

（文部大臣の指定したものは、「東京外国語大学外国語学部附属日本語学校」、「国際学友会日本語学校」、「関西国際学友会日本語学校」及び「赴日留学生予備学校」において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者、及び昭和56年3月31日までに修了見込みの者

で、昭和56年3月31日までに18歳に達する者が該当する。）

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 外国において学校教育の12年の課程を修了したことを証明する書類、又は修了見込みの証明書
文部大臣の指定したものに該当する者は、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したことを証明する書類、又は修了見込みの証明書

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

(5) 文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び昭和56年3月31日までに修了見込みの者

（立教英国学院高等部がこれに該当する。）

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 在外教育施設の高等学校の課程に相当する課程を修了したことを証明する書類、又は修了見込みの証明書

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

(6) 文部大臣の指定した者（4ページ参照）

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 出身学校等を卒業又は修了したことを証明する書類、修了見込みの証

明書、若しくはこれに準ずるもの

国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

(7) 大学入学資格検定に合格した者、及び昭和56年3月31日までに合格見込みの者

（昭和56年3月31日までに18歳に達する者）

㋐ 大学入学資格検定に合格した者

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 大学入学資格検定合格証書の写し又は合格証明書

〔注〕 合格証明書は、文部省初等中等教育局高等学校教育課へ請求し入手すること。

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

㋑ 昭和55年度大学入学資格検定に合格見込みの者

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 昭和55年度大学入学資格検定受検出席票（受検の際に交付する。）

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

㋒ 科目合格者の単位修得による昭和55年度大学入学資格検定に合格見込みの者

（大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの受検科目に相当

する科目について、現に在学している高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で昭和56年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当する。）

出願書類

① 志願票（この受験案内の裏表紙を切りはなして使用すること。）

② 検定料納付済の領収証書（志願票の裏の所定欄にはり付けること。）

③ 大学入学資格検定科目合格通知書

〔注〕科目合格通知書は、文部省初等中等教育局高等学校教育課へ請求し入手すること。

④ 受検科目に相当する科目を、在学する高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で履修していることを証明する書類（出身高等学校長が発行するもの。様式を問わない。）

高等学校からの封筒を開封しないで、そのまま添付すること。

提出方法

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、必ず折り込みの指定の封筒を使用し、大学入試センターへ書留扱いで直接郵送すること。

V 志望する大学・学部等の申請

1 共通第1次学力試験の出願の際に、国立大学及び公立大学の中から志望する大学、学部・学群・類等を申請すること。

この場合、第2志望まで申請することができる。**第1志望は、必ず申請しなければならない。**

〔注〕 各大学の第2次試験の出願の時には、共通第1次学力試験の出願の際に申請した第1志望、第2志望のいずれかを選んで出願することが原則であるが、自己の勉学の進度や共通第1次学力試験の自己採点等によって、入学志願者が特に必要があると判断した場合には、第1志望、第2志望以外の大学・学部等に出願することができる。

Ⅵ　試験場の指定及び受験希望県の申請

1　試験場の指定

試験場は、国立大学が設定し、大学入試センターが次により指定する。指定された試験場以外での受験は認めない。

(1)　高等学校を昭和56年３月卒業見込みの者（通信制の課程による者を除く。）については、原則として出身高等学校が所在する都道府県内（北海道、長崎県及び沖縄県にあっては「受験希望県コード表」（59ページ）で定める地区とする。以下同じ。）の試験場を指定する。

(2)　高等学校を卒業した者及び通信制の課程による卒業見込みの者については、出身高等学校が所在する都道府県内の試験場又は志願票の現住所欄に記入した都道府県内の試験場のいずれかを、入学志願者の希望により指定する。

(3)　大学入学資格検定合格者等については、志願票の現住所欄に記入した都道府県内の試験場を指定する。

2　受験希望県の申請

(1)　高等学校を卒業した者及び通信制の課程による卒業見込みの者で、志願票の現住所欄に記入した都道府県内の試験場で受験を希望する者は、その都道府県を「受験希望県コード表」により申請しなければならない。

(2)　大学入学資格検定合格者等は、志願票の現住所欄に記入した都道府県を「受験希望県コード表」により申請しなければならない。

Ⅶ　出願に当たっての注意

1　出願期限（昭和55年10月15日、当日消印有効）経過後に提出された出願書類は、いかなる理由があっても受理しない。

ア　出願書類は、出願期間以前に取りそろえ、十分に点検し、出願期間内に、はやめに提出すること。

イ　高等学校を卒業した者等は、卒業証明書等の必要な証明書を出願期間以前に、はやめに出身高等学校等に請求し入手しておくこと。

〔注〕　高等学校等に卒業証明書等の交付を郵便で請求する場合は、必要に応じて発行手数料等を添えて、封筒の表に「共通第１次学力試験出願用証明書請求」と朱書し、200円切手をはった返信用封筒（入学志願者の現住所・氏名を表書きしたもの。）を同封すること。

2　出願書類に次のような不備があるものは、受理しない。

(1)　志願票の記入もれ、記入誤り

(2)　検定料納付済の領収証書がはり付けられていないもの

(3)　必要な証明書類が添付されていないもの

3　志願票を大学入試センターに提出した後は、いかなる理由があってもその記入事項を変更することはできない。

ただし、氏名、現住所、連絡先（電話）に変更があった場合は、次の事項を記入した郵便はがき（「現住所変更」等と朱書すること。）により、大学入試センター事業課（〒153　東京都目黒区駒場２丁目19番１号）に届け出ること。

この届け出は、昭和56年２月８日（第２次試験出願受付前日）までとする。

㋐　新・旧の氏名（フリガナ）、現住所（フリガナ）、連絡先（電話）

㋑　高等学校等コード、出身高等学校名（高等学校出身者以外の者は出願資格）、その他参考となる事項

なお、現住所変更による、試験場の指定の変更及び受験希望県の変更は認めない。

4　大学入試センターが出願を受理したときは、いかなる理由があっても検定料は返還しない。

Ⅷ　志願票記入事項の確認

1　大学入試センターは、志願票の記入事項を電算機に登録したのち、その事項を確認のため、はがきに打ち出して本人に送付する。

2　このはがきは、出願書類を発送した日から、おおよそ３週間後には本人の手元に届くこととなる。

Ⅸ　受験票等の送付

1　受験票、写真票、成績請求票は受験者心得とともに、11月下旬から12月上旬の間に大学入試センターから直接本人に送付する。

(1)　受験票

受験票には、受験番号、氏名、試験場、選択承認科目等が記載されている。

①　受験票の裏面に記載されている注意事項をよく読むこと。

②　受験票の写真欄に写真（試験日前3か月以内に撮影した無帽上半身タテ4cm・ヨコ3cm）をあらかじめはり付けること。

③　写真欄の下の氏名欄に、受験者本人が氏名を黒又は青のボールペンで自筆で記入すること。この氏名記入は解答用紙の氏名記入と照合することがある。

④　受験票は、試験当日に必ず持参すること。

⑤　受験票は、各大学の第2次試験を受験する際にも必ず持参すること。

⑥　受験票は、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保管しておくこと。

(2)　写真票

①　写真票の裏面に記載されている注意事項をよく読むこと。

②　写真票の写真欄に、受験票と同一の写真をあらかじめはり付けること。

③　写真欄の右の氏名欄に、受験者本人が氏名を黒又は青のボールペンで自筆で記入すること。この氏名記入は解答用紙の氏名記入と照合することがある。

④　写真票は、試験当日に必ず持参し、提出すること。

(3)　成績請求票

①　成績請求票は、「国公立大学提出用」1枚、「公立大学提出用」2枚、「第2次募集用」1枚の3種類計4枚である。

②　成績請求票の記載事項は次のとおりである。

受験番号―試験場コード―発行回数
氏　　名

③　国立大学の第2次試験に出願する際には、「国公立大学提出用」を、その大学の募集要項の指示に従い、志願票の所定欄にはり付けること。

④　公立大学の第2次試験に出願する際には、「国公立大学提出用」又は「公立大学提出用」を、その大学の募集要項の指示に従い、志願票の所定欄にはり付けること。

⑤　第2次募集に出願する際には、「第2次募集用」を、その大学の募集要項の指示に従い、志願票の所定欄にはり付けること。

⑥　成績請求票は、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保管しておくこと。

2　受験票、写真票、成績請求票等が12月10日(水)までに到着しなかった場合は、本人又は出身高等学校長は、12月15日(月)までに、次の事項を記入した速達郵便はがき（「受験票未着」と朱書すること。）により、大学入試センター事業課（〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号）に届け出ること。

㋐　氏名（フリガナ）、現住所(フリガナ)、連絡先（電話）

㋑　高等学校等コード、出身高等学校名（高等学校出身者以外の者は出願資格）、その他参考となる事項

Ⅹ　受験票等の再発行

1　受験票等の再発行は原則として行わない。ただし、次の事由のあるときは受験票等の再発行を行う。

(1)　氏名に変更があったとき。

(2)　氏名、性別、生年月日に誤記があったとき。

(3)　受験票、写真票、成績請求票を紛失したり、汚損したりしたとき。

〔注〕　現住所の変更の場合は、大学入試センターの諸帳簿の住所表示は変更するが、受験票の住所表示の変更は行わず、旧住所表示のままで有効とするので受験票の再発行は行わない。

2　再発行申請の方法

(1)　再発行を申請する場合は、次の事項を記入した速達郵便（封筒の表に「受験票等再発行」と朱書すること。）により、大学入試センター事業課（〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号）へ速やかに申請すること。

㋐　必要とする受験票、写真票、成績請求票の種別

㋑　再発行事由（氏名変更、紛失、汚損等）

㋒　氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡先（電話）

㋓　高等学校等コード、出身高等学校名（高等学校出身者以外の者は出願資格)、その他参考となる事項

200円切手をはった返信用封筒(長形３号：タテ23㎝・ヨコ11.5㎝、現住所・氏名を表書きしたもの。)を同封すること。

(2)　大学入試センターは、申請事項を審査のうえ、受験票、写真票、成績請求票を再発行し本人に送付する。

Ⅺ　資料の公表

1　大学入試センターは、共通第１次学力試験に関する資料を、次のとおり報道機関を通じて公表する。

(1)　入学志願者の志望する大学・学部等の申請状況について、昭和55年12月中に公表する。

(2)　共通第１次学力試験の問題及びその正解・配点について、試験実施後、速やかに公表する。

(3)　共通第１次学力試験の科目別全国平均点、標準偏差、最高点、最低点等について、昭和56年２月８日㈰までに公表する。

2　共通第１次学力試験の個人別成績は発表しない。

Ⅻ　身体に障害のある者に対する試験実施上の取り扱い

1　試験実施上の措置

(1)　共通第１次学力試験の実施に当たっては、身体に障害のある入学志願者に対して、障害の種類・程度に応じて、申請に基づき特別の措置をする。

(2)　身体に障害のある入学志願者に対して試験実施の際に措置する事項は、次表のとおりとする。

障害の種類	障害の程度		出題方法	解答方法	試験時間	措置する事項
1 視覚障害	盲		点字による出題	点字による解答	1.5倍	・レーズライターの準備 ・点字用解答用紙等の準備 ・点字板等の持参使用
	弱視	ア	点字による出題	点字による解答	1.5倍	・レーズライターの準備 ・点字用解答用紙等の準備 ・点字板等の持参使用
		イ	点字による出題	文字による解答	1.5倍	・文字用解答用紙等の準備
		ウ	一般入学志願者と同様	文字による解答	一般入学志願者と同様	・照明器具の準備 ・窓側の明るい席を指定 ・文字用解答用紙等の準備 ・拡大鏡等の持参使用許可
		エ	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	・照明器具の準備 ・窓側の明るい席を指定 ・拡大鏡等の持参使用許可
2 聴覚障害	聾（ろう）・難聴		一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	・必要に応じて手話通訳者の付与 ・必要に応じて座席を前列に設定 ・補聴器の持参使用許可
3 肢体不自由	上肢（し）不自由	ア	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて別室を設定
		イ	一般入学志願者と同様	文字による解答	一般入学志願者と同様	・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて別室を設定 ・文字用解答用紙等の準備
	下肢（し）不自由		一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	・必要に応じて介助者の付与 ・試験室を一階に設定 ・必要に応じて別室を設定 ・必要に応じて特製机の準備 ・車いす等の持参使用許可
4 病弱	病弱 身体虚弱		一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	一般入学志願者と同様	・必要に応じて介助者の付与 ・必要に応じて別室を設定

〔備考〕

①　点字による出題に当たっては、一般の入学志願者の試験問題を基本とする。

②　点字による出題を希望する者の試験場は、その者が希望する都道府県内に国立大学が１か所設定する。

点字による出題を希望する者以外の身体に障害のある者については、必要に応じ、一般試験場において適宜措置をする。

2　身体障害者受験措置の申請

試験実施上の特別の措置を希望する入学志願者は、所定の出願書類のほか、身体障害者受験措置申請書（折り込みの用紙を切りはなして使用すること。)を提出すること。

① 高等学校を昭和56年３月卒業見込みの者については、在学する高等学校長が入学志願者からの申し出によって作成したもの

② 高等学校を卒業見込みの者以外の者（高等学校を卒業した者、大学入学資格検定合格者等）については、父母等（成年に達しているときは入学志願者）が作成したもの

3 身体障害者受験措置の決定通知

「身体障害者受験措置申請書」を提出した入学志願者については、大学入試センターが審査のうえ、受験上の措置を決定し通知する。

4 志望大学との協議及び協議書の提出

(1) 身体に障害のある入学志願者で、下表に該当する者は、大学・学部等において修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得るので、あらかじめ志望する大学と協議（協議中を含む。）のうえ出願すること。

(2) 出願に当たっては、所定の出願書類のほか、協議した大学から交付される協議書(協議の結果の文書又は協議中である旨の文書。様式を問わない。）を提出すること。

(3) 出願に当たって、高等学校を卒業した者は、出身学校長と相談することが望ましい。

区分	身体の故障の程度
盲者（強度の弱視者を含む）	1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾者（強度の難聴者を含む）	1 両耳の聴力損失が90デシベル以上のもの 2 両耳の聴力損失が90デシベル未満50デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前３号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないもののうち、６月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者（身体虚弱者を含む）	1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が６月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が６月以上の生活規制を必要とする程度のもの

（学校教育法施行令第22条の２の規定に準拠した。）

XIII 追 試 験

1 追試験の実施

(1) 追試験は、疾病・負傷及び交通機関の事故その他のやむを得ない事由により、全教科又は１日分の教科の試験を受験できない入学志願者を対象として行う。

(2) 追試験は、昭和56年１月17日(土)、18日(日)の２日間において行う。

(3) 追試験の試験時間、試験教科・科目等は本試験に準ずる。

(4) 追試験の試験場は、全国を数地区に分け、地区ごとに１か所設定する。
なお、詳細は「受験者心得」に明示する。

(5) 追試験の受験申請は、受験票に記載された「試験実施大学」において受け付ける。当該大学は、その申請に基づき、審査のうえこれを許可する。

2 追試験の受験を申請できる者

追試験の受験を申請できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

(1) 入学志願者の疾病・負傷等により本試験の全教科をすべて受験できない者

(2) 次の事由により、全教科又は１日分の教科の試験を受験できない者

① 定期運行している交通機関の事故

② 一部の地域における災害の発生等

3 追試験の受験申請手続

追試験の受験申請手続は次のとおりとする。

(1) ２の(1)に該当する者は、本人又は代理人が受験票、医師の診断書又は事故証明書を持参のうえ、昭和56年１月９日(金)午前９時から午後５時までに、受験票に記載された「試験実施大学」(各試験実施大学には「共通第１次学力試験実施委員会」が設置してある。）に出頭して申請すること。

(2) ２の(2)に該当する者は、本人又は代理人が事故の態様等を、事故のあった当日の試験終了時（午後４時30分）までに、受験票に記載された「試験当日の電話」により試験場に連絡すること。試験場の係員の指示により「試験実施大学」に申請すること。この場合、可能な限り受験票を持参のうえ出頭して申請すること。

4　追試験の受験許可等

試験実施大学は追試験の受験申請者に対し、速やかに可否を決定し、その際、追試験の受験に必要な事項を通知する。

XIV　再　試　験

天災、その他の事情により所定の期日に共通第１次学力試験を実施できなかった場合には、再試験を実施する。

また、降雪によって、所定の期日に本試験を実施できなかった場合には、昭和56年１月17日(土)、18日(日)の２日間において、本試験に準じて実施することがある。

（以下省略）

(3)　昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験

志　願　票

昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験

志願票〔提出用〕

①高等学校等コード（「高等学校等コード表」により記入）	高等学校記入欄 ㉓整理番号（高等学校単位に一連番号を記入）	㉔身体障害者受験措置
2		1 希望

氏名	②漢字等記入	④性別	⑤国籍	⑥生年月日（昭和S、大正T、明治M）
③カタカナ記入（姓と名の間は、１コマをあけ、濁点及び半濁点は１コマとして使用する。）		1 男 2 女	1 外	年号 年 月 日

現住所		
⑦郵便番号		
⑧漢字等記入	都道府県	
⑨カタカナ・数字等記入	都道府県名	（１コマに１字ずつ記入し、濁点及び半濁点は１コマとして使用する。）
	都・市・区・町村	
	町・丁目・番地	
	団地・棟・号等	
⑩連絡先（電話）		

出願資格

高等学校卒業者（卒業見込み者を含む）													高等学校卒業者以外				
⑪課程			⑫学科							⑬卒業見込・卒業の別		⑭卒業年	⑮				
1 全日制	2 定時制	3 通信制	1 普通科	2 農業科	3 工業科	4 商業科	その他 5 理数科	その他 6 1～5以外の学科		1 卒業見込	2 卒業		1 外国の学校等	2 在外教育施設	3 文部大臣の指定する者	4 大学入学資格検定	5 その他
150			151							152	153	154	155				

選択届出科目			⑲受験希望県（「受験希望県コード表」により記入）	志望大学・学部等	
⑯ 1 数学一般	⑰ 1 基礎理科	⑱ 1 英語A		⑳第１志望 大学・学部コード	㉑第２志望 大学・学部コード
156	157	158	159 160 161	162 163 164 165 166	167 168 169 170 171

㉒（フリガナ）出身学校名	国公立私	都道府県	高等学校 学校

（キリトリ線）

折らずに封筒に入れること。

〔注〕記入に当たっては「志願票作成上の注意」（受験案内23～29ページ）を参照のこと。

(4) 昭和56年度共通第1次学力試験

受　験　票

(表)

昭和56年度　**共通第1次学力試験受験票**

受験番号	試験場コード
1001A	19901B

試験場		
	試験場名	XXXXﾀﾞｲｶﾞｸ ﾀﾞｲ1 ｼｹﾝｼﾞﾖｳ
	所在地	ﾄｳｷﾖｳﾄ ﾒｸﾞﾛｸ ｺﾏﾊﾞ 2 - 19 - 1 試験当日の電話 03-465-8600
	道順	ｹｲｵｳﾃｲﾄ ﾃﾞﾝﾃﾂ ｲﾉｶｼﾗｾﾝ ｺﾏﾊﾞﾄｳﾀﾞｲﾏｴ ｹﾞｼﾔﾄﾎ 3ﾌﾟﾝ

上履き持参	
持参	不要
*	

発行回数	1
要措置	

100　ﾄｳｷﾖｳﾄ

****
*　　*
* ミ ホ ン *
*　　*
****

ﾁﾖﾀﾞｸ
ｶｽﾐｶﾞｾｷ 3 - 2 - 2

ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ　殿

12345A — 010001

写真
(4cm×3cm)
(あらかじめはっておくこと)

選択承認科目		
数学一般	基礎理科	英語A

S36年 10月 02日生

男	*	女	

(本人が自筆で氏名を記入すること)

試験実施大学	XXXXXXXﾀﾞｲｶﾞｸ	試験当日以外の電話	03-465-8600

大学入試センター　〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号　電話 03(465)8600

56.共通第1次成績請求票
(国公立大学提出用)

1001A — 19901B — 1
ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ

56.共通第1次成績請求票
(第2次募集用)

1001A — 19901B — 1
ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ

56.共通第1次成績請求票
(公立大学提出用)

1001A — 19901B — 1
ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ

56.共通第1次成績請求票
(公立大学提出用)

1001A — 19901B — 1
ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ

裏面を参照すること

大学入試センター
〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号
電話 03(465)8600

56.共通第1次学力試験写真票

1001A — 19901B — 1
ｺﾏﾊﾞ ﾀﾛｳ

要措置	

写真
(4cm×3cm)
(あらかじめはっておくこと)

選択承認科目		
数学一般	基礎理科	英語A

(本人が自筆で氏名を記入すること)

男	*	女	

S36年 10月 02日生

高等学校等コード	12345A	整理番号	010001

(裏)

受験上の注意

1. **この受験票及び写真票は、試験当日必ず携帯すること。**
2. この受験票の**写真欄**に、写真票の写真と同一の写真をはり、その下の欄に、あらかじめ受験者本人が氏名を黒又は青のボールペンで自筆で記入しておくこと。この氏名記入は、解答用紙の氏名記入と照合することがある。
3. 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従うこと。自己の責となる事由により30分以上遅刻したときは、受験を認めない。
4. 試験室では、机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認のうえ着席すること。受験票は常に机の上に置くこと。
5. 机の上には、**Hの黒鉛筆、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）**以外のものを置いてはいけない。
6. **写真用シール**は、第1日目に配付する。受験票の**写真欄**に右下の図のように丁寧にはること。
7. 解答用紙の所定欄に、受験番号・選択科目・氏名・試験場コードを監督者の指示に従い、必ず記入及びマークすること。
   受験番号及び選択科目を正しくマークしていないものは採点せず、その科目の得点は0点とする。
8. 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めない。各教科の試験終了後に退室する際には、受験票を携帯すること。
9. 「数学一般」、「基礎理科」、「英語A」を解答できる者は、受験票で選択を承認された者に限る。他の科目に変更することはできない。
10. その他については、監督者の指示に従うこと。
11. この受験票は、各大学の第2次試験を受験する際にも携帯する必要があるので、大切に保管すること。

試験日程

区分	1月10日(土)		1月11日(日)		
	国語	理科	社会	数学	外国語
受験者入室	11：30まで	14：15まで	8：45まで	12：05まで	14：35まで
試験開始	12：00	14：30	9：00	12：20	14：50
試験終了	13：40	16：30	11：00	14：00	16：30

〔写真用シールのはり方〕

写真用シール→
(試験室で配付)

「写真」
氏名

写真票

1. **この写真票は、受験票とともに、試験第1日目に必ず持参すること。**
2. この写真票の**写真欄**に、あらかじめ受験票の写真と同一の写真（試験日前3か月以内に撮影した無帽上半身タテ4cm・ヨコ3cm）を、全面にのり付けをして、丁寧にはり付けておくこと。
3. **写真欄**の右の欄に、あらかじめ受験者本人が氏名を黒又は青のボールペンで自筆で記入しておくこと。この氏名記入は、解答用紙の氏名記入と照合することがある。
4. この写真票は、試験第1日目の国語の試験時間内に回収するので、受験票と切り離して、机の上の受験番号票の上に置くこと。

〈注意〉

1. 共通第1次成績請求票の記載事項は、受験番号－試験場コード－発行回数及び氏名である。
2. この成績請求票は、各国公立大学の第2次試験（共通第1次学力試験を課さない推薦入学を除く）及び第2次募集に出願する際に、志願大学の指示に従い出願書類の所定欄にはって提出すること。
3. 国立大学への出願には、**国公立大学提出用**を提出すること。
4. 公立大学への出願には、各公立大学の募集要項の指示に従い提出すること。
5. 第2次募集実施大学に出願する際には、**第2次募集用**を提出すること。
6. この成績請求票は、国公立大学の第2次試験等に出願する際に提出しなければならないので、大切に保管しておくこと。

(全面にのり付けをして、出願書類の所定欄に、丁寧にはること。)

(全面にのり付けをして、出願書類の所定欄に、丁寧にはること。)

(全面にのり付けをして、出願書類の所定欄に、丁寧にはること。)

(5) 昭和56年度大学入学者選抜共通第１次学力試験

受 験 者 心 得

1. 試験日程……昭和56年１月10日（土曜日）、１月11日（日曜日）

事　　項	１月10日(土)		１月11日(日)		
	国　語	理　科	社　会	数　学	外国語
受験者入室	11:30まで	14:15まで	8:45 まで	12:05まで	14:35まで
試験開始	12:00	14:30	9:00	12:20	14:50
試験終了	13:40	16:30	11:00	14:00	16:30

（受験者入室後、試験開始までの間に受験上の説明、問題冊子・解答用紙の配付が行われる。）

2. 試験教科・科目等

(1) 次の全教科をすべて受験すること。

国　　語……「現代国語」と「古典Ⅰ甲」をあわせて１科目として解答。

社　　会……２科目を選択解答。ただし、「地理Ａ」及び「地理Ｂ」を２科目として選択することはできない。

数　　学……１科目を解答。ただし、「数学一般」を解答できる者は、受験票で選択を認められた者に限る。

理　　科……「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」の４科目から２科目を選択解答。又は「基礎理科」１科目を解答。ただし、「基礎理科」を解答できる者は、受験票で選択を認められた者に限る。

外 国 語……１科目を解答。ただし、「英語Ａ」を解答できる者は、受験票で選択を認められた者に限る。

(2) **「数学一般」「基礎理科」「英語Ａ」**の選択をあらかじめ志願票で届け出て、受験票で選択を認められた者は、試験室で他の科目に変更して解答することはできない。

(3) １教科でも受験しなかった場合には、共通第１次学力試験を受験したことにはならない。したがって、各国公立大学の第２次試験（共通第１次学力試験を課さない推薦入学を除く。）に出願することができない。

3. 受験番号のマーク等

(1) 解答用紙の所定欄に受験番号、選択科目、氏名、試験場コードを監督者の指示に従い、必ず記入及びマークすること。

(2) **受験番号及び選択科目**を正しくマークしていないものは、採点せず、その科目の得点は０点とする。

4. 試 験 場

(1) **受験票で指定した試験場で受験すること。**
指定した試験場以外での受験はできない。

(2) 試験場名、試験場の所在地、道順については、**受験票の試験場欄**に記載してあるので、試験前日までに試験場を確認しておくこと。
試験室の下見は原則として許さない。

(3) 各自が受験すべき試験室の位置、受験上の注意等については、掲示又は印刷物により指示するので、**早めに試験場に到着し**、確認すること。
① 試験場が大学内にある場合は、大学の入口で掲示又は印刷物により指示する。
② 試験場が高等学校等である場合は、高等学校等の入口で掲示又は印刷物により指示する。

(4) 試験開始時刻に遅刻した場合には、係員の指示に従うこと。自己の責となる事由により試験開始時刻に30分以上遅刻したときは、受験を認めない。

(5) 試験場の入口で**受験票**の提示を求めることがある。なお、受験者の付添者は、試験場構内に入構できないことがある。

(6) 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めない。試験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従うこと。

5. 受験票及び写真票

(1) **受験票及び写真票は、試験当日必ず携帯すること。**

(2) 試験当日、**受験票・写真票**を紛失し、又は忘れた場合には、試験場本部に出頭して、係員の指示をうけること。
試験場本部の場所は試験場の入口に掲示してある。

(3) **受験票及び写真票の写真欄**には、同一の写真（試験日前３か月以内に撮影した無帽上半身タテ４cm、ヨコ３cm）を全面にのり付けをして、丁寧にはり付けておくこと。

(4) **受験票の写真欄の下の欄及び写真票の写真欄の右の欄**に、あらかじめ受験者本人が氏名を黒又は青のボールペンで自筆で記入しておくこと。この氏名記入は解答用紙の氏名記入と照合することがある。

(5) 試験室においては、**机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であること**を確認のうえ着席すること。
試験中は、受験票を常に机の上に置くこと。写真票は第１日目の国語の試験時間内に回収する。

(6) **受験票は、各大学の第2次試験を受験する際にも携帯する必要があるので、大切に保管すること。**

6. 携 行 品

(1) 解答には、**「Ｈの黒鉛筆」「プラスチック製の消しゴム」**を使用することになっているので、あらかじめ用意しておくこと。

H以外の黒鉛筆、色鉛筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用した場合には、解答が読みとられないおそれがあるので、使用してはいけない。

(2) 机の上には、「**Hの黒鉛筆**」「**プラスチック製の消しゴム**」「**鉛筆削り**」「**時計**（計時機能だけのもの）」以外のものを置いてはいけない。

その他の携行品の措置は監督者の指示に従うこと。

(3) 試験室内で、コート類を着用しても差しつかえない。

7. そ の 他

(1) 自動車、バイク等で試験場構内への乗り入れを禁止する。

(2) 昼食は各自用意すること。

(3) 受験票の試験場欄で「上履き持参」と表示してある試験場については、上履きを持参すること。下履きはビニール袋等（各自が持参）に入れ携行すること。

備 考

〔1〕受験票、写真票、成績請求票の再発行

1 受験票等の再発行は原則として行わない。ただし、次の事由のあるときは受験票等の再発行を行う。

(1) 氏名に変更があったとき。

(2) 氏名、性別、生年月日に誤記があったとき。

(3) 受験票、写真票、成績請求票を紛失したり、汚損したりしたとき。

〔注〕 現住所の変更の場合は、大学入試センターの諸帳簿の住所表示は変更するが、受験票の住所表示の変更は行わず、旧住所表示のままで有効とするので受験票の再発行は行わない。

2 再発行申請の方法

(1) 再発行を申請する場合は、次の事項を記入した**速達郵便**（封筒の表に「受験票等再発行」と朱書すること。）により、**大学入試センター事業部**（〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号）へ速やかに申請すること。

㋐ 必要とする受験票、写真票、成績請求票の種別

㋑ 再発行事由（氏名変更、紛失、汚損等）

㋒ 氏名（フリガナ）、現住所（フリガナ）、連絡先（電話）

㋓ 高等学校等コード、出身高等学校名（高等学校出身者以外の者は出願資格）、その他参考となる事項

200円切手をはった返信用封筒（長形3号：タテ23cm・ヨコ11.5cm、現住所・氏名を表書きしたもの）を同封すること。

3 大学入試センターは申請事項を審査のうえ、受験票、写真票、成績請求票を再発行し、本人に送付する。共通第1次学力試験の期日が切迫している場合は、「受験者心得」5.(2)の措置を試験場でとるよう指示することがある。

4 受験票及び成績請求票の再発行を受けた場合には、**“再発行された受験票及び成績請求票”のみが有効である。**

“再発行された成績請求票”以外の成績請求票で各大学に出願した場合は、大学入試センターから、各大学に共通第1次学力試験の成績が送付されないので、失格となる。

〔2〕身体障害者受験措置

受験に際して**特別の措置を希望する旨の申請をした受験者**については、「**身体障害者受験措置決定通知書**」及び「**身体障害受験者心得**」を別途送付する。

〔3〕追試験の実施

追試験については、「昭和56年度大学入学者選抜共通第1次学力試験受験案内」21ページ「XIII 追試験」を参照すること。

追 試 験 場

地 区	追試験場名	所 在 地	道 順
北海道	北海道大学	北海道札幌市北区北8条西5丁目 電話 011—711—2111	国鉄「札幌駅」北口下車、北へ徒歩5分
東北 関東 甲信越	東京農工大学 農学部	東京都府中市幸町3丁目5－8 電話 0423—64—3311	国電中央線国分寺駅南口から京王バス府中駅行「晴見町」下車、又は京王線府中駅から京王バス国分寺駅南口行「晴見町」下車
東海 北陸 近畿	京都大学 本部構内	京都府京都市左京区吉田本町 電話 075—761—6694	市バス「東一条」下車、東へ徒歩3分 本部構内
中国 四国 九州 沖縄	九州大学 文科系学部	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19—1 電話 092—641—1101	国鉄博多駅前又は天神から西鉄バス貝塚行「九大北門」下車

連 絡 先 大学入試センター事業部事業課
〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番1号
電話 03—465—8600

⑹　昭和56年度共通第１次学力試験の試験場設定について

入試セ事第71号
昭和55年７月３日

各国立大学長　　殿

大学入試センター所長
加　藤　陸奥雄

昭和56年度共通第１次学力試験の試験場設定について（依頼）

昭和56年度共通第１次学力試験の実施については、昭和55年６月13日付け入試セ事第65号により、ご通知したところですが、昭和56年度の国公立大学入学志願者数は、昭和55年度の実績及び昭和56年度国公立大学進学希望者数調査の結果を勘案しますと、34万乃至38万人程度と推計されます。

ついては、入学志願者数の総数を38万人規模として試験場の設定を準備する必要があると考えますが、この場合、貴学の所在する都道府県（北海道及び沖縄県にあっては別に定める地区、以下同じ。）内の入学志願者推計数は別添「昭和56年度共通第１次学力試験志願者推計数」のとおりとなりますので、これに必要な試験場の設定を準備されるようよろしくお願いいたします。

また、貴学が設定準備された試験場について、当センターとして試験場指定等の作業を取り進めたいと存じますので、別紙「試験場設定準備に当たっての留意事項及び設定（準備）票の記入要領」を参照されお取りまとめのうえ、７月31日（木）までにご回答くださるようお願いします。

なお、入学志願者数が確定する昭和55年11月上旬には、その数により貴学と調整協議のうえ貴学分（公立大学分を含む。）の入学志願者数を確定することとしておりますので申し添えます。

別紙（省略）

入試セ事第71号
昭和55年７月３日

各公立大学長　　殿

大学入試センター所長
加　藤　陸奥雄

昭和56年度共通第１次学力試験の試験場設定について（依頼）

このことについて、別添「写」のとおり各国立大学長あて依頼したのでお知らせします。

つきましては、貴学における共通第１次学力試験の試験場設定について、関係国立大学とご協議されるようよろしくお願いします。

別添「写」省略

(7) 昭和56年度共通第１次学力試験における各地区の追試験実施大学の指定について

入試セ事第81号
昭和55年８月５日

各国立大学長　殿

大学入試センター所長
加藤陸奥雄

昭和56年度共通第１次学力試験における各地区の追試験実施大学の指定について（通知）

昭和56年度共通第１次学力試験における各地区の追試験実施大学については、別紙のとおり指定しましたのでお知らせします。

昭和56年度共通第１次学力試験追試験実施大学一覧

地区	追試験実施大学	グループ大学	地区	追試験実施大学	グループ大学
北海道地区	北海道大学	北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 小樽商科大学 帯広畜産大学 旭川医科大学 北見工業大学	東海・北陸・近畿地区	京都大学	静岡大学 浜松医科大学 名古屋大学 愛知教育大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学 滋賀大学 滋賀医科大学 京都大学 京都教育大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 大阪外国語大学 大阪教育大学 神戸大学 神戸商船大学 奈良教育大学 奈良女子大学 和歌山大学
東北・関東・甲信越地区	東京農工大学	弘前大学 岩手大学 東北大学 宮城教育大学 秋田大学 山形大学 福島大学 茨城大学 筑波大学 図書館情報大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京大学 東京医科歯科大学 東京外国語大学 東京学芸大学 東京農工大学 東京芸術大学 東京工業大学 東京商船大学 東京水産大学 お茶の水女子大学 電気通信大学 一橋大学 横浜国立大学 新潟大学 長岡技術科学大学 上越教育大学 山梨大学 山梨医科大学 信州大学	中国・四国・九州・沖縄地区	九州大学	鳥取大学 島根大学 島根医科大学 岡山大学 広島大学 山口大学 徳島大学 香川大学 香川医科大学 愛媛大学 高知大学 高知医科大学 福岡教育大学 九州大学 九州芸術工科大学 九州工業大学 佐賀大学 佐賀医科大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 大分医科大学 宮崎大学 宮崎医科大学 鹿児島大学 琉球大学
東海・北陸・近畿地区	京都大学	富山大学 富山医科薬科大学 金沢大学 福井大学 福井医科大学 岐阜大学			

⑻　昭和56年度共通第１次学力試験志願者の試験場別割当てについて

入試セ事第98号
昭和55年11月13日

国　立　大　学　長　　殿

大学入試センター所長
加　藤　陸奥雄

昭和56年度共通第１次学力試験志願者の試験場別割当て
について（通知）

このことについて、設定準備試験場の使用順位に基づき、出身高等学校の所在地等を勘案し、下記のとおり試験場別に志願者数を割当てましたのでお知らせします。

この割当てにつき、ご承諾の有無を11月14日（金）17時までに電話ファクスでご回答くださるようお願いします。

なお、関係公立大学に対しては、貴学からこのことをお知らせ願います。

おって、身体に障害のある志願者で試験実施上の特別の措置を要する者（点字問題受験者を除く）の措置内容等の詳細については、別途お知らせします。

（下記以下省略）

⑼　昭和56年度　共通第１次学力試験場一覧

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
北海道	北海道大学	北海道大学 農学部	10101A	940	札幌市北区北９条西９丁目 地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩12分
		北海道大学 文・法学部	10102Y	1,100	札幌市北区北10条西７丁目 地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分
		北海道大学 理学部	10103U	650	札幌市北区北10条西８丁目 地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分
		北海道大学 工学部	10104K	805	札幌市北区北13条西８丁目 地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩８分
		北海道大学 教養部A	10105C	709	札幌市北区北17条西８丁目 地下鉄南北線「北18条駅」下車、徒歩10分
		北海道大学 教養部B	10106A	2,354	札幌市北区北17条西８丁目 地下鉄南北線「北18条駅」下車、徒歩10分
		札幌予備学院 １号館	10201U	1,050	札幌市中央区北８条西12丁目 「札幌駅」南口から西へ徒歩15分
		札幌予備学院 ２号館	10202K	650	札幌市中央区北６条西13丁目 「札幌駅」南口から西へ徒歩15分
	北海道教育大学	北海道教育大学 函館分校	10204A	1,203	函館市八幡町１－２ 市電「宮前町」下車、北へ徒歩５分
		北海道教育大学 旭川分校	10205Z	800	旭川市北門町９丁目２－４－５ 旭川駅前から旭川電気軌道バス（５番）「旭町２条10丁目」下車、徒歩５分
		北海道教育大学 釧路分校	10206X	567	釧路市城山１丁目15－55 釧路駅前から東邦交通バス武佐線、貝塚線、自衛隊線「城山十字路」下車、徒歩２分
		北海道教育大学 岩見沢分校	10207M	450	岩見沢市緑が丘２丁目34－１ 岩見沢駅前から中央バスＡコース「教育大学前」下車
		岩見沢東高等学校	10208H	640	岩見沢市東山町112 岩見沢駅前から中央バスＡコース「競技場前」下車、徒歩10分
	室蘭工業大学	室蘭工業大学	10701Y	979	室蘭市水元町27－１ 東室蘭駅東口下車、バスターミナルからバス新日鉄前（工大経由）行「工大前」下車
	小樽商科大学	小樽商科大学	10801K	964	小樽市緑３丁目５－21 小樽駅前から中央バス最上線「朝日通」下車、北西へ徒歩10分
	帯広畜産大学	帯広畜産大学	10901A	626	帯広市稲田町 帯広駅前から国鉄バス、又は十勝バス畜大農場行「畜大正門前」下車
	旭川医科大学	旭川医科大学	11001Z	773	旭川市西神楽４線５号３－11 旭川駅前から旭川電気軌道バス緑が丘線「医大前（終点）」下車、徒歩10分
	北見工業大学	北見工業大学	11101M	643	北見市公園町165 北見駅前から市内バス柏陽高校行「工大前」下車、徒歩５分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
青森	弘前大学	弘前大学	11201B	人 2,116	弘前市文京町1 国鉄弘前駅前からバス松原線「弘前大学前」下車
		県立 八戸西高校学校	11202A	936	八戸市尻内町字中根市14 「八戸駅」西口下車、北へ徒歩15分
岩手	岩手大学	岩手大学 第1(農・工学部)	11301Y	1,500	盛岡市上田3丁目18－8 盛岡駅前から岩手県交通バス、黒石野行「岩手大学前」下車
		岩手大学 第2(教育・人文社会科学部)	11303K	1,577	盛岡市上田3丁目18－8 盛岡駅前から岩手県交通バス、黒石野行「岩手大学前」下車
宮城	東北大学	東北大学 教養部	11401K	3,458	仙台市川内 仙台駅前から市営バス宮教大行「扇坂」下車、又は交通公園行「川内郵便局前」下車
		東北大学 農学部	11402C	680	仙台市堤通雨宮町1－1 仙台駅前から市営バス鶴ケ谷4丁目行、鶴ケ谷7丁目(県丁・市役所経由)行「農学部前」下車
		県立 仙台南高等学校	11403A	765	仙台市根岸15－1 仙台駅前から市営バス西の平(門前経由)行、又は羽黒台行「仙台南高校前」下車
		県立 仙台向山高等学校	11404Z	765	仙台市八木山緑町1－1 仙台駅前から市営バス緑ケ丘3丁目行、又は西の平循環(霊屋経由)「向山高校前」下車
	宮城教育大学	宮城教育大学	11501A	1,100	仙台市荒巻字青葉 仙台駅前から市営バス宮教大行「宮教大(終点)」下車
秋田	秋田大学	秋田大学	11601X	2,784	秋田市手形学園町1－1 秋田駅前から市営バス大回り線(手形回り)「秋田大学前」下車
山形	山形大学	山形大学 小白川地区	11701H	1,953	山形市小白川町1丁目4－12 山形駅前からバス千歳公園(東原経由)行、又は1コース市内循環「山大前」下車
		山形大学 工学部	11702B	448	米沢市城南4丁目3－16 米沢駅前からバス白布高湯行「山大前」下車、徒歩5分
		県立 鶴岡南高等学校	11703A	642	鶴岡市若葉町26－31 「鶴岡駅」下車、南西へ徒歩25分、鶴岡公園北側
福島	福島大学	福島大学 教育学部	11801A	1,050	福島市松川町浅川字直道2 「金谷川駅」下車、東へ徒歩10分
		福島大学 経済学部	11802Y	829	福島市森合字西養山10－7 福島交通線「森合駅」下車、徒歩2分
		県立 福島高等学校	11803U	987	福島市森合町5－72 福島駅前からバス市内循環線「福高前」下車
		県立 福島北高等学校	11804K	810	福島市飯坂町字後畑1 福島交通線「医王寺駅」下車、北東へ徒歩10分
		福島県立医科大学	30201M	246	福島市杉妻町5－75 「福島駅」下車、平和通り東へ徒歩15分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
福島	福島大学	県立 福島女子高等学校	30202H	人 641	福島市宮下町7－41 福島駅前からバス市内循環線「福島体育館前」下車、徒歩2分
茨城	茨城	茨城大学 本部	11901U	2,423	水戸市文京2丁目1－1 水戸駅前、又は赤塚駅前から茨城交通バス茨大行「茨大前(終点)」下車
		茨城大学 工学部	11902K	654	日立市中成沢町4丁目12－1 日立駅前、又は常陸多賀駅前から日立電鉄バス中央線「茨大前」下車
	筑波大学	筑波大学 第2学群	12101A	1,200	新治郡桜村天王台1丁目1－1 土浦駅前からバス筑波大学中央行、又は高エネルギー行「筑波大学中央」下車、徒歩5分
		筑波大学 第3学群	12102Z	942	新治郡桜村天王台1丁目1－1 土浦駅前からバス筑波大学中央行、又は高エネルギー行「筑波大学中央」下車、徒歩5分
栃木	宇都宮大学	宇都宮大学 峰地区	12201X	2,952	宇都宮市峰町350 国鉄宇都宮駅前から国鉄バス・東野バス・東武バス「宇大前」下車
		宇都宮大学 石井地区	12202M	753	宇都宮市石井町2753 国鉄宇都宮前から国鉄バス「工学部前」、又は東野バス・東武バス「シンガー日鋼入口」下車
群馬	群馬大学	群馬大学 教養部	12301H	600	前橋市荒牧町1375 前橋駅前から東武バス渋川行、沼田行、溝呂木行「自動車教習所」下車、西へ徒歩10分
		群馬大学 教育学部	12302B	972	前橋市荒牧町1375 前橋駅前から東武バス渋川行、沼田行、溝呂木行「自動車教習所」下車、西へ徒歩10分
		群馬大学 工学部	12303A	985	桐生市天神町1丁目5－1 桐生駅前から東武バス天神町行、又は梅田行「群大前」下車
		県立 前橋女子高等学校	12304Y	655	前橋市紅雲町2丁目19－1 前橋駅前から西へ徒歩10分
		群馬県立女子大学	30301B	600	前橋市文京町2丁目19－16 前橋駅前から東武バス広瀬団地(南町経由)行「天川小学校入口」下車、徒歩5分
		高崎経済大学	30401Y	1,239	高崎市上並榎町1300 高崎駅前から群馬バス室田(本郷経由)行、又は箕郷(沖経由)行「経済大学前」下車
埼玉	埼玉大学	埼玉大学	12401A	2,095	浦和市下大久保255 国電北浦和駅西口からバス埼玉大学行「埼玉大学(終点)」下車
		県立 浦和高等学校	12402Y	1,350	浦和市領家5丁目3－3 国電「北浦和駅」東口下車、東へ徒歩10分
		県立 浦和西高等学校	12403U	1,305	浦和市下木崎161 国電「与野駅」東口下車、東へ徒歩20分
		浦和市立高等学校	12404K	1,215	浦和市元町1丁目28－17 国電「北浦和駅」東口下車、東へ徒歩15分
		県立 小松原高等学校	12405C	2,475	浦和市南浦和3丁目21 国電「南浦和駅」東口下車、東へ徒歩10分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
埼玉	埼玉大学	県立 小松原女子高等学校	12406A	人 1,125	浦和市東岸町10—36 国電「浦和駅」東口下車、東へ徒歩10分
千葉	千葉大学	千葉大学 第1（人文学部）	12501U	600	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩6分
		千葉大学 第2（薬学部）	12502K	500	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩6分
		千葉大学 第3（工学部）	12503C	1,500	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩5分
		千葉大学 第4（教養部）	12504A	2,315	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩7歩
		千葉大学 第5（理学部・教養部）	12505Z	1,035	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩7分
		千葉大学 第6（教育学部）	12506X	1,930	千葉市弥生町1—33 国電「西千葉駅」北口下車、徒歩8分
		千葉大学 園芸学部	12507M	805	松戸市松戸648 国電「松戸駅」東口下車、南へ徒歩15分
		県立 千葉高等学校	12508H	1,305	千葉市葛城1丁目5—2 国鉄「本千葉駅」下車、東へ徒歩10分
		県立 千葉東高等学校	12509B	1,257	千葉市轟町1丁目18—52 国電「西千葉駅」北口下車、東へ徒歩10分
東京	東京大学	東京大学 本郷	12601C	5,571	文京区本郷7丁目3—1 地下鉄丸ノ内線「本郷三丁目駅」下車、徒歩7分、又は国電お茶の水駅前からバス東大構内行
		東京大学 教養学部	12602A	5,178	目黒区駒場3丁目8—1 井の頭線「駒場東大前駅」東大口下車
		東京大学 農学部	12603Z	490	文京区弥生1丁目1—1 地下鉄千代田線「根津駅」下車、徒歩7分、又は地下鉄丸ノ内線「本郷三丁目駅」下車、徒歩10分
		東京大学 教育学部附属高等学校	12604X	480	中野区南台1丁目15—1 新宿駅西口から京王帝都バス永福町行、又は中野車庫行「東大附属前」下車
		都立 墨田川高等学校	12605M	1,080	墨田区東向島3丁目34—14 東武線「曳舟駅」・「玉ノ井駅」、又は京成線「京成曳舟駅」下車、徒歩10分
		都立 小松川高等学校	12606H	1,215	江戸川区平井1丁目27—10 国電総武線「平井駅」下車、徒歩12分
		都立 文京高等学校	12607B	1,210	豊島区西巣鴨1丁目1—5 国電山手線「大塚駅」北口下車、徒歩7分
		都立 高島高等学校	12608A	1,170	板橋区高島平3丁目7—1 地下鉄都営6号線「新高島平駅」下車、徒歩5分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
東京	東京医科歯科大学	代々木ゼミナール 代々木校舎	12701Z	人 911	渋谷区代々木1丁目27—16 国電山手線「代々木駅」下車、徒歩2分
	東京外国語大学	東京外国語大学	12801M	2,252	北区西ケ原4丁目51—21 国電山手線大塚駅前から都電三の輪橋方面行「西ケ原4丁目」下車、徒歩3分
	東京学芸大学	東京学芸大学	12901B	3,440	小金井市貫井北町4丁目1—1 国電中央線「武蔵小金井駅」北口下車、西へ徒歩20分
	東京農工大学	東京農工大学 農学部	13001A	1,790	府中市幸町3丁目5—8 国電中央線国分寺駅南口から京王バス府中駅行「晴見町」下車
		東京農工大学 工学部	13002Y	1,328	小金井市中町2丁目24—16 国電中央線「東小金井駅」下車、南西へ徒歩15分
	東京芸術大学	東京芸術大学	13101U	961	台東区上野公園12—8 国電「上野駅」下車、公園口から徒歩10分
	東京農工大学	東京工業大学	13201C	4,100	目黒区大岡山2丁目12—1 東急目蒲線、又は大井町線「大岡山駅」南口下車、徒歩1分
		東京工業大学 附属工業高等学校	13202A	550	港区芝浦3丁目3—6 国電「田町駅」芝浦口下車、徒歩2分
		東京都立大学 目黒校舎	30501K	1,849	目黒区八雲1丁目1—1 東急東横線「都立大学駅」下車、徒歩5分
		東京都立大学 附属高等学校	30502C	810	目黒区八雲1丁目1—2 東急東横線「都立大学駅」下車、徒歩7分
	東京商船大学	東京商船大学	13301Z	1,100	江東区越中島2丁目1—6 地下鉄東西線「門前仲町駅」下車、月島方面へ徒歩10分
	東京水産大学	東京水産大学	13401M	1,300	港区港南4丁目5—7 国電山手線・京浜東北線「品川駅」港南口下車、東へ徒歩6分
	お茶の水女子大学	お茶の水女子大学	13501B	2,800	文京区大塚2丁目1—1 地下鉄丸ノ内線「茗荷谷駅」、又は有楽町線「護国寺駅」下車、徒歩5分
	電気通信大学	電気通信大学	13601Y	3,126	調布市調布ケ丘1丁目5—1 京王線「調布駅」北口下車、徒歩7分
	一橋大学	一橋大学 国立本校	13701K	2,136	国立市中2丁目1 国電中央線「国立駅」南口下車、南へ徒歩10分
		一橋大学 小平分校	13702C	2,176	小平市学園西町1丁目29—1 西武多摩湖線「一橋学園駅」下車、西へ徒歩10分
神奈川	横浜国立大学	横浜国立大学 教育学部	13801A	2,318	横浜市保土ケ谷区常盤台156 相模鉄道「和田町駅」下車、北へ徒歩20分
		横浜国立大学 経済・経営学部	13802Z	1,608	横浜市保土ケ谷区常盤台156 相模鉄道「和田町駅」下車、北へ徒歩20分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
神奈川	横浜国立大学	横浜国立大学 工学部	13803X	1,929	横浜市保土ケ谷区常盤台156 相模鉄道「和田町駅」下車、北へ徒歩20分
		横浜市立 桜丘高等学校	13804M	1,350	横浜市保土ケ谷区桜ケ丘312 横須賀線保土ケ谷駅西口から市バス横浜駅西口行「桜丘高校前」下車
		県立 岡津高等学校	13805H	1,170	横浜市戸塚区岡津町2667 相模鉄道いずみ野線「緑園都市駅」下車、南へ徒歩13分
		県立 横浜翠嵐高等学校	13806B	1,350	横浜市神奈川区三沢南町1 横浜駅西口から市バス（34系統）「翠嵐高校前」下車
		県立 希望ケ丘高等学校	13807A	1,620	横浜市旭区南希望ケ丘79 相模鉄道「希望ケ丘駅」下車、徒歩5分
		横浜国立大学 教育学部附属横浜中学校	13808Y	987	横浜市中区立野64 根岸線「山手駅」下車、徒歩6分
		県立 横浜立野高等学校	13810A	1,035	横浜市中区間門2260 根岸線根岸駅前から市バス（58・99系統）「東福院前」下車、徒歩5分
		横浜市立大学	30601A	1,950	横浜市金沢区瀬戸22－2 京浜急行「金沢八景駅」下車、徒歩5分
		横浜市立 金沢高等学校	30602Z	1,215	横浜市金沢区瀬戸22－1 京浜急行「金沢八景駅」下車、徒歩5分
新潟	新潟大学	新潟大学 工学部	13901X	950	新潟市五十嵐2の町8050 新潟駅からバス新潟大学前行「新大西門」下車、徒歩5分
		新潟大学 教養部	13902M	2,423	新潟市五十嵐2の町8050 新潟駅前からバス新潟大学前行「新大西門」下車、徒歩5分
		新潟大学 教育学部長岡分校	13903H	200	長岡市学校町1丁目1－1 「長岡駅」下車、東へ徒歩20分
		新潟大学 教育学部高田分校	13904B	650	上越市西城町1丁目7－2 「高田駅」下車、東へ徒歩20分
	長岡技術科学大学	長岡技術科学大学	14001M	956	長岡市上富岡町字長峰1603－1 長岡駅前からバス（2番線）才津経由、親沢、塚山、来迎寺、小国行「富岡」下車、西へ徒歩15分
富山	富山大学	富山大学	14201Y	3,432	富山市五福3190 富山駅前からバス高岡行「大学前」下車、又は市内電車大学前行「大学前（終点）」下車
	富山医科薬科大学	県立 富山中部高等学校	14301K	900	富山市芝園町3丁目1－26 富山駅前から南西へ徒歩15分、又は市内電車富山大学前行「安野屋」下車、徒歩5分
石川	金沢大学	金沢大学 丸の内(城内)	14401A	2,685	金沢市丸の内1－1 金沢駅前から北鉄バス錦町行、湯涌温泉行「公園下」下車、徒歩5分
		金沢大学 工学部	14402Z	1,050	金沢市小立野2丁目40－20 金沢駅前から北鉄バス錦町行、湯涌温泉行「工学部前」下車

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
福井	福井大学	福井大学	14501X	2,368	福井市文京3丁目9－1 福井駅前から市内バス（8番）福井大学行、又は経田町行「福井大学前」下車
山梨	山梨大学	山梨大学	14701A	1,774	甲府市武田4丁目4－37 甲府駅北口から北へ徒歩20分、又はバス武田神社行、積翠寺行「大学前」下車
		都留文科大学	30801H	345	都留市田原3丁目8－1 富士急行線「谷村町駅」下車、南西へ徒歩20分
長野	信州大学	信州大学 人文学部	14901C	200	松本市旭3丁目1－1 松本駅前から松本電鉄バス浅間湯泉（信大病院経由）行「大学北門」下車
		信州大学 経済学部	14902A	200	松本市旭3丁目1－1 松本駅前から松本電鉄バス浅間湯泉（信大病院経由）行「大学北門」下車
		信州大学 理学部	14903Z	360	松本市旭3丁目1－1 松本駅前から松本電鉄バス浅間温泉（信大病院経由）行「大学前」下車
		信州大学 教養部	14904X	1,130	松本市旭3丁目1－1 松本駅前から松本電鉄バス浅間温泉（信大病院経由）行「大学北門」下車
		信州大学 教育学部	14906H	1,000	長野市西長野6ノ口 「長野駅」中央口下車、北へ徒歩20分
		信州大学 工学部	14907B	1,086	長野市若里500 「長野駅」東口下車、南へ徒歩15分
		信州大学 繊維学部	14908A	1,100	上田市常田3丁目15－1 「上田駅」下車、東へ徒歩15分
		信州大学 農学部	14909Y	719	上伊那郡南箕輪村8304 伊那市駅下車、伊那バス営業所から西箕輪線「大学前」下車
岐阜	岐阜大学	岐阜大学 教育学部・教養部	15001A	1,150	岐阜市長良城之内1466 岐阜駅前、又は新岐阜駅前から岐阜バス長良岐大行、又はおぶさ行「長良岐大前」下車
		岐阜大学 工学部・農学部	15002Z	1,087	各務原市那加門前町3－1 名鉄各務原線「岐阜大学前駅」下車、徒歩3分、又は国鉄高山線「那加駅」下車、東へ徒歩10分
		県立 長良高校学校	15003X	1,100	岐阜市長良西後町1716－1 岐阜駅前、又は新岐阜駅前から岐阜バス長良岐大行、又はおぶさ行「長良高校前」下車
		県立 加納高等学校	15004M	1,100	岐阜市加納南陽町3 岐阜駅前、又は新岐阜駅前から市営バス県庁行（2番）・茜部車庫行（6番）「加納高校前」下車
		県立 岐山高等学校	15005H	600	岐阜市長良小山田2587 岐阜駅前、又は新岐阜駅前から名鉄バス高富行「高見」下車、東へ徒歩8分
		岐阜薬科大学	30901A	600	岐阜市三田洞東5丁目6－1 岐阜駅前、又は新岐阜駅前から岐阜バス、又は市営バス三田洞団地行「薬大前」下車
静岡	静岡大学	静岡大学 教養部	15101X	2,221	静岡市大谷836 新静岡センターからバス小鹿大谷線静大前行「静大前（終点）」下車

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
静岡	静岡大学	静岡大学 教育学部	15102M	800	静岡市大谷836 新静岡センターからバス小鹿大谷線静大前行「静大前（終点）」下車
		県立 静岡高等学校	15103H	1,000	静岡市長谷町66 新静岡センターからバス麻機線麻機行「長谷通り」下車、徒歩3分
		静岡大学 工学部	15104B	500	浜松市城北3丁目5－1 浜松駅北口から遠鉄バス（8番ポール）気賀行、又は三ケ日行、いずれも「工学部前」下車
		県立 浜松北高等学校	15105A	692	浜松市広沢1丁目30－1 浜松駅北口から遠鉄バス（8番ポール）気賀行、又は三ケ日行、いずれも「浜松北高前」下車
		静岡女子大学	31001Y	750	静岡市谷田409 新静岡センターから静鉄電車「草薙駅」下車、南へ徒歩15分
		静岡薬科大学	31101K	520	静岡市小鹿2丁目2－1 新静岡センターからバス小鹿線競輪場行「薬大前」下車
	浜松医科大学	浜松医科大学	15201H	500	浜松市半田町3600 浜松駅北口から遠鉄バス医大循環、又は市営バス山の手線、いずれも「医科大学」下車
		県立 浜松工業高等学校	15202B	516	浜松市初生町1150 浜松駅北口から遠鉄バス医大循環、又は市営バス山の手線、いずれも「浜工高前」下車
愛知	名古屋大学	名古屋大学 東山地区	15301A	7,545	名古屋市千種区不老町 地下鉄東山線本山駅から市バス八事方面行「名古屋大学前」下車
		名古屋市立 菊里高等学校	15303U	1,215	名古屋市千種区田代町瓶杁1－8 地下鉄東山線「星ケ丘駅」下車、南へ徒歩3分
		愛知県立芸術大学	31301X	335	愛知郡長久手町大字岩作字三ケ峯1－1 地下鉄東山線藤ケ丘駅から名鉄バス農業試験場行「県立芸大前」下車
		名古屋市立大学 山の畑地区	31401H	1,450	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 金山橋バスセンターから市バス市立大学病院方面行「滝子」下車、南へ徒歩5分
		名古屋市立大学 田辺通地区	31402B	560	名古屋市瑞穂区田辺通3－1 金山橋バスセンターから市バス山下通行「市大薬学部」下車
	愛知教育大学	愛知教育大学	15401U	3,329	刈谷市井ケ谷町広沢1 名鉄名古屋本線知立駅前から名鉄バス愛知教育大学前行「大学前」下車
	名古屋工業大学	名古屋工業大学 第1	15501C	3,200	名古屋市昭和区御器所町 国鉄・地下鉄とも「鶴舞駅」下車、東へ徒歩10分、又は市バス「病院正門前」下車、東へ徒歩3分
		名古屋工業大学 第2	15502A	700	名古屋市昭和区御器所町 国鉄・地下鉄とも「鶴舞駅」下車、東へ徒歩10分、又は市バス「病院正門前」下車、東へ徒歩3分
		愛知県立大学	31201A	1,400	名古屋市瑞穂区高田町3丁目28 市バス「滝子」からは南へ、「雁道」からは東へ、「博物館」からは西へ、「大喜」からは北へ、いずれも徒歩10分
	豊橋技術科学大学	豊橋技術科学大学	15601Z	1,000	豊橋市天伯町字雲雀ケ丘1－1 豊橋バスターミナル（豊橋駅から東へ徒歩5分）から豊鉄バス細谷線「技科大前」下車

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
愛知	豊橋技術科学大学	県立 時習館高等学校	15602X	849	豊橋市富本町 豊鉄渥美線「南栄駅」下車、北へ徒歩5分
三重	三重大学	三重大学	15701M	4,101	津市上浜町1515 近鉄「江戸橋駅」下車、北へ徒歩15分、又は津駅東口からバス（4番）「大学前」下車、徒歩5分
滋賀	滋賀大学	滋賀大学 経済学部	15801B	1,309	彦根市馬場1丁目1－1 彦根駅前から近江バス県立短大前行、又は長浜駅行「栄町」下車、徒歩5分
		滋賀大学 教育学部	15802A	940	大津市平津2丁目5－1 石山駅前から京阪バス大石行、又は外畑行「滋賀大学前」下車、徒歩5分
	滋賀医科大学	滋賀医科大学	15901Y	552	大津市瀬田月輪町 瀬田駅前からバス滋賀医大行「滋賀医大西門」下車
京都	京都大学	京都大学 第1（北部構内）	16001U	1,150	京都市左京区北白川追分町 市バス「百万遍」下車、東へ徒歩5分、又は「農学部前」下車、西へ徒歩2分、北部構内
		京都大学 第2（医学部構内・薬学部構内）	16002K	600	京都市左京区吉田近衛町 市バス「近衛通」下車、西へ徒歩5分、医学部構内・薬学部構内
		京都大学 第3（本部構内・教養部構内）	16003C	4,962	京都市左京区吉田本町 市バス「東一条」下車、東へ徒歩3分、本部構内・教養部構内
		京都府立医科大学	31701C	250	京都市上京区河原町通り広小路上ル梶井町465 市バス「府立医大・病院前」下車、南へ徒歩3分
	京都教育大学	京都教育大学	16101C	1,200	京都市伏見区深草藤森町1 京阪電鉄「墨染駅」又は「藤森駅」下車、東へ徒歩10分
		京都府立大学	31601U	620	京都市左京区下鴨半木町1 市バス「府立大学前」下車、北へ徒歩8分、又は京都バス「北園町」下車
	京都工芸繊維大学	京都工芸繊維大学	16201Z	1,500	京都市左京区松ケ崎橋上町 京都駅前から市バス14号系統「工芸繊維大学前」下車
		京都市立芸術大学	31501A	350	京都市西京区大枝沓掛町13－6 京都交通バス祇園から園部行(急行)、又は京都駅から亀岡行（普通）「芸大前」下車
大阪	大阪大学	大阪大学 文科系（文・法・経済）学部	16301M	1,000	豊中市待兼山町1－1 阪急宝塚線「石橋駅」下車、東へ徒歩20分
		大阪大学 理学部	16302H	1,000	豊中市待兼山町1－1 阪急宝塚線「石橋駅」下車、東へ徒歩20分
		大阪大学 基礎工学部	16303B	1,000	豊中市待兼山町1－1 阪急宝塚線「石橋駅」下車、東へ徒歩20分
		大阪大学 教養部	16304A	1,646	豊中市待兼山町1－1 阪急宝塚線「石橋駅」下車、東へ徒歩20分
		大阪大学 人間科学部	16305Y	600	吹田市大字山田小川286-1 阪急千里線「北千里駅」下車、南東へ徒歩30分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
大阪	大阪大学	大阪大学 薬学部	16306U	人 400	吹田市大字山田上133－1 阪急千里線「北千里駅」下車、南東へ徒歩25分
		大阪大学 工学部	16307K	2,000	吹田市大字山田上 阪急千里線「北千里駅」下車、北東へ徒歩15分
		府立 刀根山高等学校	16308C	1,000	豊中市刀根山6丁目 阪急宝塚線「蛍池駅」下車、北東へ徒歩10分
		府立 東豊中高等学校	16309A	1,000	豊中市新千里南町1丁目5－1 北大阪急行線「千里中央駅」下車、南西へ徒歩15分
		大阪市立 扇町商業高等学校	16310K	1,000	大阪市北区松ケ枝町1－38 地下鉄谷町線「南森町駅」下車、東へ徒歩10分
		府立 東淀川高等学校	16311C	1,000	大阪市淀川区宮原4丁目4－5 国鉄・地下鉄とも「新大阪駅」下車、北へ徒歩5分
		府立 北千里高等学校	16312A	1,000	吹田市藤白台5丁目125 阪急千里線「北千里駅」下車、北西へ徒歩15分
		大阪市立大学 第1（本館）	31901M	1,120	大阪市住吉区杉本町459 国鉄阪和線「杉本町駅」下車、東へ徒歩3分
		大阪市立大学 第2（教養2号館）	31902H	1,000	大阪市住吉区杉本町459 国鉄阪和線「杉本町駅」下車、東へ徒歩4分
		大阪市立大学 第3（教養3号館）	31903B	1,225	大阪市住吉区杉本町459 国鉄阪和線「杉本町駅」下車、東へ徒歩4分
		大阪市立 生野工業高等学校	31904A	920	大阪市生野区生野東2丁目3－66 環状線「寺田町駅」下車、東へ徒歩10分
		府立 夕陽丘高等学校	31905Y	1,035	大阪市天王寺区小宮町59 環状線「桃谷駅」下車、西へ徒歩5分
		府立 阪南高等学校	31906U	1,300	大阪市住吉区庭井町 地下鉄御堂筋線「我孫子駅」下車、南東へ徒歩7分
	大阪外国語大学	大阪外国語大学	16401B	705	箕面市大字粟生間谷2734 北大阪急行線千里中央駅から阪急バス大阪外大前行「大阪外大前（終点）」下車
		府立 茨木西高等学校	16402A	1,395	茨木市紫明園10－68 国鉄「茨木駅」下車、西へ徒歩20分
		大阪府立大学	32001H	4,536	堺市百舌鳥梅町4丁目804 南海電鉄高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩10分
	大阪教育大学	大阪教育大学 天王寺分校	16501Y	1,300	大阪市天王寺区南河堀町43 環状線「寺田町駅」下車、西へ徒歩5分、又は「天王寺駅」下車、東へ徒歩10分
		大阪教育大学 附属天王寺校舎	16502U	800	大阪市天王寺区南河堀町43 環状線「寺田町駅」下車、西へ徒歩5分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
大阪	大阪教育大学	大阪教育大学 池田分校	16503K	人 1,600	池田市城南3丁目1－1 阪急宝塚線「池田駅」下車、東へ徒歩10分
		府立 生野高等学校	16504C	1,000	松原市新堂1丁目552 近鉄南大阪線「河内松原駅」下車、南西へ徒歩10分
		大阪女子大学	31801Z	700	堺市大仙町 阪和線「百舌鳥駅」下車、西へ徒歩15分
兵庫	神戸大学	神戸大学 文・理学部	16701A	940	神戸市灘区六甲台町1－1 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス（36系統）「神大文理農学部前」下車
		神戸大学 教育学部	16702Z	740	神戸市灘区鶴甲3丁目11 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス（36系統）「神大教育学部前」下車
		神戸大学 法・経済・経営学部	16703X	840	神戸市灘区六甲台町2－1 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス（36系統）「神大正門前」下車
		神戸大学 工学部	16704M	1,000	神戸市灘区六甲台町1－1 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス（36系統）「神大本部工学部前」下車
		神戸大学 教養部	16705H	2,320	神戸市灘区鶴甲1丁目2－1 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス（16系統）「神大教養部前」下車
		県立 神戸高等学校	16706B	762	神戸市灘区城の下通1丁目5－1 阪急六甲駅前、又は三宮駅前から市バス（2系統）「神戸高校前」下車
		神戸市立 葺合高等学校	16707A	1,125	神戸市葺合区野崎通1丁目1－1 国鉄「灘駅」又は阪急「西灘駅」下車、北西へ徒歩15分
		県立 兵庫高等学校	16708Y	1,350	神戸市長田区寺池町1丁目 国鉄「兵庫駅」から北西へ徒歩25分、又は神戸高速鉄道「長田駅」から北東へ徒歩15分
		神戸商科大学	32201U	1,554	神戸市垂水区星陵台4丁目3－3 国鉄、又は山陽電鉄垂水駅前から山陽バス「商大前」下車
		姫路工業大学	32301C	1,250	姫路市書写2167 国鉄姫路駅前から神姫バス、書写住宅行「書写西住宅口（姫路工大前）」下車、徒歩5分
		県立 姫路西高等学校	32302A	1,435	姫路市北八代2丁目1－33 国鉄姫路駅前から神姫バス、西高行「西高前」下車、徒歩2分
	神戸商船大学	神戸商船大学	16801X	1,149	神戸市東灘区深江南町5丁目1－1 阪神「深江駅」下車、南へ200m下り国道43号線南側西へ350m、徒歩10分
		神戸市外国語大学	32101A	1,600	神戸市灘区土山町6－1 国鉄六甲道駅前、又は阪急六甲駅前から市バス六甲ケーブル下行「外大前」下車、徒歩5分
奈良	奈良教育大学	奈良教育大学 教育学部	16901H	1,400	奈良市高畑町 国鉄・近鉄とも奈良駅前から市内循環バス「高畑町」下車
		奈良県立医科大学	32401Z	521	橿原市四条町840 近鉄橿原線「八木西口駅」下車、南へ徒歩8分、又は国鉄「畝傍駅」下車、南へ徒歩10分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
奈良	奈良女子大学	奈良女子大学 第1	17001B	883	奈良市北魚屋西町 近鉄「奈良駅」下車、北へ徒歩5分
		奈良女子大学 第2	17002A	702	奈良市北魚屋西町 近鉄「奈良駅」下車、北へ徒歩5分
和歌山	和歌山大学	和歌山大学 教育学部	17101Y	620	和歌山市真砂町1丁目1 和歌山バス「県庁前」下車、南へ徒歩5分
		和歌山大学 経済学部	17102U	670	和歌山市西高松1丁目7－1 和歌山バス「車庫前」下車、西へ徒歩5分
		県立 星林高等学校	17103K	877	和歌山市西浜2丁目9－9 和歌山バス「秋葉山」下車、西へ徒歩10分
		県立 桐蔭高等学校	32501M	720	和歌山市豊原町1丁目1 和歌山バス「小松原5丁目」下車、東へ徒歩10分
鳥取	鳥取大学	鳥取大学 (鳥取地区)	17201K	1,613	鳥取市湖山町南4丁目101 鳥取駅前からバス鳥取大学行「大学前（終点）」下車
		鳥取大学 医学部	17202C	418	米子市西町86 米子駅から駅前通り西へ徒歩20分
		鳥取大学 医療技術短期大学部	17203A	231	米子市西町133－2 米子駅から駅前通り西へ徒歩25分
島根	島根大学	島根大学	17301A	1,807	松江市西川津町1060 松江駅前から市営バス大学・川津行「大学前」下車
	島根医科大学	島根医科大学	17401X	501	出雲市塩冶町89－1 出雲市駅前から一畑バス島根医大線、又は須佐方面「島根医大前」又は「島根医大入口」下車
岡山	岡山大学	岡山大学	17501H	7,455	岡山市津島中3丁目1－1 岡山駅前から岡電バス妙善寺行「岡大西門」、又は国鉄「法界院駅」下車、北西へ徒歩10分
広島	広島大学	広島大学 教育学部福山分校	17601A	800	福山市緑町2－17 福山駅前から中国バス、川口（広大経由）行・車庫行・箕島行「広大前」下車
		広島大学 生物生産学部	17602Y	497	福山市緑町2－17 福山駅前から中国バス、川口（広大経由）行・車庫行・箕島行「広大前」下車
		広島大学 総合科学部	17604K	1,650	広島市中区東千田町1丁目1－89 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広大前」下車
		広島大学 文学部	17605C	600	広島市中区東千田町1丁目1－89 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広大前」下車
		広島大学 教育学部	17606A	600	広島市中区東千田町1丁目1－89 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広大前」下車
		広島大学 法・経済学部	17607Z	500	広島市中区東千田町1丁目1－89 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広大前」下車

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
広島	広島大学	広島大学 理学部	17608X	1,100	広島市中区東千田町1丁目1－89 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広大前」下車
		広島大学 学校教育学部	17609M	1,050	広島市南区東雲3丁目1－33 広島駅前からバス、仁保行「東本浦」下車
		広島大学 工学部	17610Z	1,550	広島市中区千田町3丁目8－2 広島駅前から市内電車・バス、宇品（紙屋町経由）行「広電本社前（広大工学部前）」下車
		広島大学 附属中・高等学校	17611X	755	広島市南区翠1丁目1－1 広島駅前から市内電車、宇品行「附属学校前」下車、徒歩2分
		広島女子大学	32601B	690	広島市南区宇品東1丁目1－71 広島駅前から市内電車、宇品行「県病院前」下車、東へ徒歩6分
山口	山口大学	山口大学 本部	17701U	2,064	山口市大字吉田1677－1 「湯田温泉駅」下車、南へ徒歩20分
		山口大学 医学部	17702K	500	宇部市大字小串1144 「宇部新川駅」下車、徒歩5分
		山口大学 工学部	17703C	466	宇部市常盤台2557 宇部新川駅前から市営バス風呂ケ迫行、又は高専グランド行「工学部前」下車
		下関市立大学	32701Y	1,137	下関市大学町2丁目1－1 下関駅前からバス北浦線「山の田」下車、徒歩5分
		山口女子大学	32801K	911	山口市桜畠3丁目2－1 「宮野駅」下車、徒歩5分
徳島	徳島大学	徳島大学 常三島地区	17801C	2,708	徳島市南常三島町1丁目1 徳島駅前から市バス吉野川橋行「助任橋」下車、徒歩5分
香川	香川大学	香川大学 教育学部	17901Z	1,900	高松市幸町1－1 高松駅前から市内バス宮脇線（西回り）「幸町」下車
		香川大学 経済学部	17902X	900	高松市幸町2－1 高松駅前から市内バス宮脇線（西回り）「宮脇町」下車
		香川大学 農学部	17903M	697	木田郡三木町池戸2393 琴電瓦町駅から長尾線「農学部前」下車
愛媛	愛媛大学	愛媛大学	18101H	5,046	松山市文京町 市内電車環状線「日赤病院前」下車、北へ徒歩3分
高知	高知大学	高知大学	18201A	1,699	高知市曙町2丁目5－1 「朝倉駅」下車、南東へ徒歩5分
	高知医科大学	高知医科大学	18301U	389	南国市岡豊町小蓮 高知駅前から県交バス奈路行・領石行「蒲原分岐」下車、徒歩5分、又は医大蒲原行「医大西門」下車
福岡	福岡教育大学	福岡教育大学	18401C	2,305	宗像郡宗像町赤間729 赤間駅前からバス赤間行「西鉄赤間営業所」下車、徒歩7分

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
福岡	九州大学	九州大学 文科系学部	18501Z	863	福岡市東区箱崎6丁目19－1 博多駅前、又は天神から西鉄バス貝塚行「九大北門」下車
		九州大学 理学部	18502X	634	福岡市東区箱崎6丁目10－1 博多駅前、又は天神から西鉄バス貝塚行「九大北門」下車
		九州大学 工学部	18503M	1,700	福岡市東区箱崎6丁目10－1 博多駅前、又は天神から西鉄バス九大前行「九大前」下車
		九州大学 農学部	18504H	748	福岡市東区箱崎6丁目10－1 博多駅前、又は天神から西鉄バス貝塚行「九大北門」、又は「貝塚」下車
		九州大学 病院地区	18505B	621	福岡市東区馬出3丁目1－1 博多駅前、又は天神から西鉄バス九大前行「九大病院前」下車
		九州大学 教育部	18506A	1,655	福岡市中央区六本松4丁目2－1 博多駅前から西鉄バス（10・15・16・17・18・201・203・204系統）「六本松」下車
		水城学園	18507Y	2,158	福岡市中央区長浜1丁目3－1 博多駅前から西鉄バス福浜行(68番)「英数学館前」下車
		福岡女子大学	33201B	500	福岡市東区香住ケ丘1丁目1－1 国鉄「香椎駅」下車、北へ徒歩15分、又は西鉄バス（21・23・26系統）「女子大前」下車
	九州芸術工科大学	九州英数学館	18601M	1,017	福岡市中央区舞鶴1丁目5－30 西鉄大牟田線「福岡駅」下車、北西へ徒歩10分
	九州工業大学	九州工業大学	18701B	2,464	北九州市戸畑区仙水町1－1 「新中原駅」下車、南へ徒歩5分
		北九州大学	33001Z	2,210	北九州市小倉南区北方4丁目2－1 小倉駅前からバス（30・34系統）「北方」下車
		九州歯科大学 進学課程	33101M	866	北九州市小倉北区清水5丁目20－1 小倉駅前から西鉄電車「歯科大前」下車、南南東へ徒歩20分
佐賀	佐賀大学	佐賀大学	18801Y	2,100	佐賀市本庄町1 佐賀駅バスセンターから市営バス東与賀線・相応線・市内循環線「佐大前」下車
	佐賀医科大学	佐賀医科大学	18901K	429	佐賀市鍋島町大字鍋島三本杉 佐賀駅南口から昭和バス小城(北部バイパス経由)行「東新庄」下車、北へ徒歩20分
長崎	長崎大学	長崎大学 文教地区	19001C	4,373	長崎市文教町1－14 長崎駅前から私電赤迫行、又は長崎バス住吉方面行、いずれも「大学前」下車
		長崎県立 国際経済大学	33301Y	1,141	佐世保市川下町123 佐世保駅前からバス相浦（日野経由）行「国際経済大学前」下車
熊本	熊本大学	熊本大学 黒髪地区	19101Z	5,575	熊本市黒髪2丁目40－1 熊本駅前から市営バス楠団地行、又は産交バス大津行、いずれも「熊大前」下車
		熊本女子大学	33401K	600	熊本市健軍町水洗2432－1 熊本交通センターから市営バス帯山線「日赤前」下車

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
大分	大分大学	大分大学	19201M	3,760	大分市大字旦野原700 大分市中央通り、トキハデパート前から大分バス旦野原行「大分大学」下車
	大分医科大学	大分医科大学	19301B	400	大分郡挾間町医大ケ丘1丁目1506 トキハデパート前、又は大分駅前から向の原、又は緑が丘（医科大学経由）行「医科大学前」下車
宮崎	宮崎大学	宮崎大学 教育学部	19401Y	1,390	宮崎市船塚1丁目1 宮崎交通バス平和台線「花殿町」下車、東へ徒歩5分
		宮崎大学 工学部	19402U	890	宮崎市霧島1丁目1－1 宮崎交通バス平和台線「花殿町」下車、北へ徒歩3分
		宮崎大学 農学部	19403K	920	宮崎市船塚3丁目210 宮崎交通バス神宮線「神宮前」下車、西へ徒歩5分
	宮崎医科大学	宮崎医科大学	19501K	468	宮崎郡清武町大字木原5200 南宮崎駅前宮交シティからバス大学病院行「大学病院前」下車
鹿児島	鹿児島大学	鹿児島大学 教養部	19601A	1,800	鹿児島市郡元1丁目21—30 西鹿児島駅前から市営バス鴨池港行（10番）・三和町行（11番）「法文学部前」下車
		鹿児島大学 理学部	19602Z	800	鹿児島市郡元1丁目21—35 西鹿児島駅前から市営バス鴨池港行（10番）・三和町行（11番）「法文学部前」下車
		鹿児島大学 工学部	19603X	900	鹿児島市郡元1丁目21—40 西鹿児島駅前から市電郡元行「工学部前」下車
		鹿児島大学 農学部	19604M	900	鹿児島市郡元1丁目21—24 西鹿児島駅前から市営バス鴨池港行（10番）・三和町行（11番）「農学部前」下車
		鹿児島大学 教育学部	19605H	1,237	鹿児島市郡元1丁目20—6 西鹿児島駅前から市電郡元行「工学部前」下車、徒歩4分
沖縄	琉球大学	琉球大学	19701X	900	那覇市首里当蔵町3丁目1 バス市内線（12・17番）「当蔵」下車、徒歩10分、又は（17番、琉大回り）「琉大入口」下車
		県立 首里高等学校	19702M	1,260	那覇市首里真和志町2丁目43 バス市内線（12・13・14・17、琉大回りを除く・18番）、市外線（25・26・46・97番）「山川」下車
		県立 浦添高等学校	19703H	1,260	浦添市字内間大嶺原130 バス市内線（11番）「内間入口」下車、徒歩10分、市外線（55・56番）「沢岷入口」下車、徒歩5分
		県立 小禄高等学校	19704B	1,250	那覇市鏡原町22—1 バス市内線（9番）、市外線（33・95番）「小禄入口」下車、徒歩7分
		県立 宮古高等学校	19705A	157	平良市字西里718 バス城辺線・上野線・下地線「終点」下車、徒歩10分
		県立 八重山高等学校	19706Y	83	石垣市字登野城275 バス川平線、又は西回り1周線「登野城小学校前」下車、徒歩2分

㈱　北海道地区の試験場は、次の区分による。

石　狩　支　庁　地　区……北海道大学・北海道教育大学（札幌予備学院）
空　知　支　庁　地　区……北海道教育大学岩見沢分校・岩見沢東高等学校
上川・宗谷・留萌支庁地区……北海道教育大学旭川分校・旭川医科大学
後　志　支　庁　地　区……小樽商科大学
檜山・渡島支庁地区……北海道教育大学函館分校
胆振・日高支庁地区……室蘭工業大学
十　勝　支　庁　地　区……帯広畜産大学
根室・釧路支庁地区……北海道教育大学釧路分校
網　走　支　庁　地　区……北見工業大学

（点字問題受験者用試験場）

都道府県名	試験実施大学名	試験場名	試験場コード	受験者数	所在地 道順
				人	
東京	東京学芸大学	都立文京盲学校	12950A	9	文京区後楽1丁目7－6 国電・地下鉄(東西線又は有楽町線)「飯田橋駅」、地下鉄(丸ノ内線)「後楽園駅」下車、徒歩5分
長野	信州大学	信州大学教育学部	14950A	1	長野市西長野6ノ口 「長野駅」中央口下車、北へ徒歩20分
大阪	大阪外国語大学	大阪外国語大学	16450A	1	箕面市大字粟生間谷2734 北大阪急行線千里中央駅から阪急バス大阪外大前行「大阪外大前（終点）」下車
熊本	熊本大学	熊本大学黒髪地区	19150X	1	熊本市黒髪2丁目40－1 熊本駅前から市営バス楠団地行、又は、産交バス大津行、いずれも「熊大前」下車

（追試験場）

地区	試験実施大学名	試験場名	所在地 道順
北海道	北海道大学	北海道大学	北海道札幌市北区北8条西5丁目 国鉄「札幌駅」北口下車、北へ徒歩5分
東北・関東甲信越	東京農工大学	東京農工大学農学部	東京都府中市幸町3丁目5－8 国電中央線国分寺駅南口から京王バス府中駅行「晴見町」下車、又は京王線府中駅から京王バス国分寺駅南口行「晴見町」下車
東海・北陸近畿	京都大学	京都大学本部構内	京都府京都市左京区吉田本町 市バス「東一条」下車、東へ徒歩3分、本部構内
中国・四国九州・沖縄	九州大学	九州大学文科系学部	福岡県福岡市東区箱崎6丁目19－1 国鉄博多駅前、又は天神から西鉄バス貝塚行「九大北門」下車

⑽　大学入学者選抜共通第1次学力試験実施提要の送付について

入試セ事第76号
昭和55年7月28日

各国公立大学事務局長　　殿

大学入試センター事業部長
明　石　富　治

「大学入学者選抜共通第1次学力試験実施提要」の送付について

このたび、「大学入学者選抜共通第1次学力試験実施提要」の昭和56年度共通第1次学力試験に係る第1回の改正分を作成しました。

つきましては、貴大学の学部相当数を下記のとおり送付しますので、配付方につきよろしくお取り計らい願います。

なお、この「実施提要」は、部外秘扱いですので取扱いはご留意ください。

㈱　この「実施提要」は、先に開催した「昭和56年度大学入学者選抜共通第1次学力試験実施担当者会議（第1回）」で1大学2部配付したことを申し添えます。

（「実施提要」目次付記以下省略）

大学入学者選抜共通第1次学力試験実施提要

目　　次

Ⅰ　総　　論
　1　共通第1次学力試験に関する関係法令
　2　大学入学者選抜実施要項等
Ⅱ　大学入学者選抜共通第1次学力試験業務処理日程
Ⅲ　各大学における共通第1次学力試験の実施体制
Ⅳ　共通第1次学力試験実施に関する公立大学との取り決め等について
Ⅴ　共通第1次学力試験受験案内交付
Ⅵ　共通第1次学力試験の試験場
Ⅶ　試験監督要員等の選出

Ⅷ　監督要領・受験者心得
Ⅸ　各大学における共通第１次学力試験の試験実施準備・処理等
Ｘ　共通第１次学力試験の事故処理
ＸＩ　身体に障害のある者に対する試験の実施
ＸII　共通第１次学力試験追試験の実施
ＸIII　共通第１次学力試験再試験の実施
ＸIV　大学入学者選抜共通第１次学力試験成績請求及び提供要領
ＸＶ　共通第１次学力試験実施に要する経費
ＸVI　コード表類

⑾　その他の参考資料

ア　大学入学者選抜実施要項の一部改正について（文部省）

文大大第201号
昭和55年６月５日

大学入試センター所長　　殿

文部省大学局長
佐　野　文一郎

大学入学者選抜実施要項の一部改正について（通知）

昭和54年度以降における大学入学者選抜実施要項（以下「要項」という。）については、昭和52年６月30日付け文大大第247号をもって通知したところですが、このたび、別紙のとおり要項の一部を改正し、昭和56年度の大学入学者選抜については、これにより実施することとしましたので通知します。

なお、入学者選抜の公正な実施については、かねてから御配慮をお願いしてきたところでありますが、最近、一部の大学において試験問題漏洩等の事故が発生したことは誠に遺憾であります。

ついては、今後このような事故の発生により大学に対する社会の信頼を損なうことのないよう、入試管理体制全般の再点検と整備・改善について一層の御配慮をお願いします。

（別紙）

大学入学者選抜実施要項の一部改正

昭和54年度以降における大学入学者選抜実施要項の一部を次のように改正する。

第10の３の⑷の表中「前年度の２月９日から２月15日まで」を「前年度の２月９日から２月16日まで」に改める。

イ　共通第１次学力試験における社会に属する科目の選択方法について（文部省）

文大大第201号
昭和55年９月５日

各国公私立大学長　　殿

文部省大学局長
宮　地　貫　一

共通第１次学力試験における社会に属する科目の選択方法について（通知）

国公立大学の入学者選抜における共通第１次学力試験の社会については、６科目のうちから２科目を選択解答することとなっていますが、「倫理・社会」及び「政治・経済」の２科目を選択解答する者が増加しており種々問題も指摘されていることから、昭和57年度共通第１次学力試験（昭和57年１月実施予定）からは、社会に属する科目の選択方法を別紙のとおり一部変更し、「倫理・社会」及び「政治・経済」の２科目を同時に選択することはできないこととする予定ですので、あらかじめ御了知ください。

本信送付先

各国公私立大学長
大学入試センター所長

別　紙

大学入学者選抜実施要項の関係部分

（第10　国立大学の入学者選抜方法等）

現　行	改正予定案
社　会　社会は、倫理・社会、政治・経済、日本史、世界史、地理Ａ及び地理Ｂを出題し、２科目を選択解答させる。ただし、地理Ａ及び地理Ｂの２科目を選択することはできないものとする。	社　会　社会は、倫理・社会、政治・経済、日本史、世界史、地理Ａ及び地理Ｂを出題し、２科目を選択解答させる。ただし、倫理・社会及び政治・経済の２科目並びに地理Ａ及び地理Ｂの２科目を選択することはできないものとする。

ウ　共通第１次学力試験に関する申合せ（国立大学協会）

共通第１次学力試験は都道府県別に基づく行政区画によって実施されているが、受験生が特定の府県に集中するなどの事態を生じ、監督教職員の配置、試験場の設置などに困難を生じている府県がある。このような不均衡を是正するため、各地域ブロック毎の国立大学間の合議によって可及的速やかにこのような事態を解消することを申し合わせる。

昭和55年６月18日

第66回国立大学協会総会

エ　入試責任者の臨時交代措置に関する申合せ（国立大学協会）

入学主幹などの入学試験執行の広汎な責任をもつ者の子弟などが当該大学の入学試験をうける場合（第２次試験）および共通第１次学力試験をうける場合（第１次試験）は、事前に試験問題を見ることの出来る立場にあるため、当該大学では適時その任務を解除し、別に責任者を立てて代行をせしめる措置をとられたい。

昭和55年６月18日

第66回国立大学協会総会

オ　大学入試センターよりの要望事項についての総会了承（国立大学協会）

総会は、次の如き入試センターよりの要望を了承した。

(1)　各大学が入学試験の追跡調査、研究などを行うために入試センターにその資料の提供を要望する件数が増加の傾向にあるが、その場合学生個人、各大学、各地区等の固有のプライバシーに関するものは提供出来ない場合もあるのでご承知願いたい。

(2)　提供を受けた資料は学内秘扱いとして目的とする調査・研究に限り使用し、後日、入試センターより公表して差支えない状況になった旨の通知あるまで一般公開を御遠慮願いたい。

昭和55年６月18日

第66回国立大学協会総会

5　統計資料

(1)　昭和56年度国公立大学の入学者選抜実施状況

(2)　昭和56年度共通第１次学力試験都道府県別志願者数・受験者数等

(3)　昭和56年度国立・公立大学別志望状況（昭和55年12月９日発表）

(4)　昭和56年度共通第１次学力試験実施結果（昭和56年２月３日発表）

ア　昭和56年度共通第１次学力試験受験状況等

イ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験平均点等一覧

ウ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布概略図（全教科）

エ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布（全教科）

オ　共通第１次学力試験受験者数、平均点の推移（本試験）

(1) 昭和56年度国公立大学の入学者選抜実施状況

① 共通第１次学力試験

志願者数、受験者数等

区　分	56年度入学定員	入学志願者数（第１志望）	倍　率	受験者数	欠席者数	欠席率
	人	人	倍	人	人	%
国立大学	(84,501) 85,291	(308,011) 315,847	(3.6) 3.7	—	—	—
公立大学	(10,005) 10,135	(41,555) 41,786	(4.2) 4.1	—	—	—
計	(94,506) 95,426	(349,566) 357,633	(3.7) 3.7	(333,212) 340,757	(16,354) 16,876	(4.7) 4.7

(注)　(　) は前年度である。(以下、各表において同じ。)

② 第２次試験

ア　志願者数、受験者数、合格者数等

区　分	入学定員	入学志願者数	倍　率	受験者数	合格者数	入学者数
	人	人	倍	人	人	人
国立大学	(84,501) 85,291	(254,424) 242,255	(3.0) 2.8	(240,261) 229,919	(91,359) 92,785	(84,561) 85,264
公立大学	(10,005) 10,135	(63,800) 64,896	(6.4) 6.4	(52,922) 53,437	(14,464) 14,791	(10,776) 10,772
計	(94,506) 95,426	(318,224) 307,151	(3.4) 3.2	(293,183) 283,356	(105,823) 107,576	(95,337) 96,036

(注)　1　第２次募集及び推薦入学によるものを含む。

2　昭和56年度は新設の香川大学法学部及び大阪府立大学社会福祉学部を、昭和55年度は新設の群馬県立女子大学を含まず、また、両年度とも東京外国語大学外国語学部日本語学科を含まない。

3　受験者数は第２次試験のすべてを受験した者の数である。

(備考)　２段階選抜

区　分	実施大学数	実施学部数	入学定員	入学志願者数	倍　率	第１段階選抜合格者数
	校	学部	人	人	倍	人
国立大学	(11) 11	(27) 24	(6,609) 5,984	(24,337) 20,318	(3.7) 3.4	(19,464) 17,081
公立大学	(6) 4	(6) 5	(1,080) 860	(11,872) 11,618	(11.0) 13.5	(10,304) 8,364
計	(17) 15	(33) 29	(7,689) 6,844	(36,209) 31,936	(4.7) 4.7	(29,768) 25,445

イ　第２次募集

区分		実施大学数	実施学部数	募集人員	入学志願者数	受験者数	合格者数
		校	学部	人	人	人	人
国立大学	定員留保	(12) 14	(13) 16	(約 738) 約 762	(7,100) 5,412	(6,664) 5,268	(1,100) 1,203
	欠員補充	(7) 3	(7) 3	(約 114) 約 40	(1,851) 688	(1,767) 667	(184) 48
	計	(18) 17	(20) 19	(約 852) 約 802	(8,951) 6,100	(8,431) 5,935	(1,284) 1,251
公立大学	定員留保	(1) 1	(1) 1	(60) 60	(153) 139	(139) 129	(71) 71
	欠員補充	(1) —	(1) —	(—) —	(209) —	(188) —	(7) —
	計	(2) 1	(2) 1	(60) 60	(362) 139	(327) 129	(78) 71
計	定員留保	(13) 15	(14) 17	(約 798) 約 822	(7,253) 5,551	(6,803) 5,397	(1,171) 1,274
	欠員補充	(8) 3	(8) 3	(約 114) 約 40	(2,060) 688	(1,955) 667	(191) 48
	計	(20) 18	(22) 20	(約 912) 約 862	(9,313) 6,239	(8,758) 6,064	(1,362) 1,322

(注)　1　前年度の実施大学数のうち、国立大学１校は「定員留保」と「欠員補充」との両方に重複して数えてある。

2　募集人員を若干名としているもの（前年度）については、募集人員欄では除いて算出してある。

ウ　推薦入学

区分		56年度 実施大学数	56年度 実施学部数	56年度 入学志願者数	56年度 合格者数	55年度 実施大学数	55年度 実施学部数	55年度 入学志願者数	55年度 合格者数
		校	学部	人	人	校	学部	人	人
国立大学	共通第１次を課す	37	52	1,169	503	38	51	1,083	534
	共通第１次をも免除	〔13〕 14	〔 3〕 34	4,433	1,285	〔13〕 11	〔 3〕 30	3,909	1,076
	計	51	86	5,602	1,788	49	81	4,992	1,610
公立大学	共通第１次を課す	5	6	209	105	4	5	174	92
	共通第１次をも免除	6	7	1,243	321	5	6	1,327	319
	計	11	13	1,452	426	9	11	1,501	411
計	共通第１次を課す	42	58	1,378	608	42	56	1,257	626
	共通第１次をも免除	〔13〕 20	〔 3〕 41	5,676	1,606	〔13〕 16	〔 3〕 36	5,236	1,395
	計	62	99	7,054	2,214	58	92	6,493	2,021

(注)　実施大学数、実施学部数欄の〔　〕は、「共通第１次を課す」と重複しているもので外数である。

(2)　昭和56年度共通第１次学力試験都道府県別志願者数・受験者数等

都道府県名	試験場数	志願者数 計	県内高校出身者数 合計	県内高校出身者数 卒業見込者数	県内高校出身者数 卒業者数	他県高校出身者等数	受験者数 受験者数	受験者数 欠席率
		人	人	人	人	人	人	%
合　計	269	357,633	329,024	229,825	99,199	28,609	340,614	4.76
北海道	18	15,903	13,813	10,183	3,630	2,090	15,105	5.02
青　森	2	3,052	3,012	2,583	429	40	2,880	5.64
岩　手	2	3,077	3,046	2,606	440	31	2,949	4.16
宮　城	5	6,768	5,480	3,401	2,079	1,288	6,446	4.76
秋　田	1	2,784	2,750	2,254	496	34	2,660	4.45
山　形	3	3,043	3,009	2,484	525	34	2,916	4.17
福　島	6	4,563	4,527	3,665	862	36	4,282	6.16
茨　城	4	5,219	5,090	3,644	1,446	129	4,961	4.94
栃　木	2	3,705	3,665	2,824	841	40	3,525	4.86
群　馬	6	5,051	4,940	3,314	1,626	111	4,784	5.29
埼　玉	6	9,565	8,572	5,409	3,163	993	9,020	5.70
千　葉	9	11,247	9,794	6,204	3,590	1,453	10,666	5.17
東　京	24	47,032	36,095	20,092	16,003	10,937	43,652	7.19
神奈川	11	16,532	15,255	9,364	5,891	1,277	15,507	6.20
新　潟	5	5,179	5,113	3,809	1,304	66	4,931	4.79
富　山	2	4,332	4,289	3,614	675	43	4,224	2.49
石　川	2	3,735	3,628	2,889	739	107	3,594	3.78
福　井	1	2,368	2,350	2,070	280	18	2,278	3.80
山　梨	2	2,119	2,065	1,646	419	54	1,992	5.99
長　野	8	5,796	5,730	4,349	1,381	66	5,426	6.38
岐　阜	6	5,637	5,551	4,401	1,150	86	5,422	3.81
静　岡	9	7,499	7,416	6,004	1,412	83	7,173	4.35
愛　知	11	21,583	20,497	14,675	5,822	1,086	20,900	3.16
三　重	1	4,101	4,051	3,102	949	50	3,911	4.63
滋　賀	3	2,801	2,673	1,930	743	128	2,691	3.93
京　都	8	10,632	7,962	4,814	3,148	2,670	10,106	4.95
大　阪	26	31,283	30,067	18,465	11,602	1,216	30,029	4.01
兵　庫	13	16,065	15,556	10,758	4,798	509	15,366	4.35
奈　良	4	3,506	3,215	2,243	972	291	3,345	4.59
和歌山	4	2,887	2,857	2,152	705	30	2,720	5.78
鳥　取	3	2,262	2,236	1,692	544	26	2,196	2.92
島　根	2	2,308	2,283	1,966	317	25	2,246	2.69
岡　山	1	7,455	7,252	5,879	1,373	203	7,200	3.42
広　島	11	9,792	9,114	6,724	2,390	678	9,397	4.03
山　口	5	5,078	5,009	4,015	994	69	4,906	3.39
徳　島	1	2,708	2,667	2,146	521	41	2,580	4.73
香　川	3	3,497	3,428	2,623	805	69	3,353	4.12
愛　媛	1	5,046	4,944	4,370	574	102	4,899	2.91
高　知	2	2,088	2,018	1,447	571	70	1,997	4.36
福　岡	13	17,741	15,972	10,000	5,972	1,769	17,024	4.04
佐　賀	2	2,529	2,495	1,925	570	34	2,402	5.02
長　崎	2	5,514	5,427	4,251	1,176	87	5,313	3.65
熊　本	2	6,176	6,016	3,975	2,041	160	5,931	3.97
大　分	2	4,160	4,099	3,536	563	61	4,047	2.72
宮　崎	4	3,668	3,637	3,115	522	31	3,561	2.92
鹿児島	5	5,637	5,546	4,517	1,029	91	5,405	4.12
沖　縄	6	4,910	4,813	2,696	2,117	97	4,696	4.36

(注)　他に点字試験場は、東京１、長野１、京都１、熊本１、計４会場

(3)　昭和56年度国立・公立大学別志望状況

55. 12.　9

大学・学部等名	56年度 入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
総合計	94,936	357,633	271,213	86,420	3.8	294,209	231,921	62,288	3.1	3.7	3.2	3.3 (3.4)
国立大学合計	84,801	315,847	242,045	73,802	3.7	239,210	193,103	46,107	2.8	3.6	2.9	2.9 (3.0)
北海道大学	2,195	8,617	7,494	1,123	3.9	4,390	3,977	413	2.0	4.0	1.9	2.6
文1系	135	1,210	849	361	9.0	605	499	106	4.5	9.0	4.8	3.9
文2系	210	1,079	945	134	5.1	522	482	40	2.5	5.5	2.5	3.4
文3系	220	1,494	1,368	126	6.8	794	750	44	3.6	7.1	3.8	4.9
理1系	604	1,938	1,864	74	3.2	860	818	42	1.4	3.4	1.4	2.3
理2系	372	974	761	213	2.6	623	541	82	1.7	2.3	1.2	1.7
理3系	239	625	497	128	2.6	253	199	54	1.1	2.8	1.2	2.0
医学進学課程	120	857	794	63	7.1	311	292	19	2.6	7.0	2.5	2.9
歯学進学課程	80	231	220	11	2.9	203	195	8	2.5	3.3	2.3	2.5
水産系	215	209	196	13	1.0	219	201	18	1.0	1.0	0.9	1.8
北海道教育大学	1,330	4,813	3,070	1,743	3.6	5,570	3,720	1,850	4.2	3.3	4.2	3.6
札幌分校	300	2,226	1,367	859	7.4	1,629	1,088	541	5.4	6.3	5.6	3.1
函館分校	305	747	478	269	2.4	1,119	696	423	3.7	2.5	4.0	3.2
旭川分校	315	903	552	351	2.9	873	561	312	2.8	2.7	2.7	4.0
釧路分校	225	537	378	159	2.4	1,006	760	246	4.5	2.3	4.7	4.4
岩見沢分校	185	400	295	105	2.2	943	615	328	5.1	2.2	4.3	2.9
室蘭工業大学	560	1,614	1,583	31	2.9	1,264	1,237	27	2.3	2.9	2.3	2.4
工学部第1部	480	1,541	1,510	31	3.2	1,102	1,076	26	2.3	3.2	2.3	2.4
工学部第2部	80	73	73	0	0.9	162	161	1	2.0	1.2	2.2	2.0
◎小樽商科大学(商)	385	728	672	56	1.9	731	652	79	1.9	2.2	2.2	2.6
帯広畜産大学(畜産)	260	936	721	215	3.6	683	523	160	2.6	4.3	3.3	3.0
旭川医科大学(医)	120	369	327	42	3.1	433	395	38	3.6	3.0	4.1	2.4
北見工業大学(工)	320	610	600	10	1.9	1,239	1,222	17	3.9	1.8	4.0	2.6
弘前大学	1,070	3,187	2,219	968	3.0	3,524	2,508	1,016	3.3	3.0	3.7	2.8

大学・学部等名	56年度 入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
人文学部	285	793	603	190	2.8	853	655	198	3.0	2.6	3.3	2.7
教育学部	370	1,223	583	640	3.3	1,462	785	677	4.0	3.4	4.4	3.2
理学部	160	431	374	57	2.7	473	411	62	3.0	2.7	3.4	2.0
医学部	120	549	491	58	4.6	416	372	44	3.5	4.3	3.8	2.7
農学部	135	191	168	23	1.4	320	285	35	2.4	2.0	3.2	3.3
岩手大学	1,160	2,709	1,922	787	2.3	2,315	1,807	508	2.0	2.4	2.1	2.3
人文社会科学部	200	478	351	127	2.4	546	423	123	2.7	2.4	2.9	2.6
教育学部	350	1,042	504	538	3.0	685	409	276	2.0	2.9	1.9	2.6
工学部	400	681	665	16	1.7	630	612	18	1.6	1.6	1.5	2.1
農学部	210	508	402	106	2.4	454	363	91	2.2	3.0	2.8	2.0
東北大学	2,204	10,646	9,619	1,027	4.8	5,508	5,067	441	2.5	4.8	2.5	2.1
文学部	160	1,020	758	262	6.4	439	365	74	2.7	6.3	3.0	2.3
教育学部	70	272	186	86	3.9	164	125	39	2.3	3.4	2.3	2.5
法学部	230	2,149	2,037	112	9.3	997	937	60	4.3	9.1	4.6	2.3
経済学部	240	997	960	37	4.2	664	639	25	2.8	5.0	2.9	2.1
理学部	284	1,888	1,733	155	6.6	1,005	944	61	3.5	6.6	3.4	2.5
医学部	120	1,206	1,088	118	10.1	442	408	34	3.7	9.2	3.2	3.0
歯学部	80	459	397	62	5.7	307	263	44	3.8	5.1	3.0	2.4
薬学部	80	256	127	129	3.2	165	117	48	2.1	3.6	1.6	2.4
工学部	790	2,139	2,108	31	2.7	1,087	1,076	11	1.4	2.7	1.4	1.7
農学部	150	260	225	35	1.7	238	193	45	1.6	2.1	1.6	1.4
宮城教育大学(教育)	425	1,545	785	760	3.6	1,525	909	616	3.6	4.1	3.9	8.2
秋田大学	800	1,680	1,105	575	2.1	1,456	1,201	255	1.8	2.2	2.0	2.4
教育学部	320	1,000	472	528	3.1	572	366	206	1.8	3.5	2.3	2.7
医学部	100	342	299	43	3.4	432	394	38	4.3	3.2	3.7	2.8
◎鉱山学部	380	338	334	4	0.9	452	441	11	1.2	0.7	1.3	2.0
山形大学	1,475	3,445	2,461	984	2.3	4.456	3,684	772	3.0	2.2	3.2	2.9
人文学部	235	827	648	179	3.5	903	728	175	3.8	3.0	3.7	1.8
教育学部	320	1,198	538	660	3.7	1,013	635	378	3.2	3.5	3.3	2.6
理学部	165	375	313	62	2.3	513	430	83	3.1	2.4	3.6	2.4
医学部	120	306	258	48	2.6	561	493	68	4.7	2.2	3.9	3.5
◎工学部	480	575	570	5	1.2	1,103	1,080	23	2.3	1.2	2.7	4.0
農学部	155	164	134	30	1.1	363	318	45	2.3	1.6	2.6	1.8

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
福島大学	870	2,342	1,617	725	2.7	2,361	1,805	556	2.7	2.8	3.1	2.9
教育学部	450	1,517	834	683	3.4	1,453	939	514	3.2	3.2	3.7	3.0
◎経済学部（昼）	240	737	707	30	3.1	757	722	35	3.2	3.7	3.6	2.9
○経済学部（夜）	180	88	76	12	0.5	151	144	7	0.8	0.5	0.8	2.7
茨城大学	1,350	4,550	3,183	1,367	3.4	5,613	4,383	1,230	4.2	3.2	4.0	3.9
人文学部	315	924	698	226	2.9	1,116	896	220	3.5	2.8	3.4	4.1
教育学部	415	1,848	899	949	4.5	1,910	1,156	754	4.6	4.3	4.2	4.4
◎理学部	165	718	589	129	4.4	936	772	164	5.7	3.3	5.5	4.4
◎工学部	340	779	757	22	2.3	1,237	1,205	32	3.6	2.4	3.5	3.0
農学部	115	281	240	41	2.4	414	354	60	3.6	2.7	4.5	3.8
図書館情報大学（図書館情報）	120	366	136	230	3.1	305	163	142	2.5	3.6	3.6	2.4
筑波大学	1,570	6,642	5,306	1,336	4.2	4,070	3,356	714	2.6	4.3	2.7	3.9
第1学群	400	2,037	1,620	417	5.1	1,329	1,103	226	3.3	5.4	3.7	4.1
第2学群	400	1,079	742	337	2.7	645	484	161	1.6	2.8	1.7	3.0
第3学群	360	1,025	941	84	2.8	691	664	27	1.9	2.7	1.9	4.2
医学専門学群	100	1,032	826	206	10.3	539	446	93	5.4	10.1	5.5	5.5
体育専門学群	240	1,207	1,031	176	5.0	558	462	96	2.3	4.7	2.2	3.9
芸術専門学群	70	262	146	116	3.7	308	197	111	4.4	3.9	5.2	3.9
宇都宮大学	890	2,823	2,126	697	3.2	2.901	2,454	447	3.3	3.3	3.8	2.5
教育学部	310	1,326	707	619	4.3	982	638	344	3.2	4.3	3.8	3.0
工学部	335	1,174	1,119	55	3.5	1,479	1,423	56	4.4	3.6	5.0	2.3
◎農学部	245	323	300	23	1.3	440	393	47	1.8	1.7	2.1	2.1
群馬大学	850	2,777	1,953	824	3.3	2,308	1,945	363	2.7	3.6	3.3	3.4
教育学部	310	1,522	826	696	4.9	879	610	269	2.8	5.2	3.5	4.3
医学部	100	518	426	92	5.2	399	343	56	4.0	4.6	4.1	2.3
工学部	440	737	701	36	1.7	1,030	992	38	2.3	2.3	3.0	3.1
埼玉大学	1,410	5,961	4,583	1,378	4.2	6,445	5,126	1,319	4.6	4.1	4.7	4.0
教養学部	130	1,010	686	324	7.8	926	641	285	7.1	6.9	7.1	5.0
教育学部	580	1,905	1,048	857	3.3	1,891	1,083	808	3.3	3.1	3.3	3.9
経済学部	200	908	860	48	4.5	1,090	1,031	59	5.5	4.5	5.5	4.8
理学部	180	772	634	138	4.3	942	798	144	5.2	4.4	5.2	3.5
工学部	320	1,366	1,355	11	4.3	1,596	1,573	23	5.0	4.2	5.5	3.8

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
千葉大学	2,210	12,270	9,144	3,126	5.6	8,453	6,621	1,832	3.8	5.5	3.9	3.2
人文学部	320	1,557	1,236	321	4.9	1,381	1,118	263	4.3	4.9	4.1	3.2
教育学部	600	2,681	1,314	1,367	4.5	2,177	1,248	929	3.6	4.1	3.8	3.5
理学部	160	1,860	1,560	300	11.6	1,333	1,114	219	8.3	11.9	8.9	3.5
医学部	120	1,339	1,159	180	11.2	719	649	70	6.0	10.0	5.8	3.5
薬学部	80	779	336	443	9.7	259	140	119	3.2	10.9	4.1	3.7
看護学部	60	336	14	322	5.6	102	5	97	1.7	5.6	1.3	2.7
工学部（A）	470	3,206	3,091	115	6.8	1,982	1,918	64	4.2	6.9	4.4	2.9
○工学部（B）	200	141	132	9	0.7	216	203	13	1.1	0.8	1.0	3.2
園芸学部	200	371	302	69	1.9	284	226	58	1.4	2.0	1.5	1.9
東京大学	3,063	15,963	14,985	978	5.2	5,431	5,147	284	1.8	4.9	1.6	3.4
文科1類	630	4,769	4,596	173	7.6	701	669	32	1.1	7.2	0.9	3.8
文科2類	370	1,521	1,480	41	4.1	1,251	1,222	29	3.4	4.1	3.2	3.8
文科3類	370	2,103	1,741	362	5.7	861	786	75	2.3	6.6	2.3	4.4
理科1類	1,092	4,550	4,422	128	4.2	978	945	33	0.9	3.7	0.7	2.5
理科2類	511	1,292	1,099	193	2.5	1,085	1,006	79	2.1	2.4	1.8	3.3
理科3類	90	1,728	1,647	81	19.2	555	519	36	6.2	16.4	5.1	5.0
東京医科歯科大学	160	1,797	1,578	219	11.2	1,114	1,012	102	7.0	10.9	7.2	3.5
医学部	80	1,240	1,096	144	15.5	805	735	70	10.1	14.9	11.0	3.6
歯学部	80	557	482	75	7.0	309	277	32	3.9	6.9	3.4	3.4
東京外国語大学（外国語）	570	3,420	2,042	1,378	6.0	863	641	222	1.5	5.9	1.9	4.1
東京学芸大学（教育）	1,215	7,447	4,341	3,106	6.1	4,396	2,538	1,858	3.6	5.8	4.0	4.1
東京農工大学	760	2,797	2,322	475	3.7	2,441	2,227	214	3.2	3.9	3.5	2.9
農学部	315	1,651	1,225	426	5.2	829	664	165	2.6	5.6	3.0	2.6
工学部	445	1,146	1,097	49	2.6	1,612	1,563	49	3.6	2.7	3.8	3.1
東京芸術大学	437	6,973	3,616	3,357	16.0	702	467	235	1.6	15.1	1.5	14.1
美術学部	210	5,574	3,086	2,488	26.5	567	389	178	2.7	25.1	2.6	24.1
音楽学部	227	1,399	530	869	6.2	135	78	57	0.6	5.8	0.5	4.8
東京工業大学	774	4,114	4,013	101	5.3	2,448	2,389	59	3.2	4.9	2.8	2.9
第1類	153	985	943	42	6.4	784	755	29	5.1	6.1	5.1	3.4
第2類	74	90	88	2	1.2	77	74	3	1.0	1.1	0.9	1.9
第3類	118	183	176	7	1.6	140	137	3	1.2	1.7	1.0	2.1

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
第4類	170	704	697	7	4.1	323	321	2	1.9	3.4	1.5	2.8
第5類	146	1,496	1,476	20	10.2	784	774	10	5.4	8.8	4.2	3.7
第6類	113	656	633	23	5.8	340	328	12	3.0	6.5	2.8	2.7
東京商船大学(商船)	160	483	471	12	3.0	313	304	9	2.0	3.1	1.6	2.3
東京水産大学(水産)	280	707	649	58	2.5	413	387	26	1.5	2.6	1.4	4.0
お茶の水女子大学	407	1,500	0	1,500	3.7	719	0	719	1.8	3.6	1.8	2.4
文教育学部	197	787	0	787	4.0	365	0	365	1.9	4.0	2.1	2.3
理学部	85	329	0	329	3.9	162	0	162	1.9	4.1	2.1	2.3
家政学部	125	384	0	384	3.1	192	0	192	1.5	2.6	1.1	2.7
電気通信大学(電通)	620	2,370	2,298	72	3.8	2,135	2,059	76	3.4	2.8	2.7	3.3
一橋大学	920	5,711	5,371	340	6.2	3,942	3,764	178	4.3	6.0	4.1	3.6
法学部	210	2,109	1,965	144	10.0	1,737	1,652	85	8.3	9.9	7.8	3.5
社会学部	210	987	859	128	4.7	693	621	72	3.3	3.7	2.8	2.9
経済学部	250	1,543	1,507	36	6.2	1,020	1,007	13	4.1	5.8	4.1	3.7
商学部	250	1,072	1,040	32	4.3	492	484	8	2.0	4.6	2.1	4.3
横浜国立大学	1,665	8,908	7,464	1,444	5.4	7,378	6,288	1,090	4.4	4.6	4.0	3.8
教育学部	530	2,636	1,426	1,210	5.0	2,268	1,339	929	4.3	4.4	3.6	3.9
経済学部	230	1,501	1,438	63	6.5	1,629	1,568	61	7.1	5.6	6.5	4.0
経営学部第1部	190	1,117	1,052	65	5.9	793	764	29	4.2	5.4	4.4	4.1
経営学部第2部	80	103	98	5	1.3	132	126	6	1.7	1.8	2.2	3.0
工学部第1部	575	3,463	3,363	100	6.0	2,428	2,365	63	4.2	4.8	3.5	3.7
工学部第2部	60	88	87	1	1.5	128	126	2	2.1	1.4	2.4	2.0
新潟大学	1,915	5,735	4,442	1,293	3.0	4,602	3,787	815	2.4	3.1	2.5	2.6
人文学部	150	471	260	211	3.1	404	264	140	2.7	3.0	2.5	1.7
教育学部	485	1,386	655	731	2.9	966	514	452	2.0	2.7	2.2	2.7
法学部	200	692	641	51	3.5	768	737	31	3.8	3.0	2.5	2.5
経済学部	200	537	506	31	2.7	484	453	31	2.4	3.0	2.5	3.1
理学部	145	472	405	67	3.3	397	347	50	2.7	3.6	3.3	2.0
医学部	120	561	493	68	4.7	347	312	35	2.9	5.0	3.6	3.0
歯学部	80	551	455	96	6.9	364	317	47	4.6	9.6	6.6	6.4
工学部	380	855	842	13	2.3	668	654	14	1.8	2.3	1.7	2.0
農学部	155	210	185	25	1.4	204	189	15	1.3	1.4	1.4	1.8

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
長岡技術科学大学(工)	60	169	164	5	2.8	389	388	1	6.5	3.6	6.4	3.1
上越教育大学(学校教育)	200	193	131	62	1.0	706	429	277	3.5	—	—	—
富山大学	1,185	2,709	1,741	968	2.3	3,292	2,542	750	2.8	2.3	2.7	3.1
人文学部	160	412	180	232	2.6	538	325	213	3.4	2.6	3.6	3.3
教育学部	240	821	238	583	3.4	691	318	373	2.9	3.4	2.6	2.8
経済学部	300	517	465	52	1.7	615	571	44	2.1	1.8	2.4	3.0
理学部	180	349	253	96	1.9	557	460	97	3.1	2.2	3.1	2.0
工学部	305	610	605	5	2.0	891	868	23	2.9	1.9	2.5	3.8
富山医科薬科大学	205	376	253	123	1.8	507	342	165	2.5	2.4	3.3	4.2
医学部	100	131	120	11	1.3	190	177	13	1.9	1.7	2.2	5.0
◎薬学部	105	245	133	112	2.3	317	165	152	3.0	3.2	4.2	3.2
金沢大学	1,555	5,815	4,576	1,239	3.7	4,259	3,612	647	2.7	3.7	2.7	2.0
文学部	135	757	472	285	5.6	516	389	127	3.8	5.0	3.7	2.3
教育学部	295	1,064	479	585	3.6	606	334	272	2.1	3.5	2.0	2.2
法学部	180	1,085	1,031	54	6.0	953	887	66	5.3	5.0	3.7	2.7
経済学部	180	659	640	19	3.7	432	417	15	2.4	5.0	3.7	2.1
理学部	130	482	416	66	3.7	447	397	50	3.4	3.6	3.3	1.6
医学部	120	598	541	57	5.0	353	330	23	2.9	4.9	2.7	2.4
薬学部	80	308	144	164	3.9	219	131	88	2.7	3.8	2.3	1.3
工学部	435	862	853	9	2.0	733	727	6	1.7	2.1	1.8	1.4
福井大学	650	1,361	996	365	2.1	1,175	1,029	146	1.8	2.2	1.9	2.0
教育学部	200	604	277	327	3.0	285	171	114	1.4	3.0	1.7	2.5
工学部	450	757	719	38	1.7	890	858	32	2.0	1.8	2.0	1.8
福井医科大学(医)	100	206	181	25	2.1	339	287	52	3.4	3.5	5.0	4.4
山梨大学	740	1,637	1,203	434	2.2	2,046	1,647	399	2.8	2.4	3.5	2.5
教育学部	230	935	531	404	4.1	1,086	712	374	4.7	4.5	6.8	4.0
◎工学部	510	702	672	30	1.4	960	935	25	1.9	1.4	2.1	1.8
山梨医科大学(医)	100	363	328	35	3.6	478	449	29	4.8	4.0	5.6	3.6
信州大学	1,710	5,901	4,856	1,045	3.5	6,073	5,321	752	3.6	3.5	3.7	2.8

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
人文学部	120	418	282	136	3.5	540	406	134	4.5	3.9	5.2	2.5
教育学部	320	1,834	1,161	673	5.7	1,333	974	359	4.2	6.2	5.2	3.2
経済学部	180	850	822	28	4.7	827	800	27	4.6	4.6	4.3	2.7
理学部	170	351	308	43	2.1	498	443	55	2.9	2.2	2.9	2.0
医学部	100	561	492	69	5.6	486	439	47	4.9	4.5	4.4	1.8
工学部	380	1,358	1,336	22	3.6	1,764	1,726	38	4.6	3.4	4.5	4.4
農学部	185	336	286	50	1.8	357	304	53	1.9	2.3	2.5	1.9
繊維学部	255	193	169	24	0.8	268	229	39	1.1	0.6	1.0	2.0
岐阜大学	950	2,519	1,789	730	2.7	2,439	1,893	546	2.6	2.8	2.9	2.8
教育学部	340	1,093	525	568	3.2	896	508	388	2.6	2.9	2.6	2.6
医学部	80	190	153	37	2.4	239	208	31	3.0	1.7	2.5	4.2
工学部	320	749	742	7	2.3	860	839	21	2.7	2.8	3.5	2.3
農学部	210	487	369	118	2.3	444	338	106	2.1	3.0	2.9	3.3
静岡大学	1,625	4,530	3,505	1,025	2.8	4,188	3,576	612	2.6	2.7	2.6	2.5
人文学部	325	1,351	1,093	258	4.2	1,396	1,193	203	4.3	3.6	3.9	2.7
教育学部	510	1,340	651	689	2.6	841	541	300	1.6	2.8	1.8	2.4
理学部	185	476	431	45	2.6	478	426	52	2.6	2.8	3.3	2.3
工学部	455	1,112	1,101	11	2.4	1,191	1,174	17	2.6	2.3	2.3	2.0
農学部	150	251	229	22	1.7	282	242	40	1.9	2.1	2.6	4.3
浜松医科大学(医)	100	460	385	75	4.6	474	408	66	4.7	4.4	4.9	2.8
名古屋大学	1,660	6,605	5,863	742	4.0	3,376	3,127	249	2.0	3.7	1.9	2.2
文学部	130	622	350	272	4.8	210	150	60	1.6	4.1	1.6	2.2
教育学部	60	230	122	108	3.8	179	128	51	3.0	3.9	2.5	2.3
法学部	160	842	775	67	5.3	488	468	20	3.1	4.4	2.7	2.6
経済学部	210	797	772	25	3.8	399	389	10	1.9	3.6	1.6	2.1
理学部	220	763	670	93	3.5	538	510	28	2.4	3.9	2.8	1.9
医学部	100	791	709	82	7.9	314	293	21	3.1	8.0	3.2	4.6
工学部	610	2,323	2,284	39	3.8	1,055	1,038	17	1.7	3.4	1.6	2.0
農学部	170	237	181	56	1.4	193	151	42	1.1	1.5	1.1	1.4
愛知教育大学(教育)	1,035	4,306	2,083	2,223	4.2	1,975	1,054	921	1.9	4.2	2.1	2.7
名古屋工業大学	1,040	2,884	2,833	51	2.8	2,227	2,194	33	2.1	2.5	2.1	2.6
工学部第1部	840	2,713	2,665	48	3.2	1,975	1,944	31	2.4	2.8	2.3	2.7

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
工学部第2部	200	171	168	3	0.9	252	250	2	1.3	1.1	1.2	2.2
豊橋技術科学大学(工)	60	258	248	10	4.3	376	367	9	6.3	4.3	6.2	3.3
三重大学	960	2,520	1,916	604	2.6	2,597	2,202	395	2.7	2.5	2.5	3.3
教育学部	330	951	424	527	2.9	745	410	335	2.3	2.5	1.9	3.0
医学部	100	467	423	44	4.7	449	422	27	4.5	4.4	3.4	2.0
工学部	280	643	640	3	2.3	843	837	6	3.0	1.9	2.6	3.1
◎農学部	190	276	254	22	1.5	383	363	20	2.0	1.9	2.5	5.0
水産学部	60	183	175	8	3.1	177	170	7	3.0	3.3	4.0	3.1
滋賀大学	620	1,546	1,089	457	2.5	1,841	1,394	447	3.0	2.7	3.3	3.2
教育学部	260	839	408	431	3.2	1,005	590	415	3.9	3.3	3.8	2.9
◎経済学部	360	707	681	26	2.0	836	804	32	2.3	2.3	2.9	3.5
滋賀医科大学(医)	100	258	222	36	2.6	264	231	33	2.6	3.5	4.1	4.0
京都大学	2,506	12,237	11,222	1,015	4.9	5,632	5,311	321	2.2	4.7	2.1	2.3
文学部	200	1,625	1,270	355	8.1	759	659	100	3.8	7.4	3.5	3.0
教育学部	50	356	285	71	7.1	172	144	28	3.4	5.5	4.3	3.0
法学部	330	2,222	2,090	132	6.7	1,121	1,078	43	3.4	6.9	3.3	2.4
経済学部	200	1,043	1,027	16	5.2	553	539	14	2.8	4.8	2.3	2.7
理学部	281	1,894	1,781	113	6.7	900	867	33	3.2	7.1	3.2	3.1
医学部	120	1,159	1,065	94	9.7	583	558	25	4.9	8.6	4.0	2.2
薬学部	80	290	157	133	3.6	118	80	38	1.5	3.6	1.3	1.9
工学部	945	3,002	2,968	34	3.2	1,075	1,064	11	1.1	3.0	1.0	2.1
農学部	300	646	579	67	2.2	351	322	29	1.2	2.0	1.1	1.4
京都教育大学(教育)	420	3,151	1,840	1,311	7.5	2,729	1,553	1,176	6.5	7.3	7.4	3.9
京都工芸繊維大学	520	1,414	1,305	109	2.7	1,174	1,096	78	2.3	2.8	2.2	3.2
工芸学部	390	1,302	1,207	95	3.3	1,018	956	62	2.6	3.3	2.5	3.2
繊維学部	130	112	98	14	0.9	156	140	16	1.2	1.1	1.3	3.2
大阪大学	2,115	9,198	8,117	1,081	4.3	5,675	5,144	531	2.7	4.4	2.7	2.1
文学部	110	872	566	306	7.9	534	372	162	4.9	8.6	4.4	2.3
人間科学部	100	493	342	151	4.9	326	252	74	3.3	5.4	2.9	2.7
法学部	160	1,087	1,010	77	6.8	950	875	75	5.9	7.4	6.2	2.3
経済学部	200	752	719	33	3.8	516	505	11	2.6	4.1	2.8	2.4

大学・学部等名	56年度 入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
理学部	190	817	737	80	4.3	524	483	41	2.8	4.4	3.0	1.9
医学部	100	819	741	78	8.2	455	434	21	4.6	8.7	4.6	3.0
歯学部	60	386	331	55	6.4	150	135	15	2.5	6.7	3.0	3.7
薬学部	80	384	149	235	4.8	177	83	94	2.2	5.0	2.6	2.5
工学部	745	2,675	2,638	37	3.6	1,508	1,482	26	2.0	3.6	2.0	1.9
基礎工学部	370	913	884	29	2.5	535	523	12	1.4	2.0	1.2	1.6
大阪外国語大学	720	2,577	1,461	1,116	3.6	1,430	952	478	2.0	3.1	2.1	4.0
外国語学部第1部	500	2,402	1,336	1,066	4.8	1,226	808	418	2.5	4.2	2.6	5.0
外国語学部第2部	220	175	125	50	0.8	204	144	60	0.9	0.7	0.9	1.7
大阪教育大学	1,030	5,272	2,700	2,572	5.1	3,528	1,966	1,562	3.4	5.2	3.9	4.6
教育学部第1部	980	5,085	2,558	2,527	5.2	3,158	1,688	1,470	3.2	5.2	3.7	4.5
教育学部第2部	50	187	142	45	3.7	370	278	92	7.4	4.4	8.7	6.0
神戸大学	2,280	9,789	8,172	1,617	4.3	6,085	5,350	735	2.7	4.2	2.7	2.5
文学部	100	660	309	351	6.6	447	250	197	4.5	6.7	4.3	3.0
教育学部	420	1,456	710	746	3.5	526	304	222	1.3	3.7	1.4	2.4
法学部第1課程	200	1,367	1,244	123	6.8	977	906	71	4.9	6.4	5.3	2.8
法学部第2課程	60	162	153	9	2.7	96	81	15	1.6	3.1	1.9	2.9
経済学部第1課程	240	1,611	1,577	34	6.7	821	798	23	3.4	6.1	3.5	2.7
経済学部第2課程	60	67	63	4	1.1	75	69	6	1.3	1.8	1.9	1.8
経営学部第1課程	240	972	930	42	4.1	462	445	17	1.9	4.3	2.1	3.2
経営学部第2課程	70	47	43	4	0.7	71	66	5	1.0	1.3	0.9	2.6
理学部	120	559	460	99	4.7	468	405	63	3.9	4.3	3.7	2.0
医学部	120	761	652	109	6.3	462	414	48	3.9	5.8	3.9	2.8
工学部	490	1,913	1,863	50	3.9	1,477	1,450	27	3.0	3.6	2.8	2.1
農学部	160	214	168	46	1.3	203	162	41	1.3	1.7	1.3	1.5
神戸商船大学(商船)	200	307	307	0	1.5	362	362	0	1.8	1.4	1.9	2.3
奈良教育大学(教育)	295	1,829	1,012	817	6.2	2,933	1,563	1,370	9.9	5.2	8.4	2.8
奈良女子大学	385	1,057	0	1,057	2.7	734	0	734	1.9	2.7	2.1	2.4
文学部	145	529	0	529	3.6	356	0	356	2.5	3.6	2.8	2.5
理学部	115	227	0	227	2.0	179	0	179	1.6	2.1	1.6	1.8
家政学部	125	301	0	301	2.4	199	0	199	1.6	2.1	1.9	2.8
和歌山大学	590	1,447	995	452	2.5	1,791	1,424	367	3.0	2.5	3.2	3.6

大学・学部等名	56年度 入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
◎教育学部	270	858	439	419	3.2	861	546	315	3.2	3.2	3.4	3.1
経済学部	320	589	556	33	1.8	930	878	52	2.9	1.8	3.0	4.1
鳥取大学	855	1,719	1,272	447	2.0	2,104	1,687	417	2.5	2.1	2.3	2.2
教育学部	180	699	363	336	3.9	652	381	271	3.6	3.9	3.6	2.2
医学部	120	173	150	23	1.4	192	173	19	1.6	1.9	2.0	2.9
工学部	320	368	364	4	1.2	695	686	9	2.2	1.3	2.0	2.1
農学部	235	479	395	84	2.0	565	447	118	2.4	1.9	2.0	2.1
島根大学	870	1,990	1,349	641	2.3	2,584	2,014	570	3.0	2.3	3.1	2.3
法文学部	210	535	440	95	2.5	865	744	121	4.1	2.4	4.2	2.0
教育学部	300	901	420	481	3.0	803	455	348	2.7	2.8	3.0	2.3
理学部	180	314	268	46	1.7	523	456	67	2.9	1.8	2.6	2.5
農学部	180	240	221	19	1.3	393	359	34	2.2	1.6	2.5	2.4
島根医科大学(医)	100	124	110	14	1.2	187	165	22	1.9	1.6	2.1	2.9
岡山大学	1,930	7,728	5,657	2,071	4.0	5,281	4,351	930	2.7	3.6	2.4	2.2
文学部	145	580	258	322	4.0	428	258	170	3.0	3.9	2.8	2.9
教育学部	420	1,828	667	1,161	4.4	691	341	350	1.6	4.3	1.7	2.7
法学部第1部	190	917	843	74	4.8	821	753	68	4.3	3.9	2.8	2.2
法学部第2部	60	68	58	10	1.1	75	69	6	1.3	1.2	1.2	2.6
経済学部第1部	190	832	804	28	4.4	554	532	22	2.9	3.9	2.8	2.0
経済学部第2部	60	51	47	4	0.9	98	88	10	1.6	1.2	1.2	3.5
理学部	120	421	365	56	3.5	447	385	62	3.7	3.6	3.5	1.6
医学部	120	764	669	95	6.4	450	410	40	3.8	4.7	2.4	1.6
歯学部	80	390	335	55	4.9	406	361	45	5.1	4.1	4.8	3.6
薬学部	80	341	131	210	4.3	218	106	112	2.7	4.8	3.9	2.0
工学部	335	1,269	1,257	12	3.8	850	844	6	2.5	3.0	2.1	1.9
農学部	130	267	223	44	2.1	243	204	39	1.9	2.2	1.7	1.5
広島大学	2,485	9,662	7,155	2,507	3.9	5,718	4,636	1,082	2.3	3.8	2.3	2.5
総合科学部	120	594	420	174	5.0	369	263	106	3.1	4.5	2.9	2.6
文学部	150	779	410	369	5.2	497	311	186	3.3	4.9	3.2	2.6
教育学部	295	1,351	877	474	4.6	656	444	212	2.2	4.7	2.3	2.2
学校教育学部	350	1,893	993	900	5.4	701	431	270	2.0	4.5	1.8	3.3
法学部第1部	150	569	527	42	3.8	550	524	26	3.7	4.3	4.0	3.4
◎法学部第2部	90	105	94	11	1.2	103	94	9	1.1	0.9	1.3	3.2
経済学部第1部	150	726	697	29	4.8	474	459	15	3.2	4.9	3.3	2.2

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
経済学部第2部	90	99	89	10	1.1	137	126	11	1.5	1.6	1.6	3.1
理学部	220	959	823	136	4.4	597	529	68	2.7	4.1	2.8	1.9
医学部	180	741	451	290	4.1	369	258	111	2.1	4.1	2.0	4.1
歯学部	80	336	295	41	4.2	328	290	38	4.1	4.0	3.6	1.9
工学部	500	1,391	1,376	15	2.8	801	791	10	1.6	2.8	1.8	1.5
生物生産学部	110	119	103	16	1.1	136	116	20	1.2	1.1	1.2	1.6
山口大学	1,605	3,887	2,898	989	2.4	4,976	3,969	1,007	3.1	2.4	3.1	2.1
人文学部	180	475	251	224	2.6	545	324	221	3.0	2.6	3.3	3.1
教育学部	310	1,074	519	555	3.5	1,213	665	548	3.9	3.6	4.0	2.2
経済学部	355	708	682	26	2.0	840	809	31	2.4	2.1	2.4	2.0
理学部	180	245	212	33	1.4	429	358	71	2.4	1.4	2.8	2.1
医学部	120	375	311	64	3.1	428	376	52	3.6	2.8	3.3	1.8
工学部	350	697	692	5	2.0	1,203	1,198	5	3.4	1.9	3.0	1.5
農学部	110	313	231	82	2.8	318	239	79	2.9	2.9	2.8	2.2
徳島大学	945	2,657	1,661	996	2.8	2,189	1,590	599	2.3	3.2	2.4	2.2
教育学部	250	885	259	626	3.5	459	191	268	1.8	3.8	1.6	2.0
医学部	170	451	323	128	2.7	336	262	74	2.0	2.6	2.0	2.1
歯学部	60	229	193	36	3.8	321	285	36	5.4	5.2	6.1	4.3
薬学部	80	378	185	193	4.7	388	186	202	4.9	5.7	4.9	3.3
工学部	385	714	701	13	1.9	685	666	19	1.8	2.2	1.9	1.7
香川大学	860	1,745	1,082	663	2.0	2,016	1,370	646	2.3	2.1	2.6	3.0
教育学部	290	825	237	588	2.8	845	301	544	2.9	2.7	3.0	2.7
◎経済学部	400	776	720	56	1.9	871	814	57	2.2	2.0	2.6	3.7
農学部	170	144	125	19	0.8	300	255	45	1.8	1.0	1.7	2.0
香川医科大学(医)	100	414	349	65	4.1	547	480	67	5.5	6.1	7.3	7.7
愛媛大学	1,500	3,094	2,104	990	2.1	3,347	2,650	697	2.2	2.2	2.4	3.1
法文学部(昼)	220	628	439	189	2.9	651	507	144	3.0	2.4	3.0	3.4
○法文学部(夜)	80	16	14	2	0.2	47	42	5	0.6	0.4	0.6	2.6
教育学部	355	1,113	425	688	3.1	813	431	382	2.3	3.3	2.3	2.2
理学部	165	292	231	61	1.8	411	312	99	2.5	2.0	2.8	2.0
医学部	120	227	203	24	1.9	222	199	23	1.9	1.8	2.0	2.1
工学部	390	622	617	5	1.6	938	935	3	2.4	1.9	2.7	4.8
農学部	170	196	175	21	1.2	265	224	41	1.6	1.4	1.9	2.4

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
高知大学	810	1,656	1,159	497	2.0	2,592	1,849	743	3.2	2.0	3.1	3.0
人文学部	210	607	448	159	2.9	764	574	190	3.6	2.9	3.6	2.7
教育学部	250	563	282	281	2.3	974	506	468	3.9	2.3	3.5	3.1
理学部	180	306	258	48	1.7	476	413	63	2.6	1.5	2.6	3.3
農学部	170	180	171	9	1.1	378	356	22	2.2	1.1	2.4	3.1
高知医科大学(医)	100	321	280	41	3.2	410	367	43	4.1	4.0	5.0	5.0
福岡教育大学(教育)	710	4,024	2,204	1,820	5.7	3,309	1,867	1,442	4.7	5.1	4.3	3.3
九州大学	2,150	7,135	6,206	929	3.3	3,254	2,895	359	1.5	3.2	1.5	2.0
文学部	140	653	388	265	4.7	223	155	68	1.6	4.6	1.7	2.5
教育学部	40	180	117	63	4.5	92	63	29	2.3	3.7	2.3	1.5
法学部	240	1,108	1,031	77	4.6	484	464	20	2.0	4.6	2.1	2.6
経済学部	240	737	701	36	3.1	418	401	17	1.7	3.2	1.5	1.9
理学部	255	622	533	89	2.4	401	344	57	1.6	2.6	1.5	1.9
医学部	120	833	766	67	6.9	261	248	13	2.2	6.4	2.1	2.5
歯学部	80	325	287	38	4.1	167	140	27	2.1	4.2	2.4	2.4
薬学部	80	334	133	201	4.2	110	54	56	1.4	3.6	1.4	1.8
工学部	720	1,999	1,963	36	2.8	837	821	16	1.2	2.5	1.1	1.9
農学部	235	344	287	57	1.5	261	205	56	1.1	1.7	1.0	1.6
九州芸術工科大学(芸工)	120	572	529	43	4.8	341	322	19	2.8	4.7	2.9	2.9
◎九州工業大学	605	1,049	1,022	27	1.7	1,151	1,127	24	1.9	1.6	1.8	3.1
工学部第1部	475	982	955	27	2.1	1,019	996	23	2.1	1.9	2.0	3.3
工学部第2部	130	67	67	0	0.5	132	131	1	1.0	0.7	1.0	2.4
佐賀大学	965	2,462	1,827	635	2.6	3,588	2,789	799	3.7	2.2	3.5	2.8
教育学部	240	1,015	453	562	4.2	1,526	850	676	6.4	3.7	6.3	4.0
経済学部	230	642	615	27	2.8	757	715	42	3.3	2.2	2.8	2.7
理工学部	350	611	582	29	1.7	1,029	972	57	2.9	1.6	2.7	2.5
農学部	145	194	177	17	1.3	276	252	24	1.9	1.2	2.0	1.9
佐賀医科大学(医)	100	846	717	129	8.5	775	661	114	7.8	6.4	6.8	2.6
長崎大学	1,365	4,707	3,430	1,277	3.4	3,181	2,524	657	2.3	3.2	2.4	2.8
教育学部	370	1,500	757	743	4.1	807	496	311	2.2	3.8	2.2	2.5
経済学部	285	919	881	38	3.2	573	547	26	2.0	2.8	2.2	2.2

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
医学部	120	483	435	48	4.0	214	200	14	1.8	3.4	1.4	2.2
歯学部	80	309	267	42	3.9	331	295	36	4.1	3.0	4.7	8.1
薬学部	80	688	297	391	8.6	461	221	240	5.8	8.4	5.2	2.8
工学部	320	594	588	6	1.9	543	532	11	1.7	2.0	1.8	2.1
水産学部	110	214	205	9	1.9	252	233	19	2.3	2.2	2.9	3.8
熊本大学	1,610	5,737	4,398	1,339	3.6	3,826	3,186	640	2.4	3.2	2.0	2.3
文学部	160	837	493	344	5.2	571	370	201	3.6	4.4	2.6	2.7
教育学部	390	1,415	759	656	3.6	529	326	203	1.4	3.2	1.3	2.1
法学部	240	1,185	1,110	75	4.9	968	896	72	4.0	4.4	3.1	2.6
理学部	120	367	321	46	3.1	313	268	45	2.6	2.5	2.1	2.0
医学部	120	417	378	39	3.5	267	251	16	2.2	4.2	2.5	3.1
薬学部	90	288	135	153	3.2	169	86	83	1.9	3.6	1.9	2.2
工学部	490	1,228	1,202	26	2.5	1,009	989	20	2.1	2.0	1.6	2.0
大分大学	880	2,102	1,431	671	2.4	2,066	1,717	349	2.3	2.4	2.3	2.7
教育学部	290	1,002	401	601	3.5	655	361	294	2.3	3.5	2.7	3.8
経済学部	310	487	437	50	1.6	507	465	42	1.6	1.7	1.7	2.6
工学部	280	613	593	20	2.2	904	891	13	3.2	1.8	2.5	1.8
大分医科大学(医)	100	363	319	44	3.6	443	396	47	4.4	2.7	3.7	1.8
宮崎大学	755	1,656	1,127	529	2.2	1,763	1,376	387	2.3	2.5	2.6	3.2
教育学部	280	763	331	432	2.7	619	336	283	2.2	3.2	2.6	3.1
工学部	210	317	316	1	1.5	503	497	6	2.4	1.6	2.6	1.9
農学部	265	576	480	96	2.2	641	543	98	2.4	2.4	2.7	4.2
宮崎医科大学(医)	100	258	234	24	2.6	405	373	32	4.1	2.0	3.2	1.6
鹿児島大学	1,785	4,752	3,675	1,077	2.7	4,593	3,734	859	2.6	2.8	2.9	2.4
法文学部	330	1,070	840	230	3.2	1,076	877	199	3.3	3.1	3.4	2.7
教育学部	360	1,154	566	588	3.2	1,025	613	412	2.8	3.1	2.9	2.6
理学部	165	412	341	71	2.5	458	386	72	2.8	2.9	3.0	2.0
医学部	120	336	306	30	2.8	191	176	15	1.6	3.5	2.9	2.2
歯学部	80	156	128	28	2.0	178	159	19	2.2	2.6	3.3	2.1
工学部	355	944	925	19	2.7	796	771	25	2.2	2.8	2.5	2.7
農学部	235	501	405	96	2.1	513	421	92	2.2	2.4	2.5	2.0
水産学部	140	179	164	15	1.3	356	331	25	2.5	1.6	2.7	1.7

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
琉球大学	1,160	5,738	4,139	1,599	4.9	5,023	4,030	993	4.3	4.5	4.1	3.8
法文学部	290	1,857	1,266	591	6.4	1,087	809	278	3.7	6.2	3.6	4.0
教育学部	220	1,224	541	683	5.6	1,484	993	491	6.7	5.2	6.7	5.5
理学部	160	550	468	82	3.4	570	480	90	3.6	3.4	3.2	2.5
医学部	160	964	749	215	6.0	734	653	81	4.6	4.2	3.5	3.8
工学部	200	854	841	13	4.3	633	622	11	3.2	3.7	2.9	2.9
農学部	130	289	274	15	2.2	515	473	42	4.0	2.2	4.1	3.2
公立大学合計	10,135	41,786	29,168	12,618	4.1	54,999	38,818	16,181	5.4	4.2	5.7	6.4 (6.4) (4.5)
札幌医科大学(医)	100	519	460	59	5.2	474	435	39	4.7	5.0	5.2	3.1
福島県立医科大学(医)	80	366	306	60	4.6	400	348	52	5.0	5.3	5.2	3.1
群馬県立女子大学(文)	130	108	0	108	0.8	215	0	215	1.7	—	—	—
※高崎経済大学(経済)	400	384	352	32	1.0	1.671	1.534	137	4.2	1.1	4.9	※10.8
東京都立大学	765	7,409	6,188	1,221	9.7	7,555	6,480	1,075	9.9	10.2	11.1	5.6
人文学部1部	80	1,417	778	639	17.7	1,170	680	490	14.6	19.2	17.0	7.4
人文学部2部	25	129	83	46	5.2	174	124	50	7.0	5.4	8.0	6.2
法学部1部	100	1,669	1,464	205	16.7	1,475	1,325	150	14.8	17.1	17.7	7.6
法学部2部	30	123	109	14	4.1	155	135	20	5.2	4.9	6.4	5.6
経済学部1部	110	1,160	1,098	62	10.5	992	934	58	9.0	11.3	10.9	6.1
経済学部2部	20	62	59	3	3.1	130	115	15	6.5	3.9	8.1	5.9
理学部1部	111	1,095	913	182	9.9	1,083	885	198	9.8	9.4	10.3	4.9
理学部2部	39	124	107	17	3.2	141	118	23	3.6	3.3	3.9	4.9
工学部1部	200	1,535	1,484	51	7.7	2,037	1,969	68	10.2	8.2	10.4	4.4
工学部2部	50	95	93	2	1.9	198	195	3	4.0	2.3	4.5	4.5
横浜市立大学	420	3,332	2,585	747	7.9	3,992	3,237	755	9.5	7.9	10.6	8.7
文理学部	160	1,427	896	531	8.9	1,802	1,235	567	11.3	9.2	13.6	8.4
商学部	200	1,206	1,129	77	6.0	1,592	1,502	90	8.0	5.8	8.2	9.6
医学部	60	699	560	139	11.7	598	500	98	10.0	11.2	10.7	6.2
金沢美術工芸大学(美工)	130	467	269	198	3.6	641	377	264	4.9	3.8	5.1	4.8

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
※都留文科大学(文)	400	377	187	190	0.9	2,878	1,495	1,383	7.2	0.8	6.5	※24.2
※岐阜薬科大学(薬)	120	164	76	88	1.4	485	241	244	4.0	1.5	5.4	※11.6
静岡女子大学	140	259	0	259	1.9	551	0	551	3.9	1.9	4.8	4.2
文学部	80	184	0	184	2.3	392	0	392	4.9	2.3	6.1	3.5
家政学部	60	75	0	75	1.3	159	0	159	2.7	1.4	3.0	5.3
※静岡薬科大学(薬)	120	471	198	273	3.9	833	424	409	6.9	3.7	8.8	※12.5
愛知県立大学	360	1,424	524	900	4.0	1,978	803	1,175	5.5	3.9	5.4	4.9
文学部	160	808	242	566	5.1	1,212	380	832	7.6	5.1	7.5	6.2
外国語学部	120	582	258	324	4.9	701	379	322	5.8	4.3	5.4	4.6
外国語学部第2部	80	34	24	10	0.4	65	44	21	0.8	0.9	1.1	2.8
愛知県立芸術大学	150	734	319	415	4.9	1,809	1,121	688	12.1	5.1	10.9	8.4
美術学部	80	545	298	247	6.8	1,603	1,057	546	20.0	7.1	18.5	13.4
※音楽学部	70	189	21	168	2.7	206	64	142	2.9	2.8	2.4	※2.8
名古屋市立大学	380	1,477	1,083	394	3.9	1,784	1,365	419	4.7	4.2	3.9	3.5
経済学部	200	741	669	72	3.7	678	631	47	3.4	3.8	3.7	3.3
医学部	80	274	228	46	3.4	400	341	59	5.0	5.0	6.1	4.9
※薬学部	100	462	186	276	4.6	706	393	313	7.1	4.2	2.4	2.7
京都市立芸術大学	185	1,515	665	850	8.2	977	572	405	5.3	7.6	5.6	5.9
美術学部	125	1,235	595	640	9.9	808	481	327	6.5	9.1	6.9	7.1
音楽学部	60	280	70	210	4.7	169	91	78	2.8	4.3	3.0	3.6
京都府立大学	240	1,309	737	572	5.5	1,359	767	592	5.7	4.9	5.9	3.2
文学部	90	787	395	392	8.7	809	417	392	9.0	7.5	9.7	4.9
生活科学部	40	178	41	137	4.5	190	57	133	4.8	3.5	3.9	2.8
農学部	110	344	301	43	3.1	360	293	67	3.3	3.3	3.4	1.9
京都府立医科大学(医)	100	823	711	112	8.2	732	638	94	7.3	8.3	6.8	3.8
大阪女子大学(学芸)	160	512	0	512	3.2	813	0	813	5.1	2.9	4.7	4.9
大阪市立大学	1,335	7,827	6,432	1,395	5.9	6,991	5,911	1,080	5.2	5.9	5.6	4.4
文学部1部	120	1,214	624	590	10.1	918	506	412	7.7	10.6	8.0	5.6
文学部2部	40	109	73	36	2.7	166	123	43	4.2	2.8	4.1	5.4
法学部1部	150	1,887	1,737	150	12.6	1,415	1,287	128	9.4	12.8	10.0	5.8
法学部2部	60	149	135	14	2.5	172	162	10	2.9	2.7	3.3	3.7
経済学部1部	170	961	925	36	5.7	998	962	36	5.9	6.0	6.1	4.3
経済学部2部	60	78	76	2	1.3	110	108	2	1.8	1.6	2.8	4.0
商学部1部	170	419	388	31	2.5	465	449	16	2.7	2.9	3.0	3.2
商学部2部	60	45	42	3	0.8	71	65	6	1.2	0.9	1.4	3.4
理学部	100	505	434	71	5.1	519	444	75	5.2	5.2	5.5	4.0
医学部	80	467	413	54	5.8	442	382	60	5.5	5.4	6.1	4.8
生活科学部	110	418	34	384	3.8	300	31	269	2.7	3.1	2.8	2.8
工学部	215	1,575	1,551	24	7.3	1,415	1,392	23	6.6	7.0	7.0	5.2
大阪府立大学	910	3,301	2,958	343	3.6	5,021	4,661	360	5.5	3.4	5.8	※8.4 (40)
総合科学部	60	351	240	111	5.9	593	419	174	9.9	5.6	9.3	7.7
経済学部	250	1,144	1,103	41	4.6	1,452	1,400	52	5.8	4.3	6.3	3.4
※工学部	435	1,188	1,176	12	2.7	2,534	2,492	42	5.8	2.6	6.1	※13.3
農学部	165	618	439	179	3.7	442	350	92	2.7	3.6	3.0	3.5
神戸市外国語大学	360	1,665	736	929	4.6	1,581	909	672	4.4	4.5	4.6	2.7
外国語学部第1部	240	1,596	702	894	6.7	1,414	798	616	5.9	6.3	6.2	3.4
外国語学部第2部	120	69	34	35	0.6	167	111	56	1.4	0.7	1.3	1.4
神戸商科大学(商経)	430	844	769	75	2.0	1,208	1,136	72	2.8	2.0	2.5	3.5
姫路工業大学(工)	300	790	785	5	2.6	1,091	1,084	7	3.6	2.8	3.8	3.3
奈良県立医科大学(医)	100	596	493	103	6.0	660	576	84	6.6	4.8	6.3	4.1
和歌山県立医科大学(医)	60	254	213	41	4.2	228	195	33	3.8	5.3	5.9	4.2
広島女子大学	230	686	0	686	3.0	937	0	937	4.1	2.3	3.6	3.8
文学部	90	298	0	298	3.3	443	0	443	4.9	2.7	4.4	3.6
家政学部	140	388	0	388	2.8	494	0	494	3.5	2.0	3.1	3.9
※下関市立大学(経済)	200	91	85	6	0.5	615	570	45	3.1	0.6	3.4	※10.7
山口女子大学	160	235	0	235	1.5	643	0	643	4.0	1.2	3.3	3.7

大学・学部等名	56年度入学定員	第1志望 計	第1志望 男	第1志望 女	第1志望 倍率	第2志望 計	第2志望 男	第2志望 女	第2志望 倍率	55年度倍率 第1志望	55年度倍率 第2志望	55年度倍率 2次試験
	人	人	人	人	倍	人	人	人	倍	倍	倍	倍
文学部	80	136	0	136	1.7	437	0	437	5.5	1.2	4.5	3.4
家政学部	80	99	0	99	1.2	206	0	206	2.6	1.2	2.2	4.0
高知女子大学	160	330	0	330	2.1	801	0	801	5.0	2.5	5.1	6.3
文学部	80	117	0	117	1.5	412	0	412	5.2	2.3	6.5	7.2
家政学部	80	213	0	213	2.7	389	0	389	4.9	2.6	3.7	5.5
北九州大学	840	2,145	1,508	637	2.6	3,511	2.710	801	4.2	2.5	4.2	4.8
文学部	160	411	172	239	2.6	740	370	370	4.6	2.8	5.1	4.7
外国語学部第1部	120	554	263	291	4.6	637	366	271	5.3	4.1	5.6	3.8
◎外国語学部第2部	120	44	31	13	0.4	64	49	15	0.5	0.5	0.7	3.1
法学部	140	392	351	41	2.8	823	757	66	5.9	2.8	5.8	2.8
商学部	300	744	691	53	2.5	1,247	1,168	79	4.2	2.4	3.7	6.6
九州歯科大学(歯)	120	445	361	84	3.7	618	539	79	5.2	3.8	4.3	2.8
福岡女子大学	150	377	0	377	2.5	450	0	450	3.0	2.2	2.9	2.4
文学部	90	252	0	252	2.8	272	0	272	3.0	2.7	3.4	2.4
家政学部	60	125	0	125	2.1	178	0	178	3.0	1.5	2.1	2.4
長崎県立国際経済大学(経済)	200	184	168	16	0.9	740	690	50	3.7	0.7	4.2	※10.8
熊本女子大学	200	366	0	366	1.8	757	0	757	3.8	1.7	3.4	2.7
文学部	80	193	0	193	2.4	524	0	524	6.6	1.7	3.4	3.6
生活科学部	120	173	0	173	1.4	233	0	233	1.9	1.7	3.4	2.1
未記入	—	0	0	0	—	63,424	39.292	24,132	—	—	—	—

(注) 1 昭和56年度の国立大学入学定員には、昭和56年度から学生を入学させる上越教育大学及び琉球大学医学部の入学定員を含む。また、公立大学の入学定員には、昭和55年4月に開学し、昭和56年度から共通第1次学力試験に参加する群馬県立女子大学を含む。

2 琉球大学医学部の56年度入学定員には保健学科の入学定員を含む。なお同学部の「55年度倍率」は「保健学部」のものを示す。

3 ◎印は、入学定員の一部を留保して第2次募集を行う大学・学部を示す。

4 ○印は、主として夜間に授業を行うコースを示す。

5 55年度倍率の「2次試験」は、当初募集の志願倍率を示し、カッコ内に第2次募集を含む志願倍率を示す。

6 公立大学の※印は、国立大学と試験期日の異なる大学・学部を示す。

7 公立大学の55年度倍率の「2次試験」において、※印は国立大学と試験期日の異なる大学・学部の志願倍率、〔 〕は国立大学と同一試験期日の大学・学部(大阪府立大学は、工学部を除く全学部)の当初募集の志願倍率を示す。

(4) 昭和56年度共通第1次学力試験実施結果

ア 昭和56年度共通第1次学力試験受験状況等　　56. 2. 3

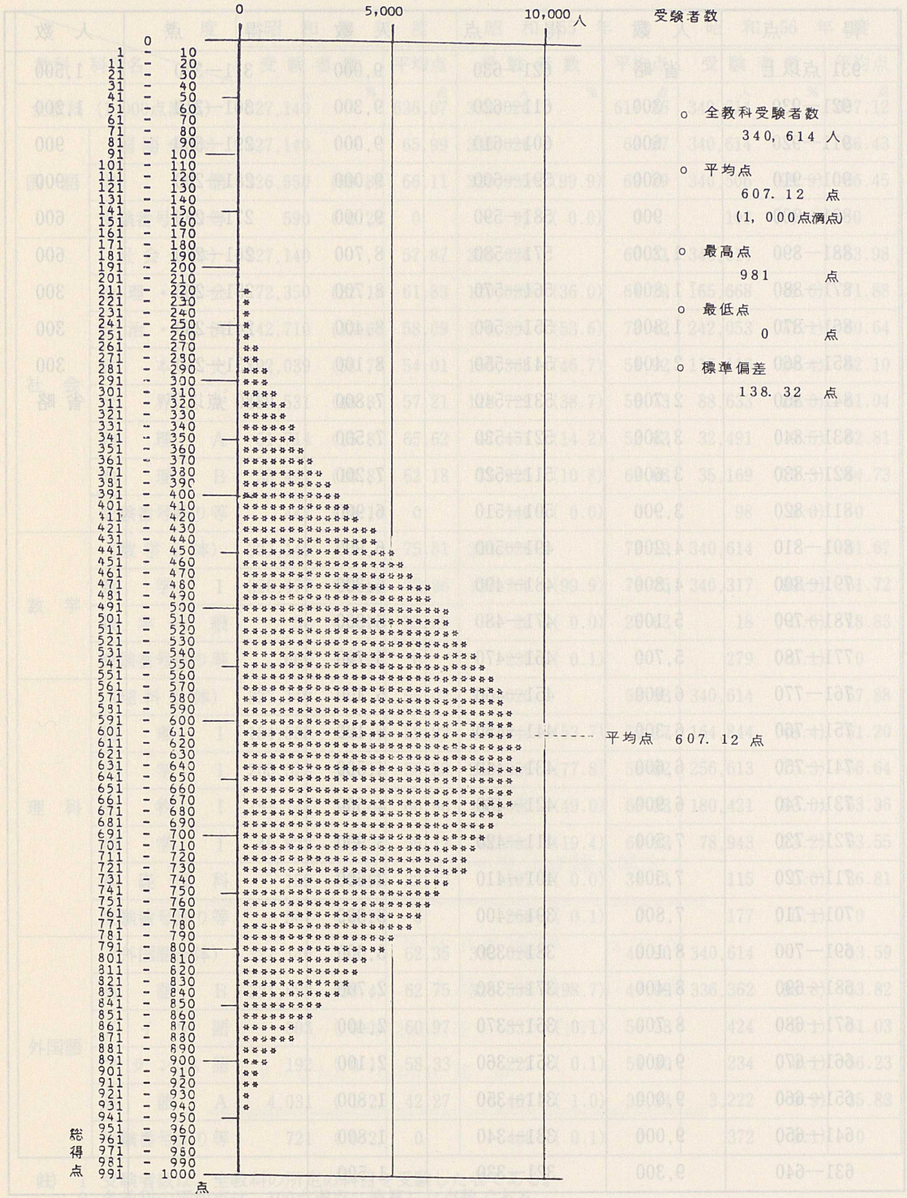
事項	昭和56年度	(参考) 昭和55年度	(参考) 昭和54年度
1. 志願者数	357,633人	349,566人	341,875人
2. 受験者数(所定の全教科目を受験した者)	340,757人	333,212人	327,427人
本試験(点字受験者を含む)	340,614人	333,026人	327,140人
追試験	143人	186人	287人
3. 欠席者数	16,876人	16,354人	14,448人
全教科欠席者(追試験欠席者を含む)	15,772人	15,359人	13,637人
一部教科欠席者(追試験欠席者を含む)	1,104人	995人	811人
4. 欠席率	4.72%	4.68%	4.23%
5. 受験番号欄のマークもれ等(本試験)	1,034件	1,203件	2,869件
(1) 延受験者数に対する「受験番号欄のマークもれ等」の発生率	0.04%	0.05%	0.13%
(延受験者数……受験者数×科目数)	(2,384,298人)	(2,331,182人)	(2,291,830人)
(2) 「受験番号欄のマークもれ等」の内訳			
(ア) 受験番号欄のマークもれ	191件(0.008%)	150件(0.006%)	543件(0.02 %)
(イ) 受験番号欄のマーク誤り	473件(0.020%)	460件(0.02 %)	1,271件(0.06 %)
(ウ) 選択科目欄のマークもれ等及び同一科目をマーク	250件(0.010%)	472件(0.02 %)	1,021件(0.04 %)
(エ) 指定された者以外が「数学一般」「基礎理科」「英語A」を選択解答等	120件(0.005%)	121件(0.005%)	34件(0.001%)
(3) 教科別の「受験番号欄のマークもれ等」			
国語	108件(10.4 %)	91件(7.6 %)	590件(20.6 %)
社会	98件(9.5 %)	146件(12.1 %)	442件(15.4 %)
数学	279件(27.0 %)	232件(19.3 %)	609件(21.2 %)
理科	177件(17.1 %)	266件(22.1 %)	507件(17.7 %)
外国語	372件(36.0 %)	468件(38.9 %)	721件(25.1 %)

イ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験平均点等一覧

教科名	科目名	受験者数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
		人	点	点	点	点
全教科	(1,000点満点)	340,614	607.12	981	0	138.32
国語（200点満点）	(国語全体)	340,614	132.86 (66.43)	200 (100)	0 (0)	25.32 (12.66)
	国語	340,506	132.90 (66.45)	200 (100)	0 (0)	25.22 (12.61)
	受験番号誤り等	108	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
社会（各科目とも100点満点。２科目選択）	(社会全体)	340,614	127.97 (63,98)	199 (99)	0 (0)	26.00 (13.00)
	倫理・社会	165,668	71.88	100	0	14.95
	政治・経済	242,053	60.64	97	0	11.75
	日本史	117,116	62.10	98	0	14.53
	世界史	88,633	61.04	100	0	17.63
	地理A	32,491	62.81	98	0	13.62
	地理B	35,169	64.73	100	2	17.90
	受験番号誤り等	98	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
数学（各科目とも200点満点。１科目選択）	(数学全体)	340,614	123.34 (61.67)	200 (100)	0 (0)	51.76 (25.88)
	数学Ⅰ	340,317	123.45 (61.72)	200 (100)	0 (0)	51.65 (25.82)
	数学一般	18	37.67 (18.83)	83 (41)	12 (6)	20.96 (10.48)
	受験番号誤り等	279	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
理科（基礎理科は200点満点。１科目選択。他の科目は100点満点。２科目選択）	(理科全体)	340,614	115.76 (57.88)	200 (100)	0 (0)	34.63 (17.31)
	物理Ⅰ	164,844	51.20	100	0	17.94
	化学Ⅰ	256,613	56.64	100	0	18.97
	生物Ⅰ	180,421	63.36	100	0	20.48
	地学Ⅰ	78,943	63.55	100	0	19.57
	基礎理科	115	73.63 (36.81)	166 (83)	33 (16)	28.60 (14.30)
	受験番号誤り等	177	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国語（各科目とも200点満点。１科目選択）	(外国語全体)	340,614	107.18 (53.59)	200 (100)	0 (0)	35.24 (17.62)
	英語B	336,362	107.64 (53.82)	200 (100)	0 (0)	34.88 (17.44)
	ドイツ語	424	102.06 (51.03)	200 (100)	22 (11)	48.00 (24.00)
	フランス語	234	112.46 (56.23)	200 (100)	0 (0)	55.42 (27.71)
	英語A	3,222	71.66 (35.83)	190 (95)	9 (4)	34.52 (17.26)
	受験番号誤り等	372	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注) (1)　受験者は、全教科の所定の科目を受験した者　(2)　カッコ内は、100点満点に換算した点数　(3)　受験番号誤り等は、(ア)受験番号欄にマークもれの者、(イ)受験番号欄のマーク誤りの者、(ウ)選択科目欄にマークもれ等の者、(エ)指定された者以外が「数学一般」「基礎理科」「英語A」を選択解答した者等をいい、いずれもその科目の得点を０点とした。

ウ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布概略図（全教科）



エ　昭和56年度共通第１次学力試験本試験の得点分布（全教科）

得　点	人　数	得　点	人　数	得　点	人　数
931 点以上	省 略	621—630	9,000	311—320	1,500
921—930	300	611—620	9,300	301—310	1,200
911—920	600	601—610	9,000	291—300	900
901—910	600	591—600	9,000	281—290	900
891—900	900	581—590	9,000	271—280	600
881—890	1,200	571—580	8,700	261—270	600
871—880	1,800	561—570	8,700	251—260	300
861—870	1,800	551—560	8,400	241—250	300
851—860	2,400	541—550	8,100	231—240	300
841—850	2,700	531—540	7,800	230 点以下	省 略
831—840	3,300	521—530	7,500		
821—830	3,600	511—520	7,200		
811—820	3,900	501—510	6,900		
801—810	4,200	491—500	6,900		
791—800	4,800	481—490	6,300		
781—790	5,100	471—480	6,300		
771—780	5,700	461—470	5,700		
761—770	6,000	451—460	5,400		
751—760	6,300	441—450	5,100		
741—750	6,600	431—440	4,500		
731—740	6,900	421—430	4,500		
721—730	7,500	411—420	3,900		
711—720	7,500	401—410	3,600		
701—710	7,800	391—400	3,300		
691—700	8,100	381—390	3,000		
681—690	8,400	371—380	2,700		
671—680	8,700	361—370	2,400		
661—670	9,000	351—360	2,100		
651—660	9,000	341—350	1,800		
641—650	9,000	331—340	1,800		
631—640	9,300	321—330	1,500		

オ　共通第１次学力試験受験者数及び平均点の推移（本試験）

教科・科目名＼年度		昭和54年度 受験者数	昭和54年度 平均点	昭和55年度 受験者数	昭和55年度 平均点	昭和56年度 受験者数	昭和56年度 平均点
全教科（1,000点満点）		327,140 人 %	636.07 点	333,026 人 %	617.36 点	340,614 人 %	607.12 点
国語	（国語全体）	327,140	65.99	333,026	69.37	340,614	66.43
	国語	326,550 (99.8)	66.11	332,935 (99.9)	69.39	340,506 (99.9)	66.45
	受験番号誤り等	590 (0.2)	0	91 (0.0)	0	108 (0.0)	0
社会	（社会全体）	327,140	57.87	333,026	60.31	340,614	63.98
	倫理・社会	72,350 (22.1)	61.83	120,039 (36.0)	61.29	165,668 (48.6)	71.88
	政治・経済	142,710 (43.6)	58.09	178,394 (53.6)	73.42	242,053 (71.1)	60.64
	日本史	192,039 (58.7)	54.01	155,368 (46.7)	51.92	117,116 (34.4)	62.10
	世界史	159,531 (48.8)	57.21	128,729 (38.7)	53.73	88,633 (26.0)	61.04
	地理A	51,714 (15.8)	65.62	47,451 (14.2)	52.63	32,491 (9.5)	62.81
	地理B	35,494 (10.8)	62.18	35,925 (10.8)	62.08	35,169 (10.3)	64.73
	受験番号誤り等	442 (0.1)	0	146 (0.0)	0	98 (0.0)	0
数学	（数学全体）	327,140	75.81	333,026	73.19	340,614	61.67
	数学I	326,477 (99.8)	75.96	332,766 (99.9)	73.25	340,317 (99.9)	61.72
	数学一般	54 (0.0)	29.82	28 (0.0)	25.63	18 (0.0)	18.83
	受験番号誤り等	609 (0.2)	0	232 (0.1)	0	279 (0.1)	0
理科	（理科全体）	327,140	56.02	333,026	58.93	340,614	57.88
	物理I	184,568 (56.4)	59.87	178,844 (53.7)	55.17	164,844 (48.4)	51.20
	化学I	265,323 (81.1)	50.58	259,056 (77.8)	56.82	256,613 (75.3)	56.64
	生物I	153,742 (47.0)	60.96	163,090 (49.0)	65.33	180,421 (53.0)	63.36
	地学I	49,822 (15.2)	56.12	64,582 (19.4)	61.93	78,943 (23.2)	63.55
	基礎理科	159 (0.0)	32.47	107 (0.0)	31.11	115 (0.0)	36.81
	受験番号誤り等	507 (0.2)	0	266 (0.1)	0	177 (0.1)	0
外国語	（外国語全体）	327,140	62.35	333,026	46.90	340,614	53.59
	英語B	321,893 (98.4)	62.75	328.538 (98.7)	47.09	336,362 (98.8)	53.82
	ドイツ語	303 (0.1)	60.97	331 (0.1)	56.28	424 (0.1)	51.03
	フランス語	192 (0.1)	58.33	222 (0.1)	51.30	234 (0.1)	56.23
	英語A	4,031 (1.2)	42.27	3,467 (1.0)	33,34	3,222 (0.9)	35.83
	受験番号誤り等	721 (0.2)	0	468 (0.1)	0	372 (0.1)	0

(注)　1　受験者数は、全教科の所定の科目を受験した者である。
　　2　各教科の平均点は、100点満点に換算した点数である。

大学入試センター年報　（昭和55年度）

発 行 日　　昭和56年11月

発　　行　　大学入試センター

（〒153）　東京都目黒区駒場２－19－１

電　話　03(465)３９４６－９